

プロビジョニングガイド

iPlanet Messaging Server

2001年2月

Copyright © 2001 Sun Microsystems, Inc. Some preexisting portions Copyright © 2001 Netscape Communications Corporation. All rights reserved.

Sun、Sun Microsystems、Sun ロゴ、iPlanet、および iPlanet ロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国またはその他の国における商標または登録商標です。Netscape および Netscape N ロゴは、Netscape Communications Corporation の米国またはその他の国における登録商標です。その他の Netscape ロゴ、製品名、およびサービス名も Netscape Communications Corporation の登録商標であり、その他の国で登録されている場合があります。

Federal Acquisitions: 商用ソフトウェア — 政府のユーザは、標準ライセンス条項の対象となります。

本書に記載されている製品は、使用、複製、配布、および逆コンパイルを制限するライセンスに基づいて配布されています。製品または本書のいかなる部分も Sun-Netscape Alliance およびライセンス許可者の書面による事前の承認がない限り、いかなる手段によるいかなる形式においても複製は禁止されています。

本書は「無保証」で提供されており、すべての明示または黙示の条件、表現、および保証は、黙示の商用性、特定の目的への適合性、または非侵害を含め、そのような否認が法的に無効である場合を除き、否認します。

目次

図目次.....	7
コード例目次.....	9
表目次.....	11
本書について.....	13
対象読者.....	13
前提条件.....	14
本書の構成.....	14
表記規則.....	15
関連情報の参照先.....	16
第1章 プロビジョニングの概念と技術.....	17
iPlanet Messaging Server のプロビジョニング.....	17
iPlanet Messaging Server ネームスペース.....	18
二重ツリーネームスペース機構の動作.....	18
なぜ2つのディレクトリ情報ツリーが必要か.....	20
既存の DIT を iPlanet Messaging Server ヘマッピングする.....	21
アクセス制御のためのデータのパーティショニング.....	21
サブドメイン用識別ネームスペースの提供.....	22
iPlanet Messaging Server データ モデル.....	23
ACI アーキテクチャ.....	24
サービスのクラス.....	26
iPlanet Messaging Server 用のサービスのクラスを設定する.....	27
サービスのクラスの例.....	28
第2章 ドメインのプロビジョニング.....	33
ドメイン ACI.....	34
DC ツリーの作成.....	35
DC ツリーのルートドメインエントリの作成.....	36

DC ツリーのルートエントリ属性とオブジェクトクラス	37
DC ツリーのトップレベルドメインエントリの作成	37
DC ツリーのトップレベルノード属性とオブジェクトクラス	38
DC ツリーのホストドメインエントリの作成	39
DC ツリーホストドメイン属性とオブジェクトクラス	39
ドメイン属性	40
inetDomain 属性	41
mailDomain 属性	41
組織ツリーの作成	42
組織ツリーのルートドメインエントリの作成	43
組織ツリー内のホストドメインエントリの作成	43
組織ツリーのホストドメイン属性とオブジェクトクラス	44
organization 属性	44
nsManagedDomain 属性	44
ホストドメインに必要なコンテナの作成	45
組織ツリーのホストドメインコンテナ属性とオブジェクトクラス	46
ドメイン組織の作成	46
ドメイン組織の削除	47
バニティドメインの作成	48
ドメインタスク	50
ドメイン別名の作成	50
ドメインのスマートルーティングホストの追加	51
ドメインの新しいルーティングホストの追加	52
ドメインのようこそメッセージの設定	52
Messenger Express クライアントに対する添付ファイル数の制限	53
ドメインの状態の設定	54
第3章 ファミリアカウントのプロビジョニング	57
ファミリアカウントの作成	57
ファミリーグループ管理者の作成	60
第4章 ユーザのプロビジョニング	63
ユーザエントリの作成	64
ユーザエントリオブジェクトクラスと属性	65
inetOrgPerson	65
inetUser	66
ipUser	66
inetMailUser	66
inetLocalMailRecipient	67
userPresenceProfile	67
nsManagedPerson	67
メールユーザの管理	68

ユーザのアクティブ化 / 非アクティブ化	68
ユーザパスワードの変更	69
ユーザ不在メッセージの設定	70
使用可能なメール サービスの追加と削除	72
受信メール配信オプションの追加と変更	73
ユーザメッセージフィルタの設定	74
メールとメッセージの制限	77
メール転送	78
新しいメールエイリアス	80
ユーザのメールサーバの変更	81
メーリングリストの作成特権を追加する	82
第 5 章 メーリングリストのプロビジョニング	83
メーリングリストエントリの作成	84
メールリスト属性	84
groupOfUniqueNames	85
inetMailGroup	86
inetLocalMailRecipient	86
nsManagedMailList	86
属性値の形式	87
メーリングリストの管理	87
メーリングリスト所有者の割り当て	88
メンバーの追加	89
メーリングリストの投稿制限の作成	90
優先規則	90
メーリングリストモデレータ	94
メーリングリストの有効化 / 無効化 / 削除	95
メッセージをファイルに保存する	96
要求アドレス	97
メーリングリストメンバーの表示	98
メーリングリストへの参加	99
動的メーリングリストを作成する	99
第 6 章 メッセージングサーバ管理者のプロビジョニング	101
管理者タイプ	101
構成管理者の作成	104
メッセージストア管理者の作成	104
特定のメッセージングサーバのメッセージストア管理者を作成する	105
メールシステムトポロジ全体のメッセージストア管理者を作成する	105
特定のドメインのメッセージストア管理者を作成するには	107
トップレベル管理者の作成	109
ドメイン管理者の作成	111

ドメイン組織管理者の作成	113
付録 A ルートおよびドメイン ACI の例	117
ACI の様々な定義例	117
組織ツリー ルートノード ACI	118
DC ツリー ルートノード ACI	121
ホストドメイン ACI	125
ドメイン組織 ACI	127
用語集	129
索引	161

図目次

図 1-1	iPlanet Messaging Server ディレクトリ構造の例	19
図 1-2	既存の DIT を iPlanet Messaging Server へマップする例	21
図 1-3	TEST アクセス制御のためのデータのパーティショニング例	22
図 1-4	ACI の例	26
図 5-1	アクセスコントロールプロセス	92
図 6-1	ドメイン組織管理者の作成	114

コード例目次

DC ツリールート of LDIF レコード	37
トップレベルノード of LDIF レコード	38
DC ツリー内 of ホストドメインノード of 作成用 LDIF レコード	39
組織ツリールート of LDIF レコード	43
組織ツリー内 of ホストドメイン用 LDIF レコード	44
ホストドメインコンテナ of LDIF コード	45
組織ツリー内 of ドメイン組織 of LDIF レコード	47
バニティドメインによるユーザエントリの例	48
ドメイン 別名の作成	50
スマートルーティングホストを追加するための変更	51
スマートルーティングホストを備えたホストドメイン of LDIF レコード	51
ルーティングホストを追加するための変更	52
ルーティングホストを備えたホストドメイン of LDIF レコード	52
ドメインのようこそメッセージを追加するための変更	53
ようこそメッセージを備えたホストドメイン of LDIF レコード	53
Messenger Express 添付ファイルを 1 メッセージにつき 2 つに制限するための変更	53
ドメインの状態を保留にする変更	54
Messenger Express 添付ファイルを 1 メッセージにつき 2 つに制限するための LDIF レコード	54
保留中のホストドメイン of LDIF レコード	55
ファミリアカウントエントリ	58
ファミリグループのメンバ of LDIF レコード	59
ファミリ管理者グループエントリ	60
ファミリグループ管理者用エントリ	61
ユーザエントリの例	64
ユーザのパスワードを変更した後の LDIF レコード	70
ユーザの自動応答不在メッセージを設定して有効にした後の LDIF レコード	71
ユーザのメールサービスを変更した後の LDIF レコード	73

ユーザのメール配信オプションを変更する LDIF レコード	74
ユーザのメッセージフィルタを設定した後の LDIF レコード (ldapsearch に -o フラグを指定して表示)	76
ユーザのメールボックスおよびメッセージ制限値を設定する LDIF レコード	78
ユーザのメール転送アドレスを追加する LDIF レコード	79
ユーザのメールエイリアスを追加する LDIF レコード	80
ユーザのメールサーバを変更する LDIF レコード	81
メーリングリストの作成特権を追加する LDIF レコード	82
メーリングリストの LDIF レコード	84
所有者を持つメーリングリストの LDIF レコード	88
メンバーを追加したメーリングリストの LDIF レコード	89
配布制限付きのメーリングリストの LDIF レコード	93
モデレータが設定されているメーリングリストの LDIF レコード	94
メーリングリストが無効になっている LDIF レコード	95
アーカイブ属性を持つメーリングリストの LDIF レコード	96
加入要求属性を持つメーリングリストの LDIF レコード	97
表示属性を持つメーリングリストの LDIF レコード	98
参加可能メーリングリストの LDIF レコード	99
動的メーリングリストの LDIF レコード	100
システム全体のメッセージストア管理者グループの作成	106
システム全体のメッセージストア管理者のユーザエントリ例	107
ストア管理者グループの作成	108
ドメイン管理者のユーザエントリ例	109
トップレベル管理者グループ	110
トップレベル管理者のユーザエントリ例	110
ドメイン管理者グループの作成	111
ドメイン管理者のユーザエントリ例	112
組織管理者グループの作成	114
ドメイン管理者のユーザエントリ例	115
組織ツリールートノード ACI	118
DC ツリールートノード ACI	122
ホストドメイン ACI	126
ドメイン組織 ACI	127

表目次

表 1-1	エントリタイプと対応するオブジェクトクラス	23
表 1-2	iPlanet Messaging Server サービスのクラスパラメータ値	28
表 6-1	メッセージングサーバ管理者と特権	102

本書について

本書では、ユーザ、メーリングリスト、ドメイン、管理者などについて、LDAP を使用して iPlanet Messaging Server のプロビジョニングを行う方法について説明しています。このマニュアルは、『iPlanet Schema Reference Manual』と共に使用してください。

この章は、次のトピックで構成されています。

- 対象読者
- 前提条件
- 本書の構成
- 表記規則
- 関連情報の参照先

対象読者

LDAP を使用して iPlanet Messaging Server のプロビジョニングを行う場合に本書を読んでください。対象読者は次のとおりです。

- iPlanet LDAP ディレクトリ内のメッセージングサーバエントリと、企業データベースや課金システムなどのユーザ、グループ、ドメイン情報といった既存の情報とのインタフェースを作成するためのカスタマイズプロビジョニングツールを開発するメッセージングシステム設計者。
- LDAP を使用したドメイン、ユーザ、グループ、管理者などのエントリの作成方法を学ぶサイト管理者。

読者は、LDAP、Netscape Directory Server、および電子メールの概念についての基本的な知識を持っていると仮定します。

前提条件

本書では、ユーザが次の項目について基本的な知識があることを想定しています。

- インターネットと World Wide Web
- iPlanet Administration Server
- Netscape Directory Server および LDAP
- 電子メールと電子メールの概念
- Netscape Console

本書の構成

本書は、次の章と付録で構成されています。

- 本書について (この章)
- 第1章「プロビジョニングの概念と技術」
- 第2章「ドメインのプロビジョニング」
- 第3章「ファミリアカウントのプロビジョニング」
- 第4章「ユーザのプロビジョニング」
- 第5章「メーリングリストのプロビジョニング」
- 第6章「メッセージングサーバ管理者のプロビジョニング」
- 付録 A 「ルートおよびドメイン ACI の例」

表記規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

字体または記号	意味	例
<code>AaBbCc123</code>	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例を示します。	<code>.login</code> ファイルを編集します。 <code>ls -a</code> を使用してすべてのファイルを表示します。 <code>system%</code>
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して示します。	<code>system% su</code> <code>password:</code>
<i>AaBbCc123</i>	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、 <code>rm filename</code> と入力します。
『』	参照する書名を示します。 参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	『コードマネージャ・ユーザーズガイド』を参照してください。 第5章「衝突の回避」を参照してください。パーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	<code>sun% grep '^#define \</code> <code>XV_VERSION_STRING'</code>

コード例は次のように表示されます。

- C シェルプロンプト

```
system% command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェルのプロンプト

```
system$ command y|n [filename]
```

- スーパーユーザーのプロンプト

```
system# command y|n [filename]
```

[] は省略可能な項目を示します。上記の例は、*filename* は省略してもよいことを示しています。

| は区切り文字 (セパレータ) です。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例: Shift キーを押します)。ただし、キーボードによっては Enter キーが Return キーの動作をします。

ダッシュ (-) は 2 つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-D は Control キーを押したまま D キーを押すことを意味します。

関連情報の参照先

本書に加え、iPlanet Messaging Server では、管理者向けの補足情報およびエンドユーザや開発者向けのマニュアルを提供しています。すべての Messaging Server のマニュアルについては、次の URL を参照してください。

<http://docs.iplanet.com/docs/manuals/messaging.html>

利用できる別のマニュアルを次に示します。

- iPlanet Messaging Server 管理者ガイド
- iPlanet Messaging Server リファレンスマニュアル
- iPlanet Messaging Server Schema Reference (オンラインのみ)
- iPlanet Messaging Server Provisioning Guide (オンラインのみ)
- iPlanet Messaging Server Delegated Administrator Guide

プロビジョニングの概念と技術

この章では、iPlanet Messaging Server のプロビジョニングについての概念と技術について説明します。次の節があります。

- 18 ページの「iPlanet Messaging Server ネームスペース」
- 23 ページの「iPlanet Messaging Server データ モデル」
- 24 ページの「ACI アーキテクチャ」
- 26 ページの「サービスのクラス」

iPlanet Messaging Server のプロビジョニング

プロビジョニングとは、ディレクトリサーバ内の iPlanet Messaging Server ユーザ、メーリングリスト、システム管理者、ドメインエントリを追加、変更、削除することです。メッセージングサーバは、必要に応じてこれらの要素に関する情報をディレクトリに照会します。

iPlanet Messaging Server のプロビジョニングを行うインタフェースには、次の 4 つがあります。

- iPlanet Delegated Administration for Messaging コンソール
- iPlanet Delegated Administrator for Messaging コマンドラインユーティリティ
- iPlanet Messaging Server Administration Console
- Messaging Server LDAP ディレクトリ

本書では、LDAP を使用してプロビジョニングを行う方法を説明します。ほかのプロビジョニング方法を参照することがありますが、LDAP を使用したプロビジョニングを中心に説明します。

iPlanet Messaging Server ネームスペース

iPlanet Messaging Server ネームスペースは、組織ツリーとドメイン構成要素 (Domain Component, DC) ツリーの 2 つのディレクトリ情報ツリー (Directory Information Tree, DIT) になります。組織ツリーには、ユーザおよびグループのエントリが含まれます。DC ツリーはローカル DNS 構造をミラー化し、データエントリを含む組織ツリーへの索引としてシステムで使用されます (図 1-2 を参照)。DC ツリーには、スマートホスト、ルーティングホスト、ドメインディスク制限容量など、ドメインのオペレーティングパラメータが含まれています。

次の節では、二重ツリー機構の動作と、これを採用した理由について説明します。既存の DIT を iPlanet Messaging Server の二重ツリー機構へ移植する方法の詳細については、『iPlanet Messaging Server マイグレーションガイド』を参照してください。

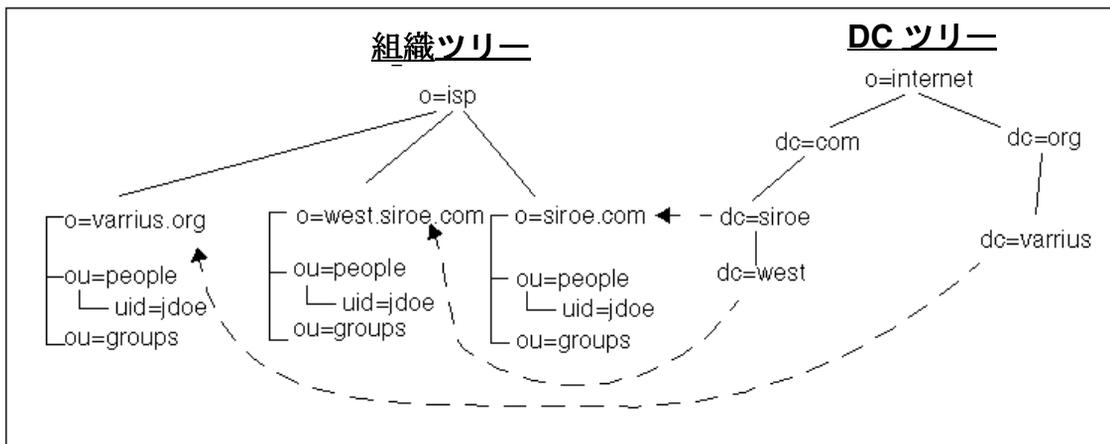
二重ツリーネームスペース機構の動作

この節では、iPlanet Messaging Server が二重 DIT 機構を使用する方法について説明します。

iPlanet Messaging Server がユーザ / グループエントリを検索する場合は、はじめに DC ツリー内のユーザ / グループのドメインノードを検索し、`inetDomainBaseDN` 属性の値を抽出します。この属性は、実際のユーザ / グループエントリを含む組織サブツリーへの DN 参照を保持しています。

このモデルを使用して、iPlanet Messaging Server では、DC ツリー内のドメインコンポーネントノードが、このドメイン内のユーザが見つけられる組織ツリー内のノードを指し示す場合、任意のタイプのディレクトリツリー内に格納されているエントリをサポートできます。この関係を、図 1-1 に示します。ここでは、点線が inetDomainBaseDN の値を示しています。組織ツリー内のノード名は、DC ツリー内のノード名と一致する必要はありません。

図 1-1 iPlanet Messaging Server ディレクトリ構造の例



この例では、データエントリが組織ツリーの下で追加および変更されますが、メッセージサーバは実際には DC ツリーを参照します。次の 3 人のユーザについて考えます。

	ユーザ 1	ユーザ 2	ユーザ 3
名前:	John Doe	John Doe	Jane Doe
ドメイン:	siroe.com	west.siroe.com	varrius.org
UID:	jdoe	jdoe	jdoe
ログイン:	jdoe@siroe.com	jdoe@west.siroe.com	jdoe@varrius.org

ログインは UID とドメインで構成されます。それぞれの場合において、サーバはログインのドメイン部 (@ マークの後の値) をさがし、対応する DC ノードの `inetdomainbasedn` 属性から DN を取得します。次に、UID がログインのローカル部 (@ マークの前の値) に等しいユーザエントリを、DN が指しているサブツリーから検索します。

`west.siroe.com` の John Doe は、ログイン `jdoue@west.siroe.com` を使用してサーバにログインします。サーバは、`west.siroe.com` をさがして、DC ノード内の DN 参照 (`inetdomainbasedn`) をたどり、サブツリー `o=west.siroe.com, o=isp` に達します。サーバは次に、このサブツリー内の `uid=jdoue` であるユーザエントリを検索します。

インストール時に、iPlanet Messaging Server では既存の DNS にマップされるデフォルトの DC ツリーと組織ツリーを作成します。ディレクトリドメインノードが `Delegated Administrator` コマンドの `imadmin domoain create` を使用して追加されると、対応するノードが DC ツリーと組織ツリーの両方に作成されます。LDAP インタフェースを使用してノードを作成する場合は、そのドメイン用のノードを DC ツリー内に作成し、データ用のドメインを組織ツリー内に作成する必要があります。詳細は、『iPlanet Messaging Server マイグレーションガイド』で説明しています。

注 メールを配信するには、このドメインが DNS 内に MX レコードを持っていることを確認する必要があります。

なぜ 2 つのディレクトリ情報ツリーが必要か

iPlanet Messaging Server はインストール時、構成情報およびユーザ / グループデータを含む 1 つの DC ツリーをサポートしますが、iPlanet Messaging Server は DC ツリーと組織ツリーの両方を作成します。この二重ツリー機構には次の利点があります。

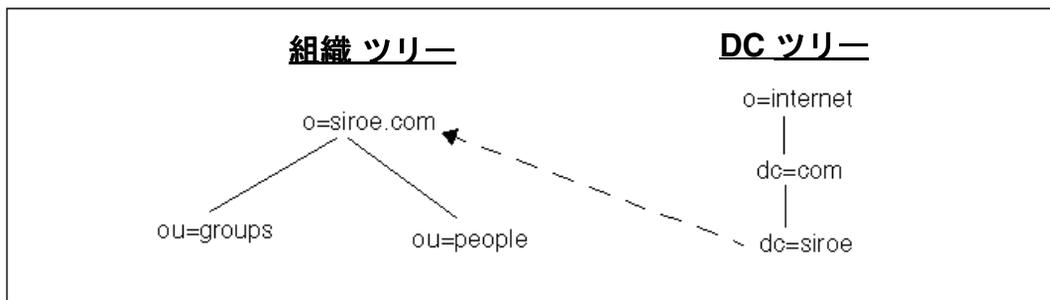
- 既存の DIT へマップされる DC ツリーを作成することによって、iPlanet Messaging Server に既存のディレクトリを導入できる

- 組織固有のアクセスを制御するために、データをパーティショニングできる。つまり各組織は、ユーザとグループのエントリがある DIT 内の別のサブツリーを持つことができます。そのデータへのアクセスは、サブツリーのユーザに制限されます。これにより、iPlanet Delegated Administrator for Messaging のようなローカライズされたアプリケーションを安全に実行することができます。
- サブドメイン用に、個別のネームスペースを持つことができる。たとえば、west.siroe.com と siroe.com は別々の組織サブツリーにマップされ、これにより、同じ UID でそれぞれのユーザエントリを作成できるようになります。

既存の DIT を iPlanet Messaging Server へマップする

二重ツリー機構により、既存の DIT を iPlanet Messaging Server へマップすることができます。これを次の図に示します。この図では、既存の NMS DIT (o=siroe.com) が iPlanet Messaging Server 内の DC ツリーへマップされています。このプロセスについては、『iPlanet Messaging Server マイグレーションガイド』で詳細を説明しています。

図 1-2 既存の DIT を iPlanet Messaging Server へマップする例



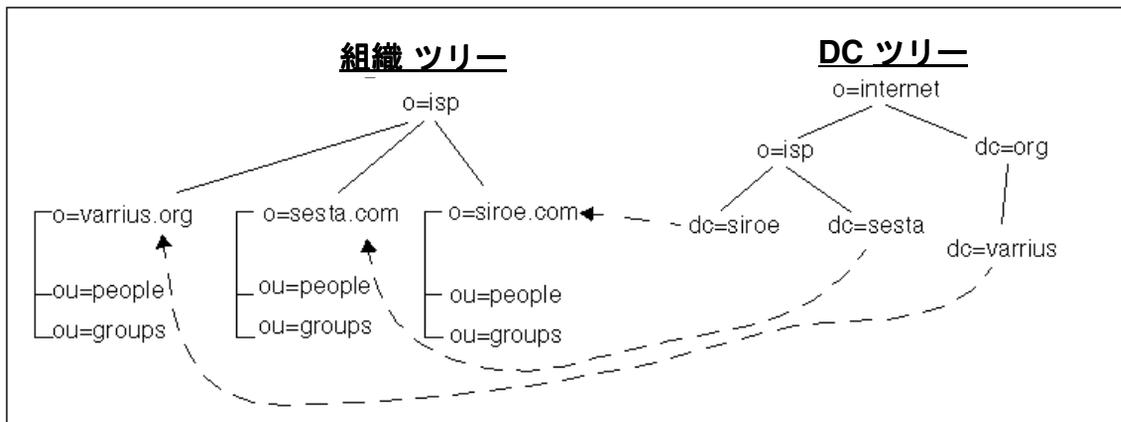
アクセス制御のためのデータのパーティショニング

二重ツリー機構は各パーティション内でデータパーティショニングとアクセス制御を提供します。この機能は、あるカスタマは同じディレクトリツリー内に格納される他のカスタマに関するデータへはアクセスできないという厳しい要件を持つため、マルチテナントディレクトリにおいては重要です。データパーティショ

ニングとアクセス制御により、安全な方法で別のカスタマ組織にアプリケーションをアウトソーシングすることができ、その結果、各組織のユーザ/グループデータは他の組織とは別に格納することができます。このようなアプリケーションの例が、iPlanet Delegated Administrator for Messaging です。

したがって、アウトソースされたメッセージングカスタマは、全体の DIT の中で完全に定義されたサブツリー (通常はドメイン) 内に表現されます。このサブツリーを使用して、そのカスタマに含まれるすべてのサービスデータを格納します。図 1-3 にこの概念を示します。

図 1-3 TEST アクセス制御のためのデータのパーティショニング例



サブドメイン用識別名前空間の提供

二重ツリー機構はサブドメイン用に識別名前空間を提供します。これにより、サブドメイン内で同じログイン名を使用することができます。たとえば、jdoe@siroe.com と jdoe@west.siroe.com は2つの別々の、有効な電子メールアドレスになります。これについては、図 1-1 に示しています。

iPlanet Messaging Server データ モデル

iPlanet Messaging Server オブジェクトクラスの基本データ モデルは、ベース エントリの作成に必要な構造的補助オブジェクトクラスであるコア オブジェクトクラスで作成された LDAP エントリタイプ (たとえば、ユーザ、グループ、ドメイン) を共有クラス (複数のサービスで共有できるオブジェクトクラス) および サービス固有オブジェクトクラス (特定のタイプのサービス専用のクラス) でオーバーレイすることによって LDAP エントリタイプを拡張します。この関係は、次の図に示されています。

表 1-1 エントリタイプと対応するオブジェクトクラス

タイプ \ クラス	コアクラス	共有クラス	メッセージングサーバクラス
DC ツリードメイン	domain, inetdomain		mailDomain, nsManagedDomain, icsCalendarDomain
組織ツリードメイン	organization		nsManagedDomain
電子メールユーザ	person, inetUser, organizationalPerson, inetOrgPerson	ipUser, userPresenceProfile	inetMailUser, inetLocalMailRecipient, nsManagedPerson
グループ	groupOfUniqueNames		inetMailGroup, inetLocalRecipient, inetMailGroupManagement, nsManagedMailList
ファミリアカウント	inetManagedGroup		nsManagedDept

タイプとして電子メールユーザを例として挙げると、次のオブジェクトクラスは次のタイプの属性を提供します。

person では、ユーザを説明する属性を提供します。

organizationalPerson では、組織に属するユーザを説明する属性を提供します。

inetOrgPerson では、基本インターネットユーザ属性を提供します。

ipUser は、個人アドレス帳属性、サービステンプレートのクラス、および該当する場合はファミリアカウントの DN を保持します。

inetUser は、ユーザアカウントを表し、inetMailUser および ipUser とともにメールアカウントの作成に使用されます。

inetSubscriber は、加入者アカウントを表すオプションのオブジェクトクラスです。アカウント ID および challenge/response 属性を提供します。

inetMailUser はメール アカウントを表し、ほとんどのユーザ専用メール アカウント属性を提供します。

inetLocalMailRecipient は、ローカル (組織内) 電子メール受信者を表し、受信者の電子メールアドレスを指定し、受信者に関するルーティング情報を提供します。

ACI アーキテクチャ

アクセスコントロール情報指示 (Access Control Information instructions, AIC) は、ディレクトリへのユーザアクセスを制御します。ディレクトリに異なるタイプのアクセスを必要とするメッセージングサーバユーザには、いくつかのタイプがあります。これらのユーザタイプのいくつかを次に示します。

- 標準電子メールユーザ。このユーザタイプは、電子メールを単に送受信し、パスワード変更や休暇モードを開始する権限を必要とします。
- トップレベル管理者。ディレクトリ内のすべてのエントリに対するすべての実行権限があります。
- メッセージストア管理者。システムまたはドメインのメールボックスを見たりメッセージストアを管理する権限を持ちます。
- ドメイン管理者。ドメイン内のメールユーザ、メーリングリスト、およびファミリーアカウントを作成、変更、削除する権限を持ちます。
- ドメイン組織管理者。ドメイン組織内のメールユーザ、メーリングリストを作成、変更、削除する権限を持ちます。
- ファミリグループ管理者。ファミリグループエントリ内のファミリーメンバーを追加または削除する権限を持ちます。

これらの各ユーザタイプには、特定の ACI が、DC ツリーおよび組織ツリーのルートまたはドメイン レベルで割り当てられています (図 1-4)。各ユーザの代わりにルートおよびドメイン エントリ内で ACI を割り当てることにより、ドメインまたはシステム全体をアクセス対象とすることができます。したがって、ルート ノード上で指定された ACI は、全システム内のエントリに適用され、ドメイン内に指定された ACI は、そのドメイン内のエントリにのみ適用されます (ACI の詳細については、『*iPlanet Directory Administration Guide*』を参照してください)。

さまざまな管理者用の ACI は、特定のグループで付与されます。管理者を作成するには、ユーザをグループに追加して、グループバック ポインタ属性 (memberof) をそのユーザ エントリに追加します。たとえば、インストール時、cn=Domain Administrators, ou=groups, <ドメインの DN> というグループが特定の ACI 特権で作成されます。ドメイン管理者を作成するには、単にユーザをそのグループに追加し、そのユーザのエントリに memberof 属性を追加します。

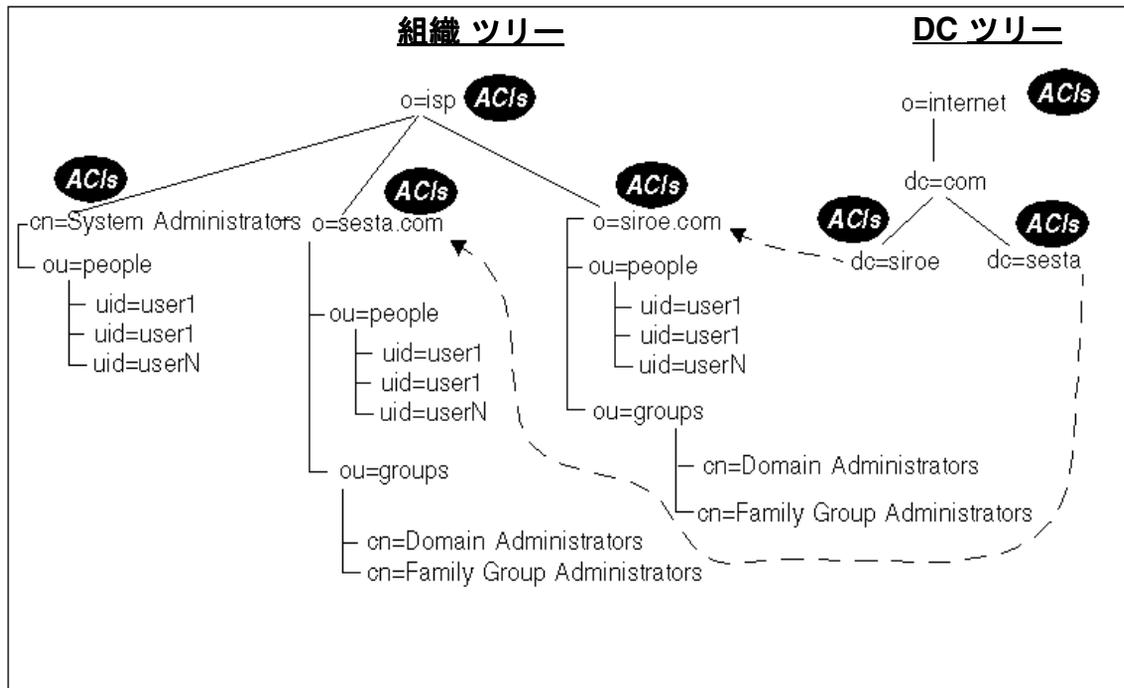
ファミリグループ管理者を作成するには、ユーザをメーリングリスト cn=Family Group Administrators, ou=groups, <ドメインの DN> に追加します。管理者の作成の詳細手順については、第 6 章「メッセージングサーバ管理者のプロビジョニング」を参照してください。

次に示す構成では、ACI が次のエントリに指定されます。

```
o=isp
o=sesta.com,o=isp
o=siroe.com,o=isp
o=internet
dc=siroe, dc=com, dc=internet
dc=sesta, dc=com, dc=internet
```

ドメインおよびルート エントリ ノード用にインストールされる ACI を、図 1-4 に示します。

図 1-4 ACI の例



サービスのクラス

サービスのクラス (Class of Service, COS) 機能を使用すると、固定の機能セットと、指定されたユーザに適用できる属性を作成できます。また、単一の属性を持つユーザエントリに付与できる属性のテンプレートを作成できます。たとえば、ユーザが ISP の場合は、*Hall of Fame* および *All-Star* と呼ばれる 2 つのレベルのメールサービスを作成できます。Hall of Fame サービスのクラスは、ユーザに IMAP、セキュア IMAP、POP3、セキュア POP3、および HTTP (Web メール) メールサービスと 5 GB のメッセージストアディスクスペースを提供できます。All-Star サービスのクラスは、POP3 メールサービスと 5 GB のメッセージストアディスクスペースを提供できます。

注 サービスのクラスで定義される属性を参照するフィルタを含む LDAP 検索要求は、サービスを提供されません。たとえば、`mailquota` のみがサービスのクラステンプレートに定義されていて、ユーザエントリに定義されていない場合は、属性 `mailquota` 上での検索は正常に実行できません。サーバーは、そのような要求が提示されると、「*unwilling to perform*」エラーメッセージを返します。

iPlanet Messaging Server 用のサービスのクラスを設定する

サービスのクラス機能を追加する基本手順は、次のとおりです。

1. COS プラグインを `slapd.ldbm.conf` に追加します。
2. COS メールスキームエントリを作成します。COS メールスキームは、次の項目を定義します。
 - ディレクトリ内の COS テンプレート定義の場所。
 - サービスのクラスを適用できるユーザエントリを含むディレクトリ。
 - ユーザエントリに適用されるサービスのクラステンプレートを指定するために使用される属性 (`inetCOS`) の名前。
 - テンプレート内で使用される属性のリスト。
3. サービスのクラステンプレートのエントリを作成します。
4. サービスのクラスをユーザエントリに割り当てます。

これらの手順は、次の Web サイトで詳細に説明しています。

http://docs.ipplanet.com/docs/manuals/deladmin/45/html/06_cos.htm#25217

特定の iPlanet Messaging Server サービスのクラスの問題と例を次の節で説明します。システムにサービスのクラス機能を実装するときに、「COS スキームの管理」の手順においては、次のパラメータ値を使用してください。

表 1-2 iPlanet Messaging Server サービスのクラスパラメータ値

パラメータ	値
サービスのクラススキームおよびテンプレート用の コンテナの DN	ou=cos, < ドメインの DN >
メールスキームエントリの DN	cn=mail scheme, ou=cos, < ドメインの DN >
サービスのクラスコンテナの DN (cosTemplateDn)	ou=MailSchemeTemplates,ou=cos,< ドメインの DN >
サービスのクラスをエントリに割り当てる属性 (cosSpecifier)	inetCOS

サービスのクラスの例

前の節で説明した例を使用し、sesta.com というホストドメイン用のメールサービスで、*Hall of Fame* および *All-Star* と呼ばれる 2 つのサービスのクラスを作成します。Hall of Fame サービスのクラスは、ユーザに IMAP、セキュア IMAP、POP3、および HTTP (Web メール) メールサービスと 5 G バイトのメッセージストアディスクスペースを提供します。All-Star サービスのクラスは、POP3 メールサービスと 5 M バイトのメッセージストアメモリを提供します。

1. ディレクトリサーバに COS プラグインをインストールします。次の URL を参照してください。
<http://home.netscape.com/eng/server/directory/DSRK/4.1/cos.htm>
2. 次の LDIF エントリの例を使用して、メールスキーマエントリを作成します。

```
dn: cn=mail scheme,ou=COS,o=sesta.com, o=isp
objectclass: top
objectclass: cosDefinition
cosTemplateDn: ou=MailSchemeTemplates,ou=COS,o=sesta.com, o=isp
cosTargetTree: ou=People,o=sesta.com, o=isp
cosSpecifier: inetCOS
cosAttribute: mailQuota
cosAttribute: mailAllowedServiceAccess
```

- `dn: cn=mail scheme,ou=COS,o=sesta.com, o=isp`
COS メールスキーマエントリの DN。
- `objectclass: cosDefinition`
サービスのクラススキーマエントリを定義するオブジェクトクラス。
- `cosTemplateDn: ou=MailSchemeTemplates,ou=COS,o=sesta.com, o=isp`
このスキームの COS テンプレートエントリが格納されるサブツリーを含む複数値を指定できる属性。
- `cosTargetTree: ou=People,o=sesta.com, o=isp`
COS スキーマが適用されるサブツリーを含む複数値を指定できる属性。
- `cosSpecifier: inetCOS`
ユーザエントリに適用される COS テンプレートを指定するために使用される属性の名前。
- `cosAttribute: mailQuota`
`cosAttribute: mailAllowedServiceAccess`
テンプレートエントリ内で使用される属性。

3. COS テンプレートエントリを作成します。

次に示すのは、Hall of Fame および All-Star テンプレート用の 2 つのテンプレートエントリの LDIF です。

```
dn: uid=All-Star,ou=MailSchemeClasses,ou=COS,o=sesta.com, o=isp
objectclass: top
objectclass: inetUser
objectclass: inetMailUser
mailQuota: 5000000
mailAllowedServiceAccess: +pop3:*
```

```
dn: uid=Hall of Fame,ou=MailSchemeClasses,ou=COS,o=sesta.com, o=isp
objectclass: top
objectclass: inetUser
objectclass: inetMailUser
mailQuota: 5000000000
mailAllowedServiceAccess: +imap, imaps, pop3, http:*
```

- dn: uid=All-Star,ou=MailSchemeClasses,ou=COS,o=sesta.com,
o=isp
dn: uid=Hall of Fame,ou=MailSchemeClasses,ou=COS,o=sesta.com,
o=isp

COS テンプレートの DN

- objectclass: top
objectclass: inetUser
objectclass: inetMailUser
mailQuota: 5000000
mailAllowedServiceAccess: +pop3:*

All-Star テンプレート内の属性およびオブジェクトクラス。

- objectclass: top
objectclass: inetUser
objectclass: inetMailUser
mailQuota: 5000000000
mailAllowedServiceAccess: +imap, imaps, pop3:*

Hall of Fame テンプレート内の属性およびオブジェクトクラス。

4. サービスのクラステンプレートをユーザに追加します。

```
dn: uid=Havlicek,ou=People,o=sesta.com, o=isp
objectClass: top
objectClass: person
objectClass: organizationalPerson
objectClass: inetOrgPerson
objectClass: inetUser
objectClass: ipUser
objectClass: userPresenceProfile
objectClass: inetMailUser
objectClass: inetLocalMailRecipient
cn: John Havlicek
sn: Havlicek
initials: JH
givenName: John
mail: john.havlicek@sesta.com
mailAlternateAddress: Havlicek@sesta.com
mailHost: mail.siroe.com
uid: Havlicek
dataSource: iPlanet Messaging Server
userPassword: secret
inetUserStatus: active
mailUserStatus: active
mailMsgQuota: 100
inetCos: Hall of Fame

dn: uid=Hornicek,ou=People,o=sesta.com, o=isp
objectClass: top
```

```
objectClass: person
objectClass: organizationalPerson
objectClass: inetOrgPerson
objectClass: inetUser
objectClass: ipUser
objectClass: userPresenceProfile
objectClass: inetMailUser
objectClass: inetLocalMailRecipient
cn: Jeff Hornicek
sn: Hornicek
initials: JH
givenName: Jeff
mail: jeff.hornicek@sesta.com
mailAlternateAddress: Hornicek@sesta.com
mailDeliveryOption: mailbox
mailHost: mail.siroe.com
uid: Hornicek
dataSource: iPlanet Messaging Server 5.0
userPassword: secret
inetUserStatus: active
mailUserStatus: active
mailMsgQuota: 100
inetCos: All-Star
```

サービスのクラス

ドメインのプロビジョニング

この章では、iPlanet Message Server のプロビジョニングを行うために必要なドメインおよび組織ユニットを作成する方法を説明します。これらのユニットの一部はインストール時、または Delegated Administrator の使用時に作成されます。ただし、これらの手順は教育的な目的で記載します。本書では属性の概要のみを説明しています。詳細は、『iPlanet Schema Reference Manual』を参照してください。この章には次の節があります。

- 34 ページの「ドメイン ACI」
- 35 ページの「DC ツリーの作成」
 - 36 ページの「DC ツリーのルートドメインエントリの作成」
 - 37 ページの「DC ツリーのトップレベルドメインエントリの作成」
 - 39 ページの「DC ツリーのホストドメインエントリの作成」
- 42 ページの「組織ツリーの作成」
 - 43 ページの「組織ツリーのルートドメインエントリの作成」
 - 43 ページの「組織ツリー内のホストドメインエントリの作成」
 - 45 ページの「ホストドメインに必要なコンテナの作成」
- 46 ページの「ドメイン組織の作成」
 - 47 ページの「ドメイン組織の削除」
- 48 ページの「バニティドメインの作成」
- 50 ページの「ドメインタスク」
 - 50 ページの「ドメイン別名の作成」

- 51 ページの「ドメインのスマートルーティングホストの追加」
- 52 ページの「ドメインの新しいルーティングホストの追加」
- 52 ページの「ドメインのようこそメッセージの設定」
- 53 ページの「Messenger Express クライアントに対する添付ファイル数の制限」
- 54 ページの「ドメインの状態の設定」

ドメイン ACI

ACI は、DC ツリーおよび組織ツリーの両方のすべてのルートエントリおよびドメインエントリに必要です。ACI は、さまざまなタイプのユーザおよび管理者と iPlanet Delegated Administrator for Messaging ツールによるディレクトリへのアクセスを制御します。ユーザ アクセス用 Messaging Server ACI の詳細については、24 ページの「ACI アーキテクチャ」を参照してください。

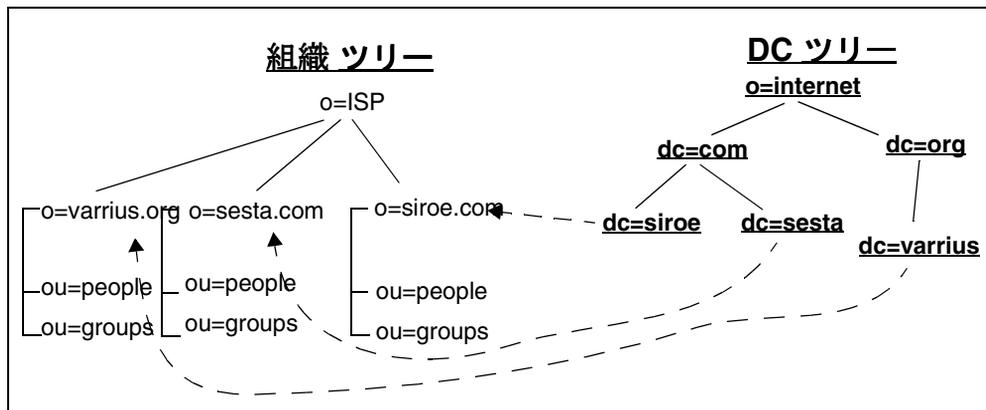
インストール時に、ACI は DC ツリーおよび組織ツリーの両方のルートレベル、および組織ツリーのトップレベルドメイン用にインストールされます (付録 A 「ルートおよびドメイン ACI の例」を参照)。これらの ACI は、ノードとすべてのサブノードに適用されます。したがって、ルートノード上に作成された ACI は、ルートの下すべてのドメインに適用されます。ACI 規則は、特定のドメインに対して `ldapsearch` を実行することによって参照できます。規則は、ドメインエントリ属性の後に次の形式で表示されます。

```
# 匿名アクセス制御
#
# ユーザエントリへの匿名読み取りおよび検索アクセスを許可します
#
aci: (targetattr != "userPassword")
      (targetfilter=(objectClass=nsManagedPerson))
      (version 3.0; acl "Anonymous access to User entries";
        allow (read,search)
         userdn="ldap:///anyone";)
#
```

この ACI 規則では、オブジェクトクラス `nsManagedPerson` を含む任意のエントリ内の `userPassword` 以外は、誰でもすべてを検索して読み取ることができます。ポンド記号 (#) がある行は、コメントです。 `targetattr` は、動作する対象の属性を指定します。 `targetfilter` は、検索対象のオブジェクトクラスです。 `version` は、ユーザ定義のバージョン番号およびコメントです。 `allow` は、許可されている権限を一覧表示します (読み取り、書き込み、検索、削除、変更)。 `userdn` は、これらの属性上で処理を行うユーザを指定します。

ディレクトリ ACI の詳細については、『*Netscape Directory Server 4.1 Administrator's Guide*』を参照してください。

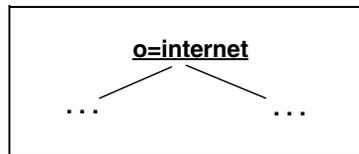
DC ツリーの作成



DC ツリーノードは、特定のドメインのオペレーティングパラメータ (ルーティングホスト、ディスク制限容量など) と、ドメインのユーザおよびメーリングリストエントリを含むサブツリーへのポインタを含みます。DC ツリーは、DNS 構造をミラー化し、デフォルトの DC ツリーがインストール時に作成されます。新しいホストドメインまたはドメイン組織が作成されますが、DC ツリーおよび組織ツリー内に新しいドメインおよびドメイン組織ノードを作成する必要があります。

これは、iPlanet Delegated Administrator for Messaging コマンド `imadmin domain create` (コマンドについての詳細は『*iPlanet Messaging Server* リファレンスマニュアル』を参照) または iPlanet Delegated Administrator for Messaging コンソール (『*iPlanet Delegated Administrator Guide*』を参照) を使用して実行できます。この節では、LDAP を使用して作成する方法のみを説明します。MX レコードも新しいドメインに追加する必要があります。

DC ツリーのルートドメインエントリの作成



ルートエントリは、ディレクトリツリーのトップレベルノードです。DC ツリー内の規則では、ルートを `o=internet` に設定します。 `o=internet` 以外にルートを指定する場合、メッセージングサーバ構成内の `service.dccroot` が、必ず DC ツリールートの DN に一致するようにします。DC ルートを作成するための LDIF レコードを、コード例 2-1 に示します。DC ツリーおよび組織ツリーのルートノードはインストール時に作成されますが、ここでは、説明のために LDIF を示します。デフォルト ACI については、付録 A 「ルートおよびドメイン ACI の例」で説明しています。

注 一般的に、特定の共通属性には、別名を指定します。これらは、ディレクトリサーバ構成ディレクトリの属性定義ファイル (`*.at.conf`) 内で行います。共通別名には、`cn` (`commonname`)、`ou` (`organizationalUnit`)、`o` (`organization`)、`sn` (`surname`)、`dn` (`distinguishedName`) が含まれます。

コード例 2-1 DC ツリールートの LDIF レコード

```
dn: o=internet
objectClass: organization
o: internet
description: Root level node in the Domain Component (DC) tree
```

DC ツリーのルートエントリ属性とオブジェクトクラス

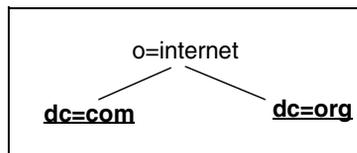
- dn: o=internet

ツリー内のディレクトリエントリを個別に識別する識別名 (dn)。DC ツリーのデフォルトルートノードは o=internet です。

- objectClass: organization

DC ツリーのルートノードは、オブジェクトクラス organization によって定義されます。オブジェクトクラスでは、別の属性をエントリに追加できますが、"o" のみが必要です。o は、このエントリの dn に設定されている値と同じ値でなければなりません。

注 すべてのオブジェクトクラスは top オブジェクトクラスを継承するので、エントリの作成のために、LDIF コードに objectClass: top を含める必要はありません。

DC ツリーのトップレベルドメインエントリの作成

トップレベル ドメインエントリはルートの真下で、DNS ドメインのドメインコンポーネントをミラー化する必要があります。トップレベル ノードを作成するための LDIF レコードを、コード例 2-2 に示します。ルートノード、トップレベルノード、およびデフォルトドメインノードはインストール時に作成されますが、ここでは、説明のために LDIF を示します。ACI も作成されます (付録 A 「ルートおよびドメイン ACI の例」を参照)。

コード例 2-2 トップレベルノードの LDIF レコード

```
dn: dc=com, o=internet
objectClass: domain
dc: com
description: top level .com domain in the DC tree

dn: dc=org, o=internet
objectClass: domain
dc: org
description: top level .org domain in the DC tree
```

DC ツリーのトップレベルノード属性とオブジェクトクラス

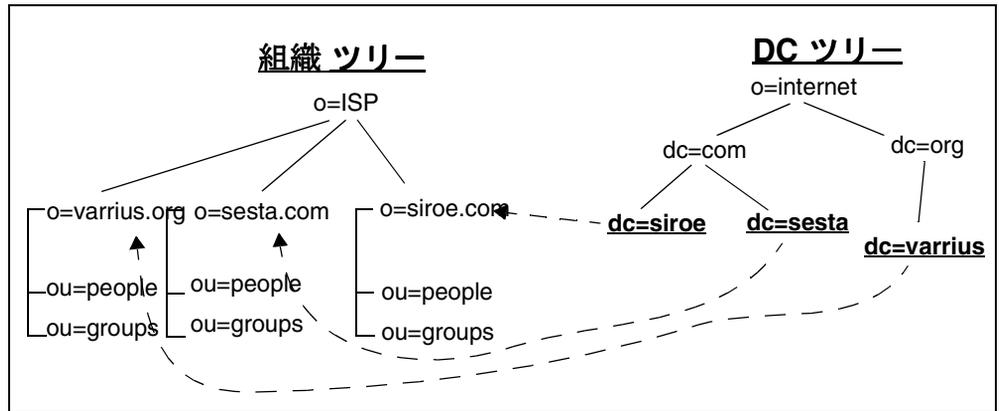
- dn: dc=com,o=internet
dn: dc=org,o=internet

dn は上位レベルドメインノードエントリを指定します。

- objectClass: domain

domain オブジェクトクラスは、DC ツリー内のすべてのコンテナエントリを作成するために使用されます (ルートエントリを除く)。

DC ツリーのホストドメインエントリの作成



組織ツリーの各ホストドメインの場合、対応するホストドメインノードも DC ツリー内に作成する必要があります。DC ツリー内にホストドメインを作成する LDIF コードを次に示します。ACIについては、付録 A 「ルートおよびドメイン ACI の例」を参照してください。

コード例 2-3

DC ツリー内のホストドメインノードの作成用 LDIF レコード

```
dn: dc=sesta,dc=com,o=internet
objectClass: domain
objectClass: inetDomain
objectClass: mailDomain
objectClass: nsManagedDomain
objectClass: icsCalendarDomain
description: DC node for sesta.com hosted domain
dc: sesta
inetDomainBaseDN: o=sesta.com,o=isp
inetDomainStatus: active
mailDomainStatus: active
mailDomainAllowedServiceAccess: +imap, pop3, http:*
mailRoutingHosts: manatee.siroe.com
preferredMailHost: manatee.siroe.com
mailDomainDiskQuota: 10000000
mailDomainMsgQuota: -1
mailClientAttachmentQuota: 5
```

DC ツリーホストドメイン属性とオブジェクトクラス

- dn: dc=sesta, dc=com, o=internet

dn はツリー内のドメインエントリを固有に識別します。各ホストドメイン構成要素は、ホストドメインの DNS ノードと一致しなければなりません。

- objectClass: domain
objectClass: inetDomain
objectClass: inetDomain
objectClass: nsManagedDomain
objectClass: icsCalendarDomain

これらの行は、dc=sesta エントリを DIT 内に作成するために必要なオブジェクトクラスを指定します。domain は、コアオブジェクトクラスで、DC ツリーのドメインコンポーネントノードを説明するために役立つ属性を提供します。

inetDomain は、ホストドメインの追加プロパティを説明する属性を提供します。このオブジェクトクラスは、DNS ドメインに対応するディレクトリエントリに関連付けられています。

mailDomain は、ホストドメインアカウントを表し、mailDomain および、オプションで inetDomainAuthInfo と組み合わせて使用して、ホスト組織のメールサービスに適したホストドメインノードを作成します。このオブジェクトクラスは、すべてのホストドメインエントリで使用する必要があります。

nsManagedDomain は、iPlanet Delegated Administrator for Messaging によって管理されるドメインの情報を格納します。

注 ユーザおよびグループデータが DC ツリー内に格納されていて、組織ツリー内に格納されていない場合は、nsManagedDomain オブジェクトクラスおよび関連属性を含める必要があります。43 ページの「組織ツリー内のホストドメインエントリの作成」を参照してください。

ドメイン属性

- description: DC node for sesta.com hosted domain
書式設定のないテキスト。通常は、このエントリの属性 organizationName の値に関連付けられている組織のフルネームです。
- dc: sesta
必須な属性。dc は、このノードの関連 DNS ドメイン構成要素です。

inetDomain 属性

- inetDomainBaseDN: o=sesta.com,o=ISP

単一の値の属性。このホストドメインのすべてのユーザおよびグループエントリが含まれるサブツリーの DN。

- `inetDomainStatus: active`

ホストドメインの現在の状態。有効な値は、`active`、`inactive`、`deleted` です。この属性はグローバルドメインステータスです。値がない場合は、状態が `active` であることを示します。不正な値は `inactive` として処理されます。メールドメインの場合、その他の状態属性は `mailDomainStatus` です。

mailDomain 属性

- `mailDomainStatus: active`

メールドメインの現在の状態。これは、次の値のいずれかになります。
`active`、`inactive`、`deleted`、`hold`。

- `mailDomainAllowedServiceAccess: +imap, pop3, http:*`

サービスアクセスフィルタを格納します。フィルタを指定しない場合は、ユーザはすべてのクライアントからすべてのサービスへアクセスを許可されます。

- `mailRoutingHosts: manatee.siroe.com`

MTA の完全修飾ホスト名は、このドメインおよびそのサブドメインのすべてのユーザに対するルーティングを決定します。空白または欠落している場合は、すべての MTA は、このドメインおよびそのサブドメインのユーザ/グループメッセージをルーティングする必要があります。

- `preferredMailHost: manatee.siroe.com`

iPlanet Delegated Administrator for Messaging および Console で、このメールドメイン内のユーザおよびグループの `mailHost` 属性を設定するために使用されます。

- `mailDomainDiskQuota: 100000000`

ドメイン内のすべてのユーザ用のディスク制限容量 (バイト数単位)。-1 は、制限がないことを示します。Delegated Administrator によりプロビジョニングが行われますが、この値は強制されません。ただし、報告するという目的には使用できます。

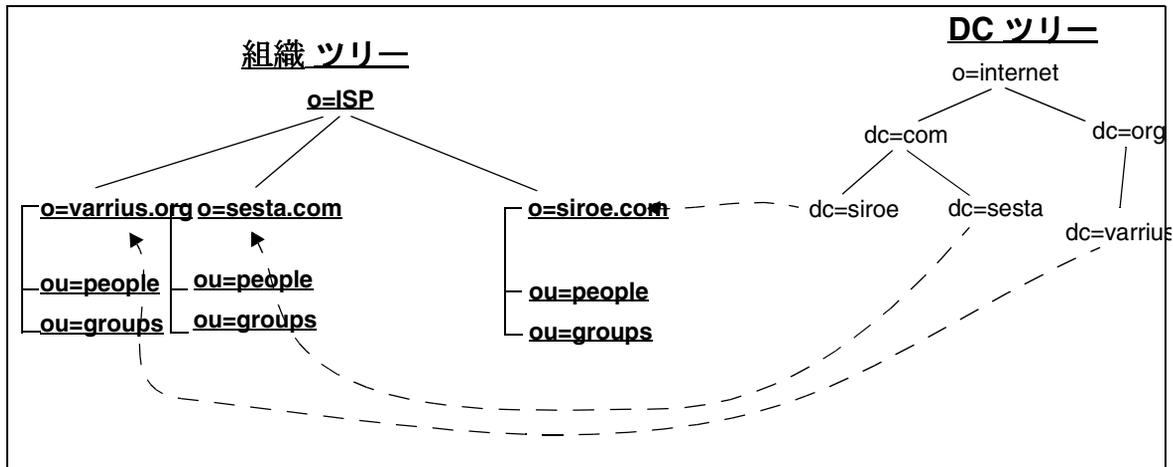
- `mailDomainMsgQuota: -1`

このドメイン内のすべてのユーザに許可されているメッセージ数のディスク制限容量。-1 は、制限がないことを示します。Delegated Administrator によりプロビジョニングが行われますが、この値は強制されません。ただし、報告するという目的には使用できます。

- mailClientAttachmentQuota: 5

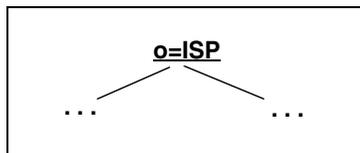
Messenger Express クライアントが、このドメインに対して許可される添付の数。-1 は、添付に制限がないことを示します。

組織ツリーの作成



組織ツリーには、ユーザおよびグループのエントリが含まれます。サーバは、組織ツリーを示す DC ツリーを参照します。新しいホストドメインを作成すると、DC ツリーおよび組織ツリー内に新しいドメインノードが作成されます。これは、iPlanet Delegated Administrator for Messaging コマンド `imadmin domain create` または iPlanet Delegated Administrator for Messaging GUI ツールを使用して行います。

組織ツリーのルートドメインエントリの作成



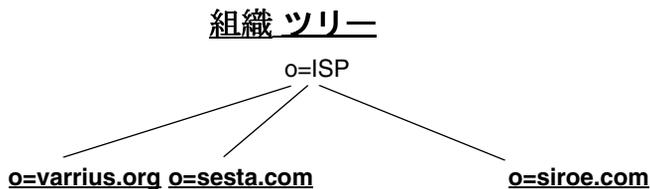
組織ツリーのルートエントリは、DC ツリーのルートエントリと同様にインストール時に作成されます。組織ツリーのルート名はインストーラによって指定できます。このノードはインストール時に作成されますが、ここでは、説明のために LDIF を示します。

コード例 2-4 組織ツリー ルートの LDIF レコード

```
dn: o=ISP
objectClass: organization
o: internet
description: Root level node in the Organizational tree
```

この例では、ルートエントリ DN として `o=isp` を使用します。属性の説明は、36 ページの「DC ツリーのルートドメインエントリの作成」を参照してください。ACI 情報については、付録 A 「ルートおよびドメイン ACI の例」を参照してください。

組織ツリー内のホストドメインエントリの作成



組織ツリー内のホストドメインは、ルート (`o=isp`) の下に作成されます。ホストドメインの DN は、任意の架空名称を使用できます。DC ツリー内で使用される名前を反映する必要はありませんが、DC ツリーのドメインノード内の `inetDomainBaseDN` 属性は、組織ツリー内の対応するノードを指し示している必要があります。組織ツリー内のホストドメインを作成するための LDIF コードの例を、コード例 2-5 に示します。

コード例 2-5 組織ツリー内のホストドメイン用 LDIF レコード

```
dn: o=sesta.com,o=ISP
objectclass: organization
objectclass: nsManagedDomain
o: sesta.com
nsNumMailLists: 5
nsMaxMailLists: 1000
nsNumUsers: 20
nsMaxUsers: 1000
```

組織ツリーのホストドメイン属性とオブジェクトクラス

この節では、ホストドメイン属性について簡単に説明します。属性の詳細については、『*iPlanet Schema Reference Manual*』を参照してください。

- `dn: o=sesta.com, o=ISP`
`dn` は、ツリー内のディレクトリエントリを個別に識別します。
- `objectClass: organization`
`objectclass: nsManagedDomain`
これらは、組織ツリー内のホストドメイン エントリに必要なオブジェクトクラスです。`organization` は、コアオブジェクトクラスで、組織を説明するために使用されます。`nsManagedDomain` は、*iPlanet Delegated Administrator for Messaging* によって管理されるドメインの情報を格納します。

organization 属性

- `o: sesta.com`
`o` は、`organizationName` の別名で、必須属性です。

nsManagedDomain 属性

- `nsNumMailLists: 5`

ドメイン内のユーザによって作成されたメールリストの数を指定します。この数は、すべてのネストされたサブドメインで累積されます。Delegated Administratorはこの数を保持し、強制します。

- `nsMaxMailLists: 1000`

ドメイン内のユーザが作成できるメールリストの最大数を指定します。この制限は、すべてのネストされたサブドメインに適用されます。

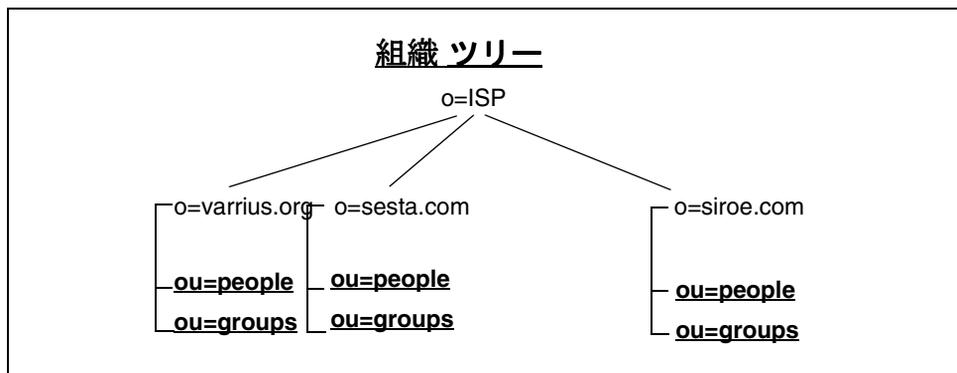
- `nsNumUsers: 20`

代表管理者で使用中のユーザアカウントの数を識別します。

- `nsMaxUsers: 1000`

作成されるユーザアカウントの最大数を指定します。

ホストドメインに必要なコンテナの作成



各ホストドメインは、ユーザエントリ用のコンテナ *people*、とメールリストエントリ用のコンテナ *groups* を持っている必要があります。次にコード例を示します。

コード例 2-6 ホストドメインコンテナの LDIF コード

```

dn: ou=People,o=sesta.com,o=ISP
ou: People
objectClass: organizationalUnit

dn: ou=Groups,o=sesta.com,o=ISP
ou: Groups
objectClass: organizationalUnit
  
```

組織ツリーのホストドメインコンテナ属性とオブジェクトクラス

- dn: ou=People,o=sesta.com,o=ISP
dn: ou=Groups,o=sesta.com,o=ISP

これらは、すべてのホストドメインに必要なコンテナの識別名です。
ou=People には、ホストドメインのすべてのユーザエントリが含まれます。
ou=Groups には、ホストドメインのすべてのメーリングリストエントリが含まれます。

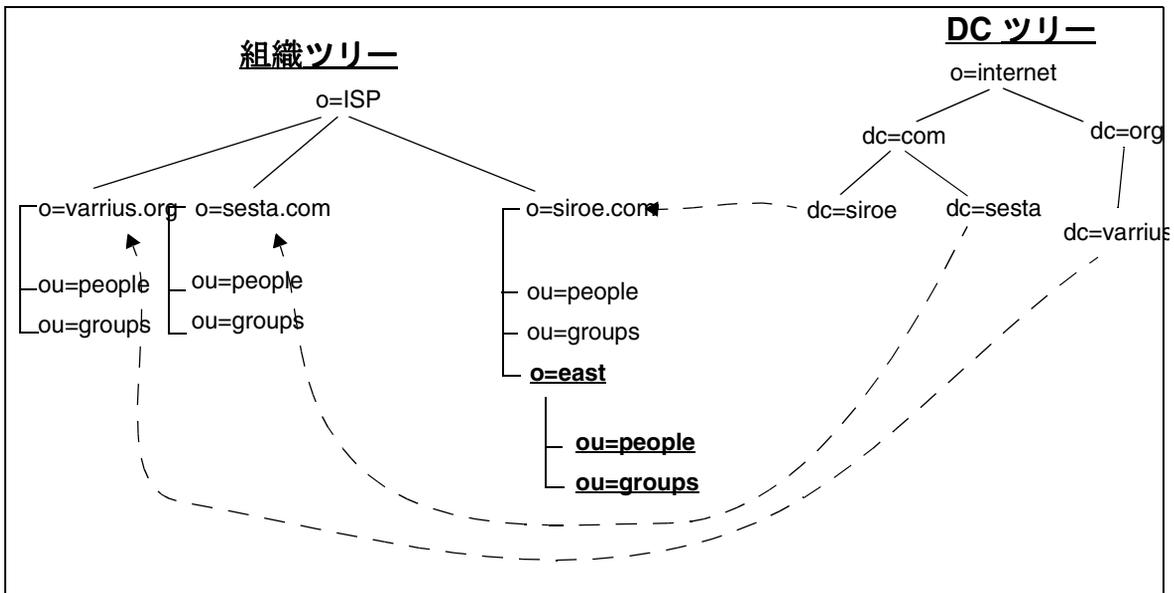
- objectClass: organizationalUnit

organizationalUnit オブジェクトクラスは、ここで説明している例において、ホストドメインのコンテナエントリを作成するために使用されます。

- ou: People
ou: Groups

organizationalUnit の必須エントリです。

ドメイン組織の作成



ドメイン組織は、ドメインノード(上記を参照)内のユーザとグループを持つノードです。Delegated Administrator for Messaging からは、ドメイン組織は別の組織ノードのように見えます。ドメイン組織は、部門や機能ラインにそって、ユーザとグループエントリを組織し、委任することを望む企業にとって有用です。ユーザエントリがドメイン組織に入力されると、そのユーザは以前と同じ電子メールアドレスを持ちます。

ドメイン組織は、LDAP を介してのみ作成できます。現在 iPlanet Console や iPlanet Delegated Administrator for Messaging 内には、組織を作成するメカニズムはありませんが、iPlanet Delegated Administrator for Messaging コンソールは、既存のドメイン組織のユーザおよびグループの作成、削除、変更をサポートしています。

ACI のないドメイン組織エントリを以下に示します (ACI に関する情報については、付録 A 「ルートおよびドメイン ACI の例」を参照)。ドメイン組織用にコンテナを作成する方法は、45 ページの「ホストドメインに必要なコンテナの作成」を参照してください。

コード例 2-7 組織ツリー内のドメイン組織の LDIF レコード

```
dn: ou=east,o=siroe.com,o=isp
objectclass: nsManagedOrgUnit
objectclass: organizationalUnit
objectclass: inetdomainOrg
ou: east
nsdamodifiableby: cn=Domain Organization Administrators,ou=east,
o=siroe.com,o=isp
domOrgMaxUsers: 1000
domOrgNumUsers: 3
```

ドメイン組織の削除

ドメイン組織は次の方法で削除できます。

1. `imadmin delete` コマンドを使用してすべてのユーザとグループを削除します。
2. `imadmin purge` コマンドを使用してすべてのユーザとグループをパージします。
3. `ou=users` や `ou=groups` など、残りのすべてのコンテナを削除します。

バニティドメインの作成

バニティドメインまたはカスタムドメインは、ドメインエントリではなく、個々のユーザエントリに添付されるドメイン名です。バニティドメインは、ホストドメインを自分で持つことなく、独自のドメイン名を希望する個人または小規模な組織で役立ちます。たとえば、従業員 6 人の小さな会社 *Florizel* が *Siroe ISP* で電子メールアカウントを持っているとします。従業員は電子メールを *siroe.com* ではなく *florizel.com* で受け取ることを希望しています。ホストドメインを作成する代わりに、バニティドメインを登録して *Florizel* の各メンバーが *username@florizel.com* でメールを受信できるように設定します。

バニティドメインはドメイン名に LDAP エントリを持ちませんが、その代わりにユーザエントリ内に `MailAlternateAddress` 属性 (オブジェクトクラス `inetLocalMailRecipient`) および `msgVanityDomain` 属性 (オブジェクトクラス `msgVanityDomainUser`) を追加することによって、各ユーザベースで指定されます。次に例を示します。

コード例 2-8 バニティドメインによるユーザエントリの例

```
dn: uid=kong,ou=people,o=siroe.com,o=isp
objectClass: person
objectClass: organizationalPerson
objectClass: inetOrgPerson
objectClass: inetUser
objectClass: ipUser
objectClass: inetMailUser
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: nsManagedPerson
objectClass: userPresenceProfile
objectClass: msgVanityDomainUser
cn: Kelly Kong
sn: Kong
initials: KK
givenName: Kelly
mail: Kelly.Kong@siroe.com
mailAlternateAddress: kelly.kong@florizel.com
mailAlternateAddress: @florizel.com
msgVanityDomain: florizel.com
mailDeliveryOption: mailbox
mailHost: manatee.siroe.com
uid: kong
dataSource: iMS 5.0 @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
userPassword: password
mailAllowedServiceAccess: +imap, imaps, pop3, http:*
inetUserStatus: active
```

コード例 2-8 バニティドメインによるユーザエントリの例

```
mailUserStatus: active
mailQuota: -1
mailMsgQuota: 100
```

この例では、msgVanityDomain は、ルーティングのために MTA によって使用されるドメイン名を指定します。kelly.kong@siroe.com または kelly.kong@florizel.com 宛てに送信されたメールは、Kelly Kong 用のメッセージストアに送信されます。

mailAlternateAddress: *@florizel.com という行により、kelly.kong@florizel.com がすべてを受信する (catch-all) アドレスになります。これは、MTA が正確な一致アドレスを見つけることができなかった場合、ドメイン florizel.com へのメールを受信するアドレスです。

注

- 1) バニティドメインを持つユーザは、実ドメイン名を使用してメッセージングサーバにログインする必要があります。前述の例では、Kelly Kong はドメイン florizel.com からではなく、siroe.com から自分のメールにアクセスする必要があります。
- 2) バニティドメイン名は、固有のインターネットドメイン名で登録する必要があります。また、MX レコードはそれぞれの名前でも登録する必要があります。

ドメインタスク

この節では、共通ドメインタスクを実行する方法を説明します。すべての LDIF レコードが各タスクに指定されますが、ほとんどのタスクは、1 つまたは複数の属性を既存のドメインに追加するだけです。これらの属性は、LDIF 更新ステートメントに表示され、完全な LDIF レコードには太字で示されます。この節には、次の項目が含まれます。

- 50 ページの「ドメイン別名の作成」
- 51 ページの「ドメインのスマートルーティングホストの追加」
- 52 ページの「ドメインの新しいルーティング ホストの追加」
- 52 ページの「ドメインのようこそメッセージの設定」
- 53 ページの「Messenger Express クライアントに対する添付ファイル数の制限」
- 54 ページの「ドメインの状態の設定」

ドメイン別名の作成

ドメイン別名は、別のドメインを示すドメインエントリです。ドメイン別名は、DC ツリー内で作成されます。ドメイン別名は、固有のインターネットドメイン名で登録する必要があります。ドメインがメールを受信するには、MX レコードも登録する必要があります。次の LDIF の例では、ドメイン `florizel.com` を `sesta.com` という別名にすることができます。

コード例 2-9 ドメイン別名の作成

```
dn: dc=florizel, dc=com, o=internet
objectclass: alias
objectclass: inetDomainAlias
aliasedObjectName: dc=sesta, dc=com, o=internet
dc: florizel
```

ドメインのスマートルーティングホストの追加

スマートルーティング ホストまたはスマートホストは、ドメイン内のすべてのユーザ用のルーティング情報の正式なソースと見なされる MTA ホストです。ローカル MTA がドメイン内にユーザを検出できない場合は、メッセージがスマートホストに転送されます。ルーティング ホストの完全修飾ホスト名をドメインエントリの `mailRoutingSmartHost` 属性に追加することによって、スマートホストを指定します。次の LDIF レコードは、`smarthost1.siroe.com` をドメイン `sesta.com` のルーティングホストとして設定します。

コード例 2-10 スマートルーティングホストを追加するための変更

```
dn: dc=sesta, dc=com, o=internet
changetype: modify
add: mailRoutingSmartHost
mailRoutingSmartHost: smarthost1.siroe.com
```

コード例 2-11 スマートルーティングホストを備えたホストドメインの LDIF レコード

```
dn: dc=sesta,dc=com,o=internet
objectClass: domain
objectClass: inetDomain
objectClass: mailDomain
description: DC node for sesta.com hosted domain
dc: sesta
inetDomainBaseDN: o=sesta.com,o=isp
inetDomainStatus: active
mailDomainStatus: active
mailDomainAllowedServiceAccess: +imap, pop3, http:*
mailRoutingHosts: manatee.sesta.com
preferredMailHost: manatee.sesta.com
mailDomainDiskQuota: 100000000
mailDomainMsgQuota: -1
mailClientAttachmentQuota: 5
mailRoutingSmartHost: smarthost1.siroe.com
```

ドメインの新しいルーティングホストの追加

ルーティングホストは、特定のドメインとそのサブドメイン内のアドレスにメールをルーティングできる MTA ホストです。ドメインレコード内の `mailRoutingHosts` 属性が欠落している場合は、そのディレクトリにアクセスする、システム内のすべての MTA がそのドメインのメールのルーティングを処理します。次の LDIF レコードの例は、1 つまたは複数の特定の MTA をドメインのメールルーティングを処理するように指定する方法を示しています。

コード例 2-12 ルーティングホストを追加するための変更

```
dn: dc=sesta, dc=com, o=internet
changetype: modify
add: mailRoutingHosts
mailRoutingHosts: sestarouter1.siroe.com
mailRoutingHosts: sestarouter2.siroe.com
```

コード例 2-13 ルーティングホストを備えたホストドメインの LDIF レコード

```
dn: dc=sesta,dc=com,o=internet
objectClass: domain
objectClass: inetDomain
objectClass: mailDomain
description: DC node for sesta.com hosted domain
dc: sesta
inetDomainBaseDN: o=sesta.com,o=isp
inetDomainStatus: active
mailDomainStatus: active
mailDomainAllowedServiceAccess: +imap, pop3, http:*
mailRoutingHosts: sestarouter1.siroe.com
mailRoutingHosts: sestarouter2.siroe.com
preferredMailHost: manatee.sesta.com
mailDomainDiskQuota: 100000000
mailDomainMsgQuota: -1
mailClientAttachmentQuota: 5
```

ドメインのようこそメッセージの設定

ドメインがドメインの新しいユーザに「ようこそメッセージ」を配信する場合、`mailDomainWelcomeMessage` 属性に「ようこそメッセージ」を設定できます。次の LDIF レコードは、ドメイン `sesta.com` の「ようこそメッセージ」を設定します。\$\$ は、改行復帰に置換されます。

コード例 2-14 ドメインのようこそメッセージを追加するための変更

```
dn: dc=sesta, dc=com, o=internet
changetype: modify
add: mailDomainWelcomeMessage
mailDomainWelcomeMessage: Subject: Welcome to Sesta! $$ Welcome!
```

コード例 2-15 ようこそメッセージを備えたホストドメインの LDIF レコード

```
dn: dc=sesta,dc=com,o=internet
objectClass: domain
objectClass: inetDomain
objectClass: mailDomain
description: DC node for sesta.com hosted domain
dc: sesta
inetDomainBaseDN: o=sesta.com,o=isp
inetDomainStatus: active
mailDomainStatus: active
mailDomainAllowedServiceAccess: +imap, pop3, http:*
mailRoutingHosts: manatee.siroe.com
preferredMailHost: manatee.siroe.com
mailDomainDiskQuota: 100000000
mailDomainMsgQuota: -1
mailClientAttachmentQuota: 5
mailDomainWelcomeMessage: Subject: Welcome to Sesta! $$ Welcome!
```

Messenger Express クライアントに対する添付ファイル数の制限

Messenger Express クライアントが1つのメッセージで送信できる添付ファイルの数を制限するには、次のように `mailClientAttachmentQuota` 属性を設定します。

コード例 2-16 Messenger Express 添付ファイルを1メッセージにつき2つに制限するための変更

```
dn: dc=sesta, dc=com, o=internet
changetype: modify
replace: mailClientAttachmentQuota
mailClientAttachmentQuota: 2
```

コード例 2-17 Messenger Express 添付ファイルを1メッセージにつき2つに制限するための LDIF レコード

```
dn: dc=sesta,dc=com,o=internet
objectClass: domain
objectClass: inetDomain
objectClass: mailDomain
description: DC node for sesta.com hosted domain
dc: sesta
inetDomainBaseDN: o=sesta.com,o=isp
inetDomainStatus: active
mailDomainStatus: active
mailRoutingHosts: manatee.siroe.com
preferredMailHost: manatee.siroe.com
mailDomainDiskQuota: 100000000
mailDomainMsgQuota: -1
mailClientAttachmentQuota: 2
```

ドメインの状態の設定

メール ドメインは、次のいずれかの状態になります。

- active - ドメイン内のメールサービスが完全に機能しています。
- inactive - メールサービスが一時中断しています。
- deleted - メール サービスが一時中断していて、`imadmin domain purge` コマンドによってドメインに削除マークが付いています (『*iPlanet Messaging Server* リファレンスマニュアル』を参照)。
- hold - ドメイン内のユーザへのすべてのメッセージを宛先メール サーバの HOLD キューに、保持するよう MTA に通知します。これは、ユーザが1つのサーバーから別のサーバーに移され、移動が完了するまでメッセージを保持しておく場合に使用します。

これらの状態は、`mailDomainStatus` 属性に設定されます。状態は、別の値に変更することができます。値がない場合は、状態が active であることを示します。不正な値は inactive として処理されます。次の LDIF は、状態を hold に設定します。

コード例 2-18 ドメインの状態を保留にする変更

```
dn: dc=sesta, dc=com, o=internet
changetype: modify
replace: mailDomainStatus
mailDomainStatus: hold
```

コード例 2-19 保留中のホストドメインの LDIF レコード

```
dn: dc=sesta,dc=com,o=internet
objectClass: domain
objectClass: inetDomain
objectClass: mailDomain
description: DC node for sesta.com hosted domain
dc: sesta
inetDomainBaseDN: o=sesta.com,o=isp
inetDomainStatus: active
mailDomainStatus: active
mailRoutingHosts: manatee.sesta.com
mailDomainDiskQuota: 100000000
mailDomainMsgQuota: -1
mailClientAttachmentQuota: 5
mailDomainStatus: hold
```

ドメインタスク

ファミリアアカウントのプロビジョニング

ファミリアアカウントは、同じドメイン内の電子メールユーザのグループです。ファミリアアカウントは、ファミリグループ管理者の管理制御下であり、1人のユーザを請求先ユーザとして指定できます。このユーザは、このユーザグループの電子メールアカウントに対して請求された代金を支払う責任があるユーザです。ファミリグループ管理者は、グループにユーザを作成したり、グループからユーザを削除したり、別のユーザをファミリの管理者に昇進させたりする責任があるユーザです。メンバーは、ファミリグループ管理者の管理制御下にあるユーザで、その電子メールアカウントの代金は、請求先ユーザが支払います。ファミリアアカウントは、通常は家族アカウントですが、ローカルの管理責任や請求責任が必要な部門組織の場合もあります。この章には次の節があります。

- 57 ページの「ファミリアアカウントの作成」
- 60 ページの「ファミリグループ管理者の作成」

ファミリアアカウントの作成

ファミリアアカウントは、`imadmin` コマンドラインインタフェース (『iPlanet Messaging Server リファレンスマニュアル』を参照)、iPlanet Delegated Administrator for Messaging、または LDAP を使用して管理、作成ができます。この節では、LDAP によるプロビジョニング方法を説明します。

LDAP を使用してファミリアアカウントのユーザのプロビジョニングを行うには、2つの手順が必要です。

1. ファミリアアカウントエントリを作成します (コード例 3-1)。
2. `memberOfManagedGroup`: <ファミリグループ DN>” という属性をファミリーアカウント内の各ユーザのエントリに追加します (コード例 3-2)。

コード例 3-1 に、ファミリーアカウントエントリの例を示します。

コード例 3-1 ファミリアアカウントエントリ

```
dn: cn=gsWarriors, ou=groups, o=sesta.com, o=ISP
objectclass: inetManagedGroup
objectclass: nsManagedDept
mnggrpbillableuser: uid=attles, ou=People, o=sesta.com, o=ISP
mnggrpmailquota: 1024000
mnggrpcurrentusers: 0
mnggrpdeletionpolicy: delete
cn: gsWarriors
mnggrpstatus: active
mnggrpmaxusers: 1000
nsdamodifiableby: cn=Family Group
Administrators, cn=gsWarriors, ou=groups, o=sesta.com, o=ISP
```

- `dn: cn=gsWarriors, ou=groups, o=sesta.com, o=ISP`
ファミリーアカウントの識別名。
- `objectclass: inetManagedGroup`
`objectclass: nsManagedDept`
`inetManagedGroup` は、ファミリーアカウントを表します。`nsManagedDept` は、iPlanet Delegated Administrator for Messaging によって使用される情報を格納します。
- `mnggrpbillableuser: uid=attles, ou=People, o=sesta.com, o=ISP`
このユーザグループの請求に対して支払いを行うユーザの DN。
- `mnggrpmailquota: 1024000`
グループ内のすべてのユーザに許可される累積ディスク制限容量。
- `mnggrpcurrentusers: 0`
グループ内の現在のユーザ数。
- `cn: gswarriors`
ファミリーアカウントの共通名。
- `mnggrpstatus: active`

グループの現在の状態 — active、inactive、deleted のいずれか。inactive は、一時的に操作を停止します。deleted は、エントリに削除マークを付けますが、ユーザに削除マークは付けません。値がない場合は、状態が active であることを示します。不正な値は inactive として処理されます。

- mnggrpmaxusers: 1000

グループ内に許可されるユーザ数。

- nsdamodifiableby: cn=Domain Organization Administrators, cn=gsWarriors, ou=groups, o=sesta.com, o=ISP

このファミリグループを管理できるメンバーを持つグループを指定します。60 ページの「ファミリグループ管理者の作成」を参照してください。

ファミリーアカウントのエントリが作成されると、ユーザエントリ内の memberOfManagedGroup 属性がファミリーアカウント DN に設定され、メンバーが追加されます。次に例を示します。

コード例 3-2 ファミリグループのメンバーの LDIF レコード

```
dn: uid=Antwan,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
objectClass: person
objectClass: organizationalPerson
objectClass: inetOrgPerson
objectClass: inetUser
objectClass: ipUser
objectClass: inetMailUser
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: nsManagedPerson
objectClass: userPresenceProfile
cn: Antwan
sn: James
initials: AJ
givenName: Ant
mail: aj@sesta.com
mailAlternateAddress: ant@sesta.com
mailDeliveryOption: mailbox
mailHost: manatee.siroe.com
uid: Antwan
dataSource: iMS 5.0 @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
userPassword: {SHA}aluWfd0LYY9ImsJb3h4afrI4AXk=
mailAllowedServiceAccess: +imap, imaps, pop3, smtp, http:*
inetUserStatus: active
mailUserStatus: active
mailQuota: -1
mailMsgQuota: 100
memberOfManagedGroup: cn=gsWarriors, ou=groups, o=sesta.com, o=ISP
```

ファミリーグループ管理者の作成

Delegated Administrator タスクユーティリティ: `imadmin family-admin add`

タスクの特権: 上位レベル管理者、ドメイン管理者、またはファミリーグループ管理者

ファミリーグループ管理者は、ファミリーグループにユーザを作成したり、グループからユーザを削除したりすることに責任を持つユーザです。ファミリーグループが Delegated Administrator で作成されると、ファミリーグループ管理者と呼ばれる別のグループがファミリーグループエントリの DN の下に作成されます。たとえば、ファミリーグループが以下のような場合、

```
cn=gsWarriors,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
```

ファミリー管理者のグループも作成され、その DN は次のようになります。

```
cn=Family Group Administrators,cn=gsWarriors,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
```

このグループのメンバーは、ファミリーグループについて管理特権を持っています。次の例は、ファミリーグループ管理者のプロビジョニングを行う方法を示します。

1. Family Group Administrators というグループが、ファミリーグループエントリの DN の下に作成されていることを確認し、ファミリーグループ管理者の DN を追加します。Delegated Administrator でファミリーグループを作成すると、これは自動的に作成されます。

コード例 3-3 ファミリー管理者グループエントリ

```
dn: cn=Family Group Administrators,cn=gsWarriors,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
objectclass: groupOfUniqueNames
objectclass: nsManagedDept
cn: Organization Administrators
nsNumUsers: 1
nsMaxUsers: Unlimited
uniqueMember: uid=Dave,ou=people,ou=sesta.com,o=isp
```

2. memberof 属性を新しいファミリーグループ管理者のエントリ (Family Group Administrators) へ追加します。

コード例 3-4 ファミリグループ管理者用エントリ

```
dn: uid=Dave,ou=people,o=sesta.com,o=isp
objectClass: person
objectClass: organizationalPerson
objectClass: inetOrgPerson
objectClass: inetUser
objectClass: ipUser
objectClass: inetMailUser
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: nsManagedPerson
objectClass: userPresenceProfile
cn: Dave Cowins
sn: cowins
initials: DC
givenName: Dave
mail: Dave.Cowins@sesta.com
mailAlternateAddress: dcowins@florizel.com
mailDeliveryOption: mailbox
mailHost: manatee.siroe.com
uid: Dave
dataSource: iMS 5.0 @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
userPassword: {SHA}aluWfd0LYY9ImsJb3h4afrI4AXk=
mailAllowedServiceAccess: +imap, imaps, pop3, http:*
inetUserStatus: active
mailUserStatus: active
mailQuota: -1
mailMsgQuota: 100
memberOf: cn=Family Group Administrators,cn=gsWarriors,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
```

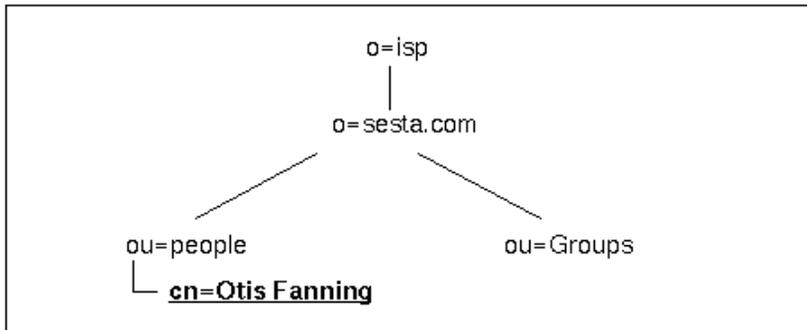
3. ACI はルート接尾辞の上位レベルに設定されます。付録 A 「ルートおよびドメイン ACI の例」を参照してください。

ユーザのプロビジョニング

ここでは、iPlanet Messaging Server のユーザエントリを作成する方法を説明します。インストールされると、ユーザエントリが組織ツリー内に作成されます。これを例で取り上げています。本書では、属性の概要のみ説明しています。属性の詳細な説明については、『*iPlanet Schema Reference Manual*』を参照してください。この章には次の節が含まれます。

- 64 ページの「ユーザエントリの作成」
- 68 ページの「メールユーザの管理」
 - 68 ページの「ユーザのアクティブ化 / 非アクティブ化」
 - 69 ページの「ユーザパスワードの変更」
 - 70 ページの「ユーザ不在メッセージの設定」
 - 72 ページの「使用可能なメールサービスの追加と削除」
 - 73 ページの「受信メール配信オプションの追加と変更」
 - 74 ページの「ユーザメッセージフィルタの設定」
 - 77 ページの「メールとメッセージの制限」
 - 78 ページの「メール転送」
 - 80 ページの「新しいメールエイリアス」
 - 81 ページの「ユーザのメールサーバの変更」
 - 82 ページの「メーリングリストの作成特権を追加する」

ユーザエントリの作成



sesta.com の電子メールユーザは、組織ツリー内の ou=people、o=sesta.com、o=isp にあります。各エントリにはそのユーザの属性情報が含まれます。次に LDIF の例を示します。

コード例 4-1 ユーザエントリの例

```

dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
objectClass: person
objectClass: organizationalPerson
objectClass: inetOrgPerson
objectClass: inetUser
objectClass: ipUser
objectClass: inetMailUser
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: nsManagedPerson
objectClass: userPresenceProfile
cn: Otis Fanning
sn: fanning
initials: OTF
givenName: Otis
pabURI: ldap://ldap.siroe.com:389/ou=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=isp,o=pab
mail: Otis.Fanning@sesta.com
mailAlternateAddress: ofanning@sesta.com
mailDeliveryOption: mailbox
mailHost: manatee.siroe.com
uid: fanning
dataSource: iMS 5.0 @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
userPassword: password
inetUserStatus: active
mailUserStatus: active
mailQuota: -1
mailMsgQuota: 100
  
```

ユーザエントリオブジェクトクラスと属性

- `dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP`

ユーザ Otis Fanning の識別名です。

- `objectClass: person`
`objectClass: organizationalPerson`
`objectClass: inetOrgPerson`
`objectClass: inetUser`
`objectClass: ipUser`
`objectClass: inetMailUser`
`objectClass: inetLocalMailRecipient`
`objectClass: nsManagedPerson`
`objectClass: userPresenceProfile`

これらは、ユーザエントリオブジェクトクラスです。`inetOrgPerson` は、コアオブジェクトクラスで、`organizationalPerson` および `person` から継承されます (これら 2 つのクラスは、プロビジョニングしている場合に、LDAP 追加文に含める必要がなくても明確にするために表示されます)。

`inetUser`、`inetMailUser`、`ipUser` は、メールユーザアカウントを作成するための属性を提供します。これらは、UID、ユーザパスワード、公開アドレス帳情報、メール配信情報などの属性を提供します。

`inetLocalMailRecipient` は、ローカルルーティング情報を提供します。

`userPresenceProfile` は、不在 (vacation) 属性をサポートします。

`nsManagedPerson` は、iPlanet Delegated Administrator for Messaging サポート属性を提供します。

inetOrgPerson

- `cn: Otis Fanning`

`cn (commonname)` は、ユーザのフルネームを表し、`person` オブジェクトクラスから継承されます。

- `sn: Fanning`

`sn (surname)` は、ユーザの苗字を表し、`person` オブジェクトクラスから継承されます。

- `initials: OTF`

`initials` には、個人名のイニシャルの一部またはすべてが含まれます。この例では、OTF は Otis Tiberus Fanning のイニシャルです。

- `givenName: Otis`

`givenName` は、ユーザの名 (姓名の名の部分) です。

- `mail: otis.fanning@sesta.com`

ユーザの公式な電子メールアドレス (RFC 822 形式)。

inetUser

- `uid: fanning`

`uid` は、ユーザのログイン識別子です。この属性は、ドメイン内で固有でなければなりません。

- `userPassword: secret`

`userPassword` は、メールの読み取りや送信をするために、自身のアカウントにアクセスするためのユーザのパスワードを表す文字列です。

- `inetUserStatus: active`

すべてのディレクトリ使用可能サーバに対するユーザのグローバルステータス。値は、`active`、`inactive`、`deleted` です。値がない場合は、状態が `active` であることを示します。不正な値は `inactive` として処理されます。

ipUser

このコアオブジェクトクラスは、メールやカレンダーなどのインターネットサービスをサポートします。個人アドレス帳およびサービス機能のクラス用の属性を提供します。

- `pabURI: ldap://ldap.siroe.com:389/ou=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=isp,o=pab`

このユーザの個人アドレス帳エントリのコンテナを指定する LDAP URI。通常、ユーザが個人アドレス帳エントリを作成するときにサーバによって設定されます。ただし、アドレス帳用に別の LDAP サーバを使用するようにサーバーに強制する場合は、この属性を使用して適切な値のプロビジョニングを行います。

inetMailUser

- `dataSource: iPlanet Messaging Server 5.0 @(#)ims50users.sh`

タグまたは識別子を格納するテキストフィールド。

- `mailDeliveryOption: mailbox`

メール配信オプションは、受信者用に使用されます。mailDeliveryOptionには複数の値を指定できます。使用可能な値は、mailbox、native|unix、autoreply、program、forward です。

- mailUserStatus: active

単一の値の属性。メールユーザの状態のいずれかを格納します (active、inactive、deleted、hold)。hold の場合は、ユーザ受信箱へのすべてのメールが保留キューに送信され、IMAP と POP によるメールボックスへのすべてのアクセスが拒否されます。値がない場合は、状態が active であることを示します。不正な値は inactive として処理されます。

- mailQuota: -1

ユーザのメールボックスに許容されるディスク容量。値が 0 (または指定されていない) の場合、システムのデフォルト制限容量 (iPlanet Console で指定) を意味します。-1 は、使用容量に制限がないことを意味します。

- mailMsgQuota: 100

ユーザに許可されるメッセージの最大数。この数は、ストア内のすべてのフォルダの累積カウントです。値が 0 (または指定されていない) の場合、システムのデフォルト制限容量 (iPlanet Console または iPlanet Delegated Administrator for Messaging で指定) を意味します。-1 は、メッセージ数に制限がないことを意味します。

inetLocalMailRecipient

- mailHost: manatee.siroe.com

このグループへのメッセージの最終 SMTP 宛先である、MTA の完全修飾ホスト名。

- mailAlternateAddress: ofanning@sesta.com

このユーザの代替 RFC822 電子メールアドレス。

userPresenceProfile

不在 (vacation) 属性をサポートします。詳細は、『*iPlanet Schema Reference Manual*』を参照してください。

nsManagedPerson

iPlanet Delegated Administrator for Messaging の属性をサポートします。

メールユーザの管理

この節では次の項目を説明しています。

- 68 ページの「ユーザのアクティブ化 / 非アクティブ化」
- 69 ページの「ユーザパスワードの変更」
- 70 ページの「ユーザ不在メッセージの設定」
- 72 ページの「使用可能なメール サービスの追加と削除」
- 73 ページの「受信メール配信オプションの追加と変更」
- 74 ページの「ユーザメッセージフィルタの設定」
- 77 ページの「メールとメッセージの制限」
- 78 ページの「メール転送」
- 80 ページの「新しいメールエイリアス」
- 81 ページの「ユーザのメールサーバの変更」
- 82 ページの「メーリングリストの作成特権を追加する」

ユーザのアクティブ化 / 非アクティブ化

iPlanet Messaging Server は、ユーザのアクティブ化 / 非アクティブ化に `inetUserStatus` と `mailUserStatus` の 2 つの異なる状態属性を提供します。`inetUserStatus` 属性は、すべてのサービス (メール、カレンダーなど) 用のグローバルユーザステータスを保持し、`mailUserStatus` に設定されている状態を無効にします。`mailUserStatus` は、メールサービスの状態のみを設定します。設定する値は、`active`、`inactive`、`deleted` のいずれかです。`inetUserStatus` を `delete` に設定すると、次のパージサイクル中にエントリに削除マークが付きます。

`mailUserStatus` はメールユーザ状態 (`active`、`inactive`、`deleted`、`hold` のいずれか) を各ユーザの状態として設定します。`mailUserStatus=hold` の場合は、そのユーザの受信箱にあるすべてのメールが保留キューに送信され、IMAP と POP によるメールボックスへのアクセスはすべて許可されないことを示します。`mailUserStatus` を `delete` に設定すると、エントリに削除マークが付られます。

次の LDIF 更新文は、ユーザによるサービスの使用を無効にします。

```
dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
changetype: modify
replace: inetUserStatus
inetUserStatus: inactive
```

次の LDIF 更新文は、そのユーザのメールサービスのみを無効にします。カレンダーなどの他のサービスを、そのユーザ用にプロビジョニングを行った場合はアクティブのままになります。

```
dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
changetype: modify
replace: mailUserStatus
mailUserStatus: inactive
```

次の更新文は、そのユーザへのメッセージを保留キューにリダイレクトします。これは、ユーザをあるメールサーバから別のサーバに移動するとき使用されます。ユーザへの受信メッセージは、保留キューにリダイレクトされます。ユーザに対するメール配信を再び開始するには、mailUserStatus の設定を active に戻す必要があります。

```
dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
changetype: modify
replace: mailUserStatus
mailUserStatus: hold
```

ユーザパスワードの変更

userPassword 属性を変更することによって、ユーザのパスワードを変更できます。これは、次の LDIF で変更できます。

```
dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
changetype: modify
replace: userPassword
userPassword: PAssWoRd
```

コード例 4-2 ユーザのパスワードを変更した後の LDIF レコード

```
dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
objectClass: person
objectClass: organizationalPerson
objectClass: inetOrgPerson
objectClass: inetUser
objectClass: ipUser
objectClass: inetMailUser
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: nsManagedPerson
objectClass: userPresenceProfile
cn: Otis Fanning
sn: fanning
initials: OTF
givenName: Otis
mail: Otis.Fanning@sesta.com
mailAlternateAddress: ofanning@sesta.com
mailDeliveryOption: mailbox
mailHost: manatee.siroe.com
uid: fanning
dataSource: iMS 5.0 @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
userPassword: PASSwOrd
inetUserStatus: active
mailUserStatus: active
mailQuota: -1
mailMsgQuota: 100
```

ユーザ不在メッセージの設定

不在メッセージは、オブジェクトクラス `userPresenceProfile` (属性: `vacationStartDate` および `vacationEndDate`) および `inetMailUser` (属性: `mailAutoreplyMode`、`mailAutoreplyTimeout`、`mailAutoreplySubject`、`mailAutoreplyText`、`mailAutoreplyTextInternal`、`mailDeliveryOption`) の属性を使用して設定します。

各属性の詳細については、『*iPlanet Schema Reference Manual*』を参照してください。

次の LDIF ファイルの例は、2001 年 2 月 15 日から始まり、2001 年 2 月 20 日に終わるユーザの不在メッセージを設定します。自動応答タイムアウトは 2 日で、不在メッセージの件名「*I am on vacation*」および本文 (同じドメイン向けの内部用と、その他のユーザ向けの外部用の両方)「*Please contact me later*」を設定します。

```

dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
changetype: modify
add: mailDeliveryOption
mailDeliveryOption: autoreply
-
replace: mailAutoreplyMode
mailAutoreplyMode: reply
-
replace: vacationStartDate
vacationStartDate: 20010215000000Z
-
replace: vacationEndDate
vacationEndDate: 20010220000000Z
-
replace: mailAutoreplyTimeout
mailAutoreplyTimeout: 48
-
replace: mailAutoreplySubject
mailAutoreplySubject: I am on vacation
-
replace: mailAutoreplyTextInternal
mailAutoreplyTextInternal: Please contact me later.
-
replace: mailAutoreplyText
mailAutoreplyText: Please contact me later.

```

日付は世界協定時刻 (UTC) で設定します。これは、以前グリニッジ標準時 (GMT) として知られていた国際標準時間です。異なるタイムゾーンの場合は、対応する UTC 時間に設定する必要があります。たとえば、2001 年 2 月 15 日深夜の太平洋標準時に設定する場合、8 時間引いてください。

コード例 4-3 ユーザの自動応答不在メッセージを設定して有効にした後の LDIF レコード

```

dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
objectClass: person
objectClass: organizationalPerson
objectClass: inetOrgPerson
objectClass: inetUser
objectClass: ipUser
objectClass: inetMailUser
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: nsManagedPerson
objectClass: userPresenceProfile
cn: Otis Fanning
sn: fanning

```

コード例 4-3 ユーザの自動応答不在メッセージを設定して有効にした後の LDIF レコード

```

initials: OTF
givenName: Otis
mail: Otis.Fanning@sesta.com
mailAlternateAddress: ofanning@sesta.com
mailDeliveryOption: mailbox
mailHost: manatee.siroe.com
uid: fanning
dataSource: iMS 5.0 @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
userPassword: password
inetUserStatus: active
mailUserStatus: active
mailQuota: -1
mailMsgQuota: 100
mailDeliveryOption: autoreply
mailAutoreplyMode: reply
vacationStartDate: 20010215000000Z
vacationEndDate: 20010220000000Z
mailAutoreplyTimeout: 48
mailAutoreplySubject: I am on vacation
mailAutoreplyTextInternal: Please contact me later.
mailAutoreplyText: Please contact me later.

```

使用可能なメールサービスの追加と削除

使用可能なメールサービスは、`mailAllowedServiceAccess` 属性で設定します。使用可能な値は `imap`、`imaps`、`pop3`、`http` です。形式は次のとおりです。

```
mailAllowedServiceAccess: +< 使用可能なサービス >:*
```

次の LDIF 変更コードは、Otis Fanning に対して、IMAP、secure IMAP、POP3、HTTP (Messenger Express) サポートを追加します。

```

dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
changetype: modify
replace: mailAllowedServiceAccess
mailAllowedServiceAccess: +imap, imaps, pop3, http:*

```

コード例 4-4 ユーザのメールサービスを変更した後の LDIF レコード

```

dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
objectClass: person
objectClass: organizationalPerson
objectClass: inetOrgPerson
objectClass: inetUser
objectClass: ipUser
objectClass: inetMailUser
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: nsManagedPerson
objectClass: userPresenceProfile
cn: Otis Fanning
sn: fanning
initials: OTF
givenName: Otis
mail: Otis.Fanning@sesta.com
mailAlternateAddress: ofanning@sesta.com
mailDeliveryOption: mailbox
mailHost: manatee.siroe.com
uid: fanning
dataSource: iMS 5.0 @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
userPassword: password
mailAllowedServiceAccess: +imap, imaps, pop3, http:*
inetUserStatus: active
mailUserStatus: active
mailQuota: -1
mailMsgQuota: 100

```

受信メール配信オプションの追加と変更

mailDeliveryOption 属性は、受信メッセージの送信先を制御します。送信先には、メッセージストア (mailbox)、/var/mail (native)、自動応答機能 (autoreply)、別のメールアドレス (forward)、承認されたメール処理プログラム (program) があります。この属性には、複数の値を指定できます。

mailDeliveryOption が program に設定されている場合は、mailProgramDeliveryInfo を設定する必要があります (プログラム配信の詳細については、『*iPlanet Message Server 管理者ガイド*』を参照してください)。

次の LDIF データは、メッセージをメッセージストアだけでなく、/var/mail にも送信します。

```
dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
changetype: modify
replace: mailDeliveryOption
mailDeliveryOption: native
```

コード例 4-5 ユーザのメール配信オプションを変更する LDIF レコード

```
dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
objectClass: person
objectClass: organizationalPerson
objectClass: inetOrgPerson
objectClass: inetUser
objectClass: ipUser
objectClass: inetMailUser
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: nsManagedPerson
objectClass: userPresenceProfile
cn: Otis Fanning
sn: fanning
initials: OTF
givenName: Otis
mail: Otis.Fanning@sesta.com
mailAlternateAddress: ofanning@sesta.com
mailDeliveryOption: native
mailDeliveryOption: mailbox
mailHost: manatee.siroe.com
uid: fanning
dataSource: iMS 5.0 @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
userPassword: password
inetUserStatus: active
mailUserStatus: active
mailQuota: -1
mailMsgQuota: 100
```

ユーザメッセージフィルタの設定

iPlanet Messaging Server は、指定した文字列を含んでいるものや、指定した長さを超えるメールメッセージをブロック、格納、またはリダイレクトできるメッセージフィルタを作成するための SIEVE メールフィルタリング言語をサポートしています。ユーザは、フィルタリング規則およびアクションを iPlanet Delegated Administrator for Messaging で指定できます。また、LDAP で mailSieveRuleSource 属性を使用して設定することもできます。ただし、LDAP で mailSieveRuleSource を追加することで作成したメッセージフィルタは、iPlanet Delegated Administrator for Messaging を使用して変更することはできません。

iPlanet Delegated Administrator for Messaging では、LDAP で作成したメッセージフィルタを表示および削除できますが、編集することはできません。iPlanet Messaging Server は、インターネット草案 "Sieve: A Mail Filtering Language", T. Showalter, draft 9 (<http://docs.iplanet.com/docs/sieve>) に指定されている SIEVE 規則をサポートしています。次に SIEVE を使用したメールフィルタリングの例を示します。

注 iPlanet Delegated Administrator for Messaging では、一般的なメールフィルタのテンプレートを提供しています。iPlanet Delegated Administrator for Messaging メールフィルタおよびテンプレートの作成または変更方法については、『*iPlanet Message Server 管理者ガイド*』を参照してください。

この例では、mailSieveRuleSource の値は1つのファイルに保存され、その値は ldapmodify コマンドで -b フラグを入力することにより符号化されます。

- 変更エントリファイル modfanning.ldif には次の内容が含まれます。

```
dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
changetype: modify
add: mailSieveRuleSource
mailSieveRuleSource: /export/example/maillsievesource.txt
```

- maillsievesource.txt には次の内容が含まれます。

```
require ["fileinto", "reject"];
if header :contains "Subject" "New Rules Suggestion"
  {redirect "rules@sesta.com" # Forward message }
elseif header :contains "Sender" "porn.com"
  {discard text:
  Your message has been rejected. Please remove this address from
  your mailing list. # Reject message, send reply message
  .
  ;}
elseif size :over 1M
  { reject text:
  Please do not send me large attachments.
  Put your file on a server and send me the URL.
  Thank you. # Discard message, send reply message
```

```
        i }  
    elsif header :contains "Sender" "barkley@sesta.com"  
    { fileinto "complaints.refs"; # file message }
```

- 変更コマンドは次のようになります。

```
ldapmodify -D "cn=Directory Manager" -w password -b -f  
modfanning.ldif
```

コード例 4-6 ユーザのメッセージフィルタを設定した後の LDIF レコード
(ldapsearch に -o フラグを指定して表示)

```
dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP  
objectClass: person  
objectClass: organizationalPerson  
objectClass: inetOrgPerson  
objectClass: inetUser  
objectClass: ipUser  
objectClass: inetMailUser  
objectClass: inetLocalMailRecipient  
objectClass: nsManagedPerson  
objectClass: userPresenceProfile  
cn: Otis Fanning  
sn: fanning  
initials: OTF  
givenName: Otis  
mail: Otis.Fanning@sesta.com  
mailAlternateAddress: ofanning@sesta.com  
mailDeliveryOption: mailbox  
mailHost: manatee.siroe.com  
uid: fanning  
dataSource: iMS 5.0 @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00  
userPassword: password  
inetUserStatus: active  
mailUserStatus: active
```

コード例 4-6 ユーザのメッセージフィルタを設定した後の LDIF レコード
(ldapsearch に -o フラグを指定して表示)

```

mailQuota: -1
mailMsgQuota: 100
mailSieveRuleSource:
require ["fileinto", "reject"];
if header :contains "Subject" "New Rules Suggestion"
  {redirect "rules@sesta.com" # Forward message }
elseif header :contains "Sender" "porn.com"
  {discard text:
Your message has been rejected. Please remove this address from
your mailing list. # メッセージを拒否し、応答メッセージを送信します
.
  ;}
elseif size :over 1M
  { reject text:
Please do not send me large attachments.
Put your file on a server and send me the URL.
Thank you. # メッセージを破棄し、応答メッセージを送信します
.
  ;}
elseif header :contains "Sender" "barkley@sesta.com"
  { fileinto "complaints.refs"; #file message}

```

メールとメッセージの制限

ユーザのメールボックスのディスク制限容量は、mailQuota 属性を指定することによって設定します。設定が 0 または何も指定されていない場合は、システムのデフォルト制限容量 (iPlanet Console または 変数 store.defaultmailboxquota で指定) を意味します。-1 は、使用容量に制限がないことを意味します。

ユーザに許可するメールストア内の最大メッセージ数は、mailMsgQuota で設定します。値が 0 (または指定されていない) の場合、システムのデフォルト制限値 (iPlanet Console または 変数 store.defaultmessagequota で指定) を意味し、-1 は、メッセージ数に制限がないことを意味します。

次の LDIF 変更コードでは、このユーザのメール制限容量を無制限にし、メッセージ制限値を 2000 に設定します。

```
dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
changetype: modify
replace: mailQuota
mailQuota: -1
-
replace: mailMsgQuota
mailMsgQuota: 2000
```

コード例 4-7 ユーザのメールボックスおよびメッセージ制限値を設定する LDIF レコード

```
dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
objectClass: person
objectClass: organizationalPerson
objectClass: inetOrgPerson
objectClass: inetUser
objectClass: ipUser
objectClass: inetMailUser
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: nsManagedPerson
objectClass: userPresenceProfile
cn: Otis Fanning
sn: fanning
initials: OTF
givenName: Otis
mail: Otis.Fanning@sesta.com
mailAlternateAddress: ofanning@sesta.com
mailDeliveryOption: mailbox
mailHost: manatee.siroe.com
uid: fanning
dataSource: iMS 5.0 @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
userPassword: password
inetUserStatus: active
mailUserStatus: active
mailQuota: -1
mailMsgQuota: 2000
```

メール転送

メールを転送するには、mailDeliveryOption を forward に設定し、mailForwardingAddress を希望の電子メールアドレスに設定します。mailForwardingAddress には複数の値を指定できます。次の例では、メールをユーザのメールボックスに送信し、さらにメールを fastjonny@varrius.com および John@florizel.net に転送します。mailDeliveryOption が mailbox に設定されるため、メッセージはそのユーザの受信箱にも配信されるこ

とに注意してください。

```
dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
changetype: modify
add: mailDeliveryOption
mailDeliveryOption: forward
-
replace: mailForwardingAddress
mailForwardingAddress: fastjonny@varrius.com
mailForwardingAddress: John@florizel.net
```

コード例 4-8 ユーザのメール転送アドレスを追加する LDIF レコード

```
dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
objectClass: person
objectClass: organizationalPerson
objectClass: inetOrgPerson
objectClass: inetUser
objectClass: ipUser
objectClass: inetMailUser
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: nsManagedPerson
objectClass: userPresenceProfile
cn: Otis Fanning
sn: fanning
initials: OTF
givenName: Otis
mail: Otis.Fanning@sesta.com
mailAlternateAddress: ofanning@sesta.com
mailDeliveryOption: mailbox
mailDeliveryOption: forward
mailForwardingAddress: fastjonny@varrius.com
mailForwardingAddress: john@florizel.com
mailHost: manatee.siroe.com
uid: fanning
dataSource: iMS 5.0 @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
userPassword: password
inetUserStatus: active
mailUserStatus: active
mailQuota: -1
mailMsgQuota: 100
```

新しいメールエイリアス

ユーザは、1つのメールアカウントに対して複数の代替電子メールアドレスを持つことができます。これを行うには、代替名を `mailAlternateAddress` に設定します。すべてを補足する (catch-all) メールアドレス (MTA が正確な一致アドレスを見つけない場合に、ドメイン内の1つのアドレスへのすべてのメッセージを受信するアドレス) は、属性を `@domain_name>.com` に設定することによって作成できます。

次の変更文は、Otis Fanning 用の代替アドレスを追加します。

```
dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
changetype: add
replace: mailAlternateAddress
mailAlternateAddress: ofanning@sesta.com
```

コード例 4-9 ユーザのメールエイリアスを追加する LDIF レコード

```
dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
objectClass: person
objectClass: organizationalPerson
objectClass: inetOrgPerson
objectClass: inetUser
objectClass: ipUser
objectClass: inetMailUser
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: nsManagedPerson
objectClass: userPresenceProfile
cn: Otis Fanning
sn: fanning
initials: OTF
givenName: Otis
mail: Otis.Fanning@sesta.com
mailAlternateAddress: ofanning@sesta.com
mailDeliveryOption: mailbox
mailHost: manatee.siroe.com
uid: fanning
dataSource: iMS 5.0 @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
userPassword: password
inetUserStatus: active
mailUserStatus: active
mailQuota: -1
mailMsgQuota: 100
```

ユーザのメールサーバの変更

新しいサーバを mailhost に指定することによって、ユーザのメールサーバ(この受信者へのメッセージの最終 SMTP 宛先である MTA の完全修飾ホスト名)を変更します。

```
dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
changetype: modify
replace: mailhost
mailhost: buffalo.siroe.com
```

コード例 4-10 ユーザのメールサーバを変更する LDIF レコード

```
dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
objectClass: person
objectClass: organizationalPerson
objectClass: inetOrgPerson
objectClass: inetUser
objectClass: ipUser
objectClass: inetMailUser
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: nsManagedPerson
objectClass: userPresenceProfile
cn: Otis Fanning
sn: fanning
initials: OTF
givenName: Otis
mail: Otis.Fanning@sesta.com
mailAlternateAddress: ofanning@sesta.com
mailDeliveryOption: mailbox
mailHost: buffalo.siroe.com
uid: fanning
dataSource: iMS 5.0 @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
userPassword: password
inetUserStatus: active
mailUserStatus: active
mailQuota: -1
mailMsgQuota: 100
```

メーリングリストの作成特権を追加する

属性値のペア `nsDAPCapability: mailListCreate` をユーザのエントリに追加して、メーリングリストの作成を許可します。

```
dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
changetype: modify
add: nsDAPCapability
nsDAPCapability: yes
```

コード例 4-11 メーリングリストの作成特権を追加する LDIF レコード

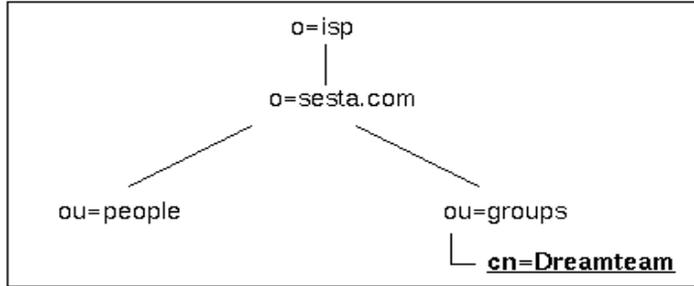
```
dn: uid=fanning,ou=people,o=sesta.com,o=ISP
objectClass: person
objectClass: organizationalPerson
objectClass: inetOrgPerson
objectClass: inetUser
objectClass: ipUser
objectClass: inetMailUser
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: nsManagedPerson
objectClass: userPresenceProfile
cn: Otis Fanning
sn: fanning
initials: OTF
givenName: Otis
mail: Otis.Fanning@sesta.com
mailAlternateAddress: ofanning@sesta.com
mailDeliveryOption: mailbox
mailHost: manatee.siroe.com
nsDAPCapability: mailListCreate
uid: fanning
dataSource: iMS 5.0 @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
userPassword: password
inetUserStatus: active
mailUserStatus: active
mailQuota: -1
mailMsgQuota: 100
```

メーリングリストのプロビジョニング

ここでは、iPlanet Messaging Server のメーリングリストエントリを作成する方法を説明します。インストールされると、メーリングリストエントリが組織ツリー内に作成されます。システムで SIMS の DC ツリーを使用している場合は、メーリングリストエントリは DC ツリー内にあります。本書では、属性の概要のみ説明しています。属性の詳細な説明については、『*iPlanet Schema Reference Manual*』を参照してください。

- 84 ページの「メーリングリストエントリの作成」
- 87 ページの「メーリングリストの管理」
 - 87 ページの「属性値の形式」
 - 88 ページの「メーリングリスト所有者の割り当て」
 - 89 ページの「メンバーの追加」
 - 90 ページの「メーリングリストの投稿制限の作成」
 - 94 ページの「メーリングリストモデレータ」
 - 95 ページの「メーリングリストの有効化 / 無効化 / 削除」
 - 96 ページの「メッセージをファイルに保存する」
 - 97 ページの「要求アドレス」
 - 98 ページの「メーリングリストメンバーの表示」
 - 99 ページの「メーリングリストへの参加」
 - 99 ページの「動的メーリングリストを作成する」

メーリングリストエントリの作成



メーリングリストエントリは、組織ツリーの `ou=group` コンテナ内に作成されます。メーリングリストの LDIF レコードの例を次に示します。

コード例 5-1 メーリングリストの LDIF レコード

```
dn: cn=Dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
cn: Dreamteam
objectClass: groupOfUniqueNames
objectClass: inetMailGroup
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: inetMailGroupManagement
objectClass: nsManagedMailList
uniqueMember: uid=baylor,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=bird,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=jordan,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=jabbar,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=magic,ou=People,o=sesta.com,o=isp
mgrpRFC822MailMember: west@florizel.com
mgrpRFC822MailMember: robertson@florizel.com
mail: dreamteam@sesta.com
mailAlternateAddress: thegreatest@sesta.com
mailHost: manatee.siroe.com
dataSource: @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
inetMailGroupStatus: active
nsNumUsers: 7
nsMaxUsers: 1000
```

メールリスト属性

- `dn: cn=Dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp`

メーリングリストの識別名です。

- `objectClass: groupOfUniqueNames`
`objectClass: inetMailGroup`
`objectClass: inetLocalMailRecipient`
`objectClass: inetMailGroupManagement`
`objectClass: nsManagedMailList`

`groupOfUniqueNames` は、すべてのメーリングリストエントリ用のコアオブジェクトクラスです。メールサービスオブジェクトクラス `inetMailGroup`、`inetLocalMailRecipient`、および **Delegated Administrator** サービスオブジェクトクラス `inetMailGroupManagement` でオーバーレイすると、エントリがメッセージサーバで使用されるメーリングリストになります。

`inetMailGroup` は、メーリングリストの属性を指定します。

`inetLocalMailRecipient` は、内部ルーティング属性を提供します。このオブジェクトクラスは、プライベートエンタープライズ内のみで、RFC 822 ベースの電子メールのルーティングで SMTP メッセージ転送エージェントをサポートするように意図されており、公衆回線上で電子メールをルーティングするプロセスには使用されません。

`inetMailGroupManagement` は、メーリングリストの管理用の属性を指定します。

`nsManagedMailList` は、メーリングリスト用の iPlanet Delegated Administrator for Messaging サポート属性を提供します。

groupOfUniqueNames

- `cn: Dreamteam`
`cn (commonname)` は、メーリングリストの名前です。
- `uniqueMember: uid=baylor,ou=People,o=sesta.com,o=isp`
`uniqueMember: uid=bird,ou=People,o=sesta.com,o=isp`
`uniqueMember: uid=jordan,ou=People,o=sesta.com,o=isp`
`uniqueMember: uid=jabbar,ou=People,o=sesta.com,o=isp`
`uniqueMember: uid=magic,ou=People,o=sesta.com,o=isp`

これらは、このディレクトリ内でユーザに変換できるメーリングリストのメンバーです。

inetMailGroup

- `inetMailGroupStatus: active`
メーリングリストの現在の状態 (`active`、`inactive`、`deleted`) を表します。値がない場合は、状態が `active` であることを示します。不正な値は `inactive` として処理されます。
- `dataSource: @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00`
タグまたは識別子を格納するテキスト フィールド。
- `mgrpRFC822MailMember: west@florizel.com`
`mgrpRFC822MailMember: robertson@florizel.com`
メーリングリストの外部メンバー。

inetLocalMailRecipient

- `mail: dreamteam@sesta.com`
メーリングリストの公式な電子メールアドレス (RFC 822 形式)。
- `mailAlternateAddress: thegreatest@sesta.com`
このメーリングリストの代替電子メールアドレス (RFC 822 形式)。
- `mailHost: manatee.siroe.com`
このメーリングリストへのメッセージの最終 SMTP 宛先である、MTA サーバの完全修飾ホスト名。

nsManagedMailList

- `nsNumUsers: 7`
現在のユーザエントリの数です。
- `nsMaxUsers: 1000`
最大ユーザエントリ。

属性値の形式

ユーザアドレスまたは URL として指定されたファイル名が必要な、`moderator` や `mailDeliveryURL` などのさまざまな属性があります。エントリの最初に `ldap:///` がある場合は、そのエントリは LDAP エントリとして扱われ、残りの値はエントリの識別名として扱われます。例：

```
moderator: ldap:///uid=cox,ou=people,o=sesta,o=isp
```

属性と値を示す行が 2 行に渡る場合は、2 行目の最初が空白文字である必要があります。

`mailto:` が最初にある場合は、`ofanning@sesta.com` エントリはメールアドレスとして解釈されます。

`file:///` が最初にある場合は、エントリはファイルとして解釈されます。

例：`mailDeliveryURL: file:///home/dogboy/dr_j/mail_archive.htm`

メーリングリストの管理

- 87 ページの「属性値の形式」
- 88 ページの「メーリングリスト所有者の割り当て」
- 89 ページの「メンバーの追加」
- 90 ページの「メーリングリストの投稿制限の作成」
- 94 ページの「メーリングリストモデレータ」
- 95 ページの「メーリングリストの有効化 / 無効化 / 削除」
- 96 ページの「メッセージをファイルに保存する」
- 97 ページの「要求アドレス」
- 98 ページの「メーリングリストメンバーの表示」
- 99 ページの「メーリングリストへの参加」
- 99 ページの「動的メーリングリストを作成する」

メーリングリスト所有者の割り当て

メーリングリスト所有者は、メンバーをリストへ追加またはリストから削除できます。メーリングリストの所有者を変更するには、DN を `owner` 属性に割り当てます。メーリングリストの所有者は、複数指定することができますが、所有者はメーリングリストと同じディレクトリ内に DN を持っている必要があります。変更文と LDIF レコードの例を次に示します。

```
dn: cn=Dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
changetype: modify
add: owner
owner: uid=baylor,ou=People,o=sesta.com,o=isp
```

コード例 5-2 所有者を持つメーリングリストの LDIF レコード

```
dn: cn=Dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
cn: Dreamteam
objectClass: groupOfUniqueNames
objectClass: inetMailGroup
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: inetMailGroupManagement
objectClass: nsManagedMailList
uniqueMember: uid=baylor,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=bird,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=jordan,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=jabbar,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=magic,ou=People,o=sesta.com,o=isp
mgrpRFC822MailMember: west@florizel.com
mgrpRFC822MailMember: robertson@florizel.com
mail: dreamteam@sesta.com
mailAlternateAddress: thegreatest@sesta.com
mailHost: manatee.siroe.com
dataSource: @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
inetMailGroupStatus: active
nsNumUsers: 7
nsMaxUsers: 1000
owner: uid=baylor,ou=People,o=sesta.com,o=isp
```

メンバーの追加

内部メンバー（解決可能 DN を持ったメンバー）を追加するには、そのメンバーの DN を `uniqueMember` 属性に割り当てます。外部メンバーを追加する場合は、電子メールアドレスを `mgrpRFC822MailMember` 属性に割り当てます。次の LDIF コードの例は、内部ユーザおよび外部ユーザを追加する方法を示しています。

```
dn: cn=Dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
changetype: modify
add: uniqueMember
uniqueMember: uid=russell,ou=People,o=sesta.com,o=isp
-

add: mgrpRFC822MailMember
mgrpRFC822MailMember: chamberlain@varrius.com
```

コード例 5-3 メンバーを追加したメーリングリストの LDIF レコード

```
dn: cn=Dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
cn: Dreamteam
objectClass: groupOfUniqueNames
objectClass: inetMailGroup
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: inetMailGroupManagement
objectClass: nsManagedMailList
uniqueMember: uid=baylor,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=bird,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=jordan,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=jabbar,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=magic,ou=People,o=sesta.com,o=isp
mgrpRFC822MailMember: west@florizel.com
mgrpRFC822MailMember: robertson@florizel.com
uniqueMember: uid=russell,ou=People,o=sesta.com,o=isp
mgrpRFC822MailMember: chamberlain@varrius.com
mail: dreamteam@sesta.com
mailAlternateAddress: thegreatest@sesta.com
mailHost: manatee.siroe.com
dataSource: @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
inetMailGroupStatus: active
nsNumUsers: 7
nsMaxUsers: 1000
owner: uid=baylor,ou=People,o=sesta.com,o=isp
```

メーリングリストの投稿制限の作成

メーリングリストへの着信メールは、ドメインまたはユーザによって制限できません。制限属性は次のとおりです。

- `mgrpAllowedBroadcaster` は、メーリングリストへのメッセージ送信を許可するアドレスを指定します。この属性が LDIF レコードに含まれていない場合は、リストは制限されず、誰でも送信できます。IMTA がメッセージをメンバーのリストにルーティングする前に、エンベロープの送信元 (**From:**) アドレスは、許可されているリスト内のアドレスの1つと一致している必要があります。
- `mgrpDisallowedBroadcaster` は、リストへのメッセージの投稿を許可されていないアドレスを指定します。送信者のアドレスは、この属性で指定したアドレスと比較されます。一致するアドレスがある場合は、メッセージが拒否されます。
- `mgrpAllowedDomain` は、ユーザがメーリングリストへメッセージを投稿するのを許可するドメイン名を指定します。ワイルドカード文字は「*」です。ワイルドカード文字を使用すると、任意のサブドメインを指定したトップまたはサブドメイン以下の DNS 階層全体を認証するように指定できます。
- `mgrpDisallowedDomain` は、ユーザがメーリングリストにメッセージを投稿できないドメイン名を定義します。

注

`mgrpAllowedBroadcaster`、`mgrpDisallowedBroadcaster` の DN 値には、接頭辞として `ldap:///` または `mailto:` が必要です。87 ページの「属性値の形式」を参照してください。

優先規則

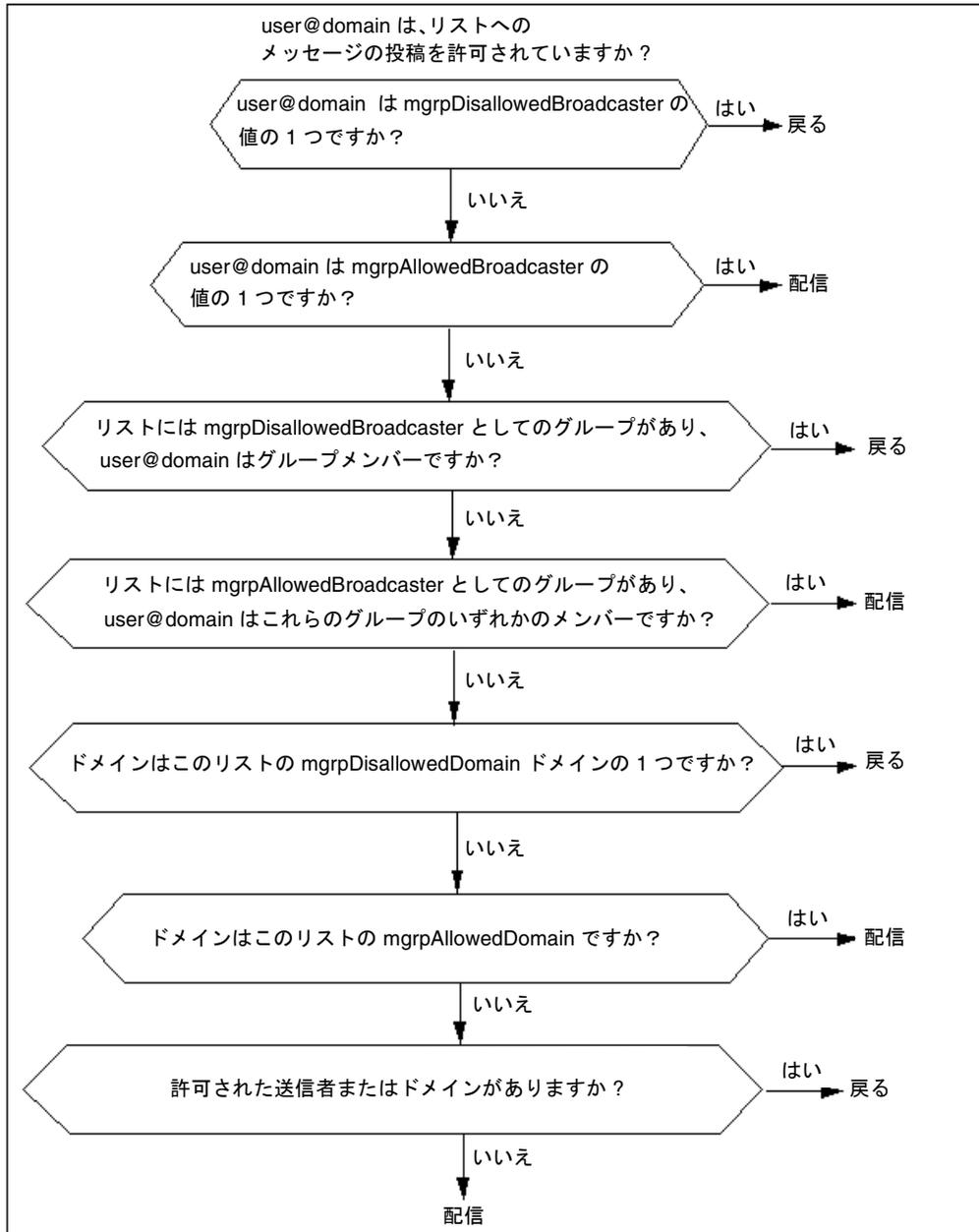
次の優先規則は、次の処理に対してメッセージを受信するかどうかを決定するとき MTA によって使用されます (エンベロープ「送信元: (**From:**)」アドレスは、一致を検索するときにすべての規則で使用されます)。

1. `mgrpDisallowedBroadcaster` が設定されている場合は、この値と送信者の `mail` 属性または `ldap:///<DN>` アドレスの形式でリストされている DN の `mailAlternateAddress` 属性が一致してはならず、または `mailto:<RFC-822>` アドレスの形式でリストされている RFC-822 アドレスと一致してはなりません。

2. `mgrpAllowedBroadcaster` 属性が LDAP エントリ内にある場合は、送信者のアドレスは `mail` 属性または `ldap:///<DN>` アドレスの形式でリストされている DN の `mailAlternateAddress` 属性のいずれかと一致する必要がある、または `mailto:<RFC-822>` アドレスの形式でリストされている RFC-822 アドレスと一致する必要があります。
3. `mgrpDisallowedDomain` が LDAP エントリ内にある場合は、送信者のドメインが `mgrpDisallowedDomain` 属性内にリストされているドメインと一致してはなりません。
4. `mgrpAllowedDomain` 属性が LDAP エントリ内にある場合は、送信者のドメインが `mgrpAllowedDomain` 属性内にリストされているドメインと一致する必要があります。

次の図に、アクセスコントロールプロセスを示します。

図 5-1 アクセスコントロールプロセス



次の LDIF コードを使用すると、ドメイン `sesta.com` のユーザはメーリングリストにメッセージを送信できますが、その他すべてのドメインのユーザはメッセージを送信できなくなります。また、`barry@sesta.com` からの内部メールは拒否されますが、`barkley@florizel.com` からのメールは許可されます。

```
dn: cn=Dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
changetype: modify
add: mgrpAllowedDomain
mgrpAllowedDomain: sesta.com
-
dn: cn=Dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
changetype: modify
add: mgrpAllowedBroadcaster
mgrpAllowedBroadcaster: mailto: barkley@florizel.com
-
dn: cn=Dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
changetype: modify
add: mgrpDisallowedBroadcaster
mgrpDisallowedBroadcaster:
    ldap:///cn=barry,ou=people,o=sesta.com,o=isp
```

コード例 5-4 配布制限付きのメーリングリストの LDIF レコード

```
dn: cn=Dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
cn: Dreamteam
objectClass: groupOfUniqueNames
objectClass: inetMailGroup
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: inetMailGroupManagement
objectClass: nsManagedMailList
uniqueMember: uid=baylor,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=bird,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=jordan,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=jabbar,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=magic,ou=People,o=sesta.com,o=isp
mgrpRFC822MailMember: west@florizel.com
mgrpRFC822MailMember: robertson@florizel.com
mail: dreamteam@sesta.com
mailAlternateAddress: thegreatest@sesta.com
mailHost: manatee.siroe.com
dataSource: @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
inetMailGroupStatus: active
nsNumUsers: 7
nsMaxUsers: 1000
mgrpAllowedDomain: sesta.com
mgrpAllowedBroadcaster: mailto: barkley@florizel.com
mgrpDisallowedBroadcaster: ldap:///cn=barry,ou=people,o=sesta.com,o=isp
```

メーリングリストモデレータ

メーリングリストモデレータは、メーリングリストへのメッセージを他のすべてのメンバーより前に受信し、必要に応じてほかのメンバーに転送するユーザです。メーリングリストに送信されたすべてのメッセージは、メーリングリストメンバーではなくモデレータに送信されます。moderator 属性に有効な DN または電子メールアドレスを設定します。複数のモデレータを指定することができます。

モデレータは、mgrpModerator に RFC 822 電子メールアドレスまたは URL 形式の DN を設定することによって作成します。

```
dn: cn=Dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
changetype: modify
add: mgrpModerator
mgrpModerator: ldap:///uid=baylor,ou=People,o=sesta.com,o=isp
```

コード例 5-5 モデレータが設定されているメーリングリストの LDIF レコード

```
dn: cn=Dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
cn: Dreamteam
objectClass: groupOfUniqueNames
objectClass: inetMailGroup
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: inetMailGroupManagement
objectClass: nsManagedMailList
uniqueMember: uid=baylor,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=bird,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=jordan,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=jabbar,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=magic,ou=People,o=sesta.com,o=isp
mgrpRFC822MailMember: west@florizel.com
mgrpRFC822MailMember: robertson@florizel.com
mail: dreamteam@sesta.com
mailAlternateAddress: thegreatest@sesta.com
mailHost: manatee.siroe.com
dataSource: @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
inetMailGroupStatus: active
nsNumUsers: 7
nsMaxUsers: 1000
mgrpModerator: ldap:///uid=baylor,ou=People,o=sesta.com,o=isp
```

メーリングリストの有効化 / 無効化 / 削除

メーリングリストは、inetMailGroupStatus を active、inactive、deleted に設定することによって、有効、一時的に無効、削除することができます。無効化されたメーリングリストは、inetMailGroupStatus を active に再設定することによって有効にできます。値がない場合は、状態が active であることを示します。不正な値は inactive として処理されます。

次の LDIF コードでは、メーリングリストを無効にします。

```
dn: cn=Dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
changetype: modify
add: inetMailGroupStatus
inetMailGroupStatus: inactive
```

コード例 5-6 メーリングリストが無効になっている LDIF レコード

```
dn: cn=Dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
cn: Dreamteam
objectClass: groupOfUniqueNames
objectClass: inetMailGroup
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: inetMailGroupManagement
objectClass: nsManagedMailList
uniqueMember: uid=baylor,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=bird,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=jordan,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=jabbar,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=magic,ou=People,o=sesta.com,o=isp
mgrpRFC822MailMember: west@florizel.com
mgrpRFC822MailMember: robertson@florizel.com
mail: dreamteam@sesta.com
mailAlternateAddress: thegreatest@sesta.com
mailHost: manatee.siroe.com
dataSource: @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
nsNumUsers: 7
nsMaxUsers: 1000
inetMailGroupStatus: inactive
```

メッセージをファイルに保存する

mailDeliveryFileURL を URL ファイルに設定することで、メーリングリストメッセージを保存します。次の例では、dreamteam@sesta.com へのメッセージを /home/dreamteam/mail_archive.log に保存します。

```
dn: cn=Dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
changetype: modify
add: mailDeliveryFileURL
mailDeliveryFileURL: file:///home/dreamteam/mail_archive.log
```

コード例 5-7 アーカイブ属性を持つメーリングリストの LDIF レコード

```
dn: cn=Dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
cn: Dreamteam
objectClass: groupOfUniqueNames
objectClass: inetMailGroup
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: inetMailGroupManagement
objectClass: nsManagedMailList
uniqueMember: uid=baylor,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=bird,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=jordan,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=jabbar,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=magic,ou=People,o=sesta.com,o=isp
mgrpRFC822MailMember: west@florizel.com
mgrpRFC822MailMember: robertson@florizel.com
mail: dreamteam@sesta.com
mailAlternateAddress: thegreatest@sesta.com
mailHost: manatee.siroe.com
dataSource: @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
inetMailGroupStatus: active
nsNumUsers: 7
nsMaxUsers: 1000
mailDeliveryFileURL: file:///home/dreamteam/mail_archive.log
```

要求アドレス

メーリングリストへの加入要求アドレスを `mgrpRequestsTo` 属性で指定します。加入要求の例は、`dreamteam-request@sesta.com` です。内部アドレスのみが許可されます。アドレスは URL 形式で指定します。

```
dn: cn=Dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
changetype: modify
add: mgrpRequestsTo
mgrpRequestsTo: uid=baylor,ou=People,o=sesta.com,o=isp
```

コード例 5-8 加入要求属性を持つメーリングリストの LDIF レコード

```
dn: cn=Dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
cn: Dreamteam
objectClass: groupOfUniqueNames
objectClass: inetMailGroup
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: inetMailGroupManagement
objectClass: nsManagedMailList
uniqueMember: uid=baylor,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=bird,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=jordan,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=jabbar,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=magic,ou=People,o=sesta.com,o=isp
mgrpRFC822MailMember: west@florizel.com
mgrpRFC822MailMember: robertson@florizel.com
mail: dreamteam@sesta.com
mailAlternateAddress: thegreatest@sesta.com
mailHost: manatee.siroe.com
dataSource: @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
inetMailGroupStatus: active
nsNumUsers: 7
nsMaxUsers: 1000
mgrpRequestsTo: uid=baylor,ou=People,o=sesta.com,o=isp
```

メーリングリストメンバーの表示

メーリングリストメンバーは、一般的に iPlanet Console、iPlanet Delegated Administrator for Messaging、または SMTP EXPN コマンドで参照できます。mgmanMemberVisibility を ANYONE (あらゆるユーザが表示可能)、ALL (ディレクトリ内のすべてのユーザが表示可能)、NONE (所有者のみ表示可能) に設定することによって表現対象を制限できます。

```
dn: cn=Dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
changetype: modify
add: mgmanMemberVisibility
mgmanMemberVisibility: ALL
```

コード例 5-9 表示属性を持つメーリングリストの LDIF レコード

```
dn: cn=Dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
cn: Dreamteam
objectClass: groupOfUniqueNames
objectClass: inetMailGroup
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: inetMailGroupManagement
objectClass: nsManagedMailList
uniqueMember: uid=baylor,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=bird,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=jordan,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=jabbar,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=magic,ou=People,o=sesta.com,o=isp
mgrpRFC822MailMember: west@florizel.com
mgrpRFC822MailMember: robertson@florizel.com
mail: dreamteam@sesta.com
mailAlternateAddress: thegreatest@sesta.com
mailHost: manatee.siroe.com
dataSource: @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
inetMailGroupStatus: active
nsNumUsers: 7
nsMaxUsers: 1000
mgmanMemberVisibility: ALL
```

メーリングリストへの参加

mgmanJoinability 属性を設定することにより、誰がメーリングリストに参加するかを指定できます。利用可能な値は、ANYONE (あらゆるユーザが参加可能)、ALL (ディレクトリ内のすべてのユーザが参加可能)、NONE (これ以上追加不可) があります。

```
dn: cn=dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
changetype: modify
add: mgmanJoinability
mgmanJoinability: ALL
```

コード例 5-10 参加可能メーリングリストの LDIF レコード

```
dn: cn=Dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
cn: Dreamteam
objectClass: groupOfUniqueNames
objectClass: inetMailGroup
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: inetMailGroupManagement
objectClass: nsManagedMailList
uniqueMember: uid=baylor,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=bird,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=jordan,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=jabbar,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=magic,ou=People,o=sesta.com,o=isp
mgrpRFC822MailMember: west@florizel.com
mgrpRFC822MailMember: robertson@florizel.com
mail: dreamteam@sesta.com
mailAlternateAddress: thegreatest@sesta.com
mailHost: manatee.siroe.com
dataSource: @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
inetMailGroupStatus: active
nsNumUsers: 7
nsMaxUsers: 1000
mgmanJoinability: All
```

動的メーリングリストを作成する

iPlanet Message Server は、静的メーリングリストと動的メーリングリストの両方をサポートします。リストのメンバーが uniquemember 属性と

mgrprfc822mailmember 属性によって指定される静的メーリングリストとは異なり、動的メーリングリストのメンバーは LDAP 検索フィルタ (RFC-2254) を使用して指定されます。LDAP フィルタは、inetMailGroup オブジェクトクラスの mgrpDeliverTo 属性で設定されます。

次の例に、静的メンバーと、LDAP 検索フィルタで決定されるメンバーからなるメーリングリストを示します。次に示すフィルタには o=sesta.com と o=isp のメンバーが含まれ、そのメンバーは属性値のペア city=tokyo も持っています。LDAP 検索フィルタに使用される属性が、必ず索引付けされるようにします。索引付けされないと、動的リストのメンバーシップの評価に時間がかかり、ディレクトリサーバに負荷がかかります。

コード例 5-11 動的メーリングリストの LDIF レコード

```
dn: cn=Dreamteam,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
cn: Dreamteam
objectClass: groupOfUniqueNames
objectClass: inetMailGroup
objectClass: inetLocalMailRecipient
objectClass: inetMailGroupManagement
objectClass: nsManagedMailList
uniqueMember: uid=baylor,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=bird,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=jordan,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=jabbar,ou=People,o=sesta.com,o=isp
uniqueMember: uid=magic,ou=People,o=sesta.com,o=isp
mgrpRFC822MailMember: west@florizel.com
mgrpRFC822MailMember: robertson@florizel.com
mail: dreamteam@sesta.com
mailAlternateAddress: thegreatest@sesta.com
mgrpdeliverto: ldap:///o=sesta.com,o=isp??sub?
(&(objectclass=inetMailUser)(city=tokyo)
mailHost: manatee.siroe.com
dataSource: @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
inetMailGroupStatus: active
nsNumUsers: 7
nsMaxUsers: 1000
mgmanJoinability: All
```

注 iPlanet Messaging Server は、オブジェクトクラス groupofurls の memberURL 属性に基づく動的リストをサポートします。Netscape Directory Server 4.x は、この属性を使用して動的グループの作成を可能にします。メッセージサーバは memberURL を使用してすでに定義されているグループを利用できます。

メッセージングサーバ管理者の プロビジョニング

この章では、異なるタイプの Messaging Server 管理者 (表 6-1) のプロビジョニングを行う方法を説明します。この章は、次の節で構成されています。

- 101 ページの「管理者タイプ」
- 104 ページの「構成管理者の作成」
- 104 ページの「メッセージストア管理者の作成」
 - 105 ページの「特定のメッセージングサーバのメッセージストア管理者を作成する」
 - 105 ページの「メールシステムトポロジ全体のメッセージストア管理者を作成する」
 - 107 ページの「特定のドメインのメッセージストア管理者を作成するには」
- 109 ページの「トップレベル管理者の作成」
- 111 ページの「ドメイン管理者の作成」
- 113 ページの「ドメイン組織管理者の作成」

管理者タイプ

iPlanet Message Server 管理者は、2 種類の特権セットにより分類されます。

- メッセージングサーバの構成特権 (サーバ管理者)
- システムのユーザおよびグループを追加、修正、削除する特権 (メッセージングディレクトリ管理者)

表 6-1 メッセージングサーバ管理者と特権 (1 / 2)

管理者	説明 / 特権の範囲	許可 / 作成
サーバ管理者		
構成管理者	<p>すべてのサーバを構成し、トポロジ全体のすべてのディレクトリデータを修正できます。MTA を修正するシステムレベルのアクセス権があります。</p> <p>Console のすべてのリソースへの無制限のアクセス。他の管理者にサーバアクセスを提供できます。</p>	<p>構成管理者ユーザ ID は、メッセージングサーバが最初に起動されたときに自動的に作成されます。詳細については、<i>Managing Servers with Netscape Console</i> を参照してください。</p> <p>ACI により付与される権限 : o=NetscapeRoot</p> <p>管理アカウント : uid=admin、ou=administrators、ou=topologymanagement、o=NetscapeRoot)</p> <p>グループ DN : cn=configuration administrators、ou=groups、ou=topologymanagement、o=NetscapeRoot</p>
ディレクトリマネージャ	<p>ディレクトリ内のすべてのものを修正できます。ディレクトリを構成できます。</p> <p>セキュリティについては、構成管理者は、ディレクトリマネージャと同じであってはなりません。</p>	<p>ディレクトリマネージャユーザ ID は、Directory Server がインストールされたときに作成されます。</p> <p>ディレクトリマネージャ証明書は、ディレクトリサーバ構成ファイル slapd.conf に保存されます。一般的なアカウント : cn = Directory Manager</p>
メッセージストア管理者	<p>システムレベルの管理者は、メールボックスを表示し、アクセスコントロールを指定できます。プロキシ権限を使用して、任意のユーザとしてログインできます。メールボックスのパーティションを指定し、メッセージストアユーティリティを実行できます。</p> <p>ドメインレベルの管理者は、パーティションを指定できません。メッセージストアユーティリティへのアクセスには制限があります。</p>	<p>この管理者は、Messaging Server Console またはコマンドラインユーティリティにより作成されます。</p> <p>システム規模のメッセージ管理グループ DN:store.serviceAdminGroupDN で指定されます。</p> <p>ドメインメッセージストア管理グループ DN: cn=Store Administrators、ou=Groups、 <組織ツリードメイン接尾辞></p> <p>サーバメッセージストア管理者は、サーバ構成変数 store.admin で指定されます。</p>

表 6-1 メッセージングサーバ管理者と特権 (2 / 2)

管理者	説明 / 特権の範囲	許可 / 作成
メッセージングディレクトリ管理者:		
トップレベル管理者 (サービス管理者とも言う)	<p>DA GUI または CLI を介して、メッセージングサーバネームスペース全体のメールユーザ、メーリングリスト、ファミリアカウント、ドメインを作成、修正、削除します。</p> <p>トポロジ内のすべてのサーバのすべてのメッセージストア特権を自動的に取得します。</p>	<p>トップレベルの管理者は、インストール時に自動的に作成されます。</p> <p>ルートノードに格納された ACI</p> <p>グループ DN:cn = Service Administrators、ou=groups、<組織ツリールート></p>
ドメイン管理者	<p>DA GUI または CLI を介して、ホストドメイン内のメールユーザ、メーリングリスト、ファミリアカウントを作成、修正、削除します。</p> <p>デフォルトでは、ホストドメインのメッセージストア管理者です。</p>	<p>トップレベルの管理者は、ドメイン管理者を作成できます。</p> <p>組織ツリールートおよび DC ルートの ACI、および組織ツリードメインノード</p> <p>グループ DN:cn = Domain Administrators、ou=groups、<組織ツリードメイン></p>
ドメイン組織管理者	<p>DA GUI または CLI を介して、ドメイン組織内のメールユーザおよびメーリングリストを作成、修正、削除します。</p>	<p>トップレベルの管理者またはドメイン管理者は、ドメイン組織管理者を作成できます。</p> <p>ルートおよびドメイン組織ノードの ACI</p> <p>グループ DN:cn = Organization Administrator、<ドメイン組織 DN></p>
ファミリグループ管理者	<p>ファミリグループにファミリメンバーを追加および削除します。グループの他のメンバーに管理アクセスを付与できます。60 ページの「ファミリグループ管理者の作成」を参照してください。</p>	<p>トップレベルおよびドメイン管理者は、ファミリグループ管理者を作成できます。</p> <p>LDAP に格納された許可</p> <p>グループ DN:cn=Family Group Administrators、<ファミリグループ DN></p>
メーリングリスト所有者	<p>2 つの権限セット：作成権限、およびメーリングリストへのメンバーの追加や削除を行う権限</p>	<p>トップレベル、ドメインまたはドメイン組織管理者は、メーリングリスト所有者に許可を付与できます。</p> <p>nsDACAcapability は作成許可を付与します (82 ページの「メーリングリストの作成特権を追加する」を参照)。owner は、管理特権を付与します (88 ページの「メーリングリスト所有者の割り当て」を参照)。</p>

注 Netscape Console についての詳細は、
<http://docs.iplanet.com/docs/manuals/console.html> を参照
してください。

構成管理者の作成

構成管理者は、インストール時に自動的に作成されます。別の構成管理者を追加する場合は、Netscape Console を介して他の構成管理者が作成します。Netscape Console の詳細については、
<http://docs.iplanet.com/docs/manuals/console.html> を参照してください。

メッセージストア管理者の作成

メッセージストア管理者には、さまざまな特権があり、特権には適用範囲があります。特権を以下に示します。

- IMAP を介してユーザメールボックスを表示および監視します。
- IMAP を介してメッセージストアのアクセスコントロールを指定します。
- プロキシ権限を必要とするメッセージストアコマンドラインユーティリティ (たとえば、MoveUser) を実行します。
- プロキシ権限を使用して、任意のユーザとしてログインできます。
- メールボックスのパーティションを指定します。

管理者特権の範囲を以下に示します。

- 単一ドメイン (ドメインレベル管理者の場合は、パーティションを指定できず、特定のメッセージストアコマンドへのアクセスが制限されます)
- 単一のメッセージストア (つまり、単一メッセージングサーバのメッセージストア)
- メールシステムトポロジのすべてのメッセージストア
- トップレベル管理者には、システム規模のメッセージストア特権が自動的に付与されます。
- インストール時に作成されたメッセージングサーバ管理者には、インストールサーバのメッセージストア特権が自動的に付与されます。

- インストール時または Console で作成されたトップレベル管理者には、トポロジ全体のメッセージストア特権が自動的に付与されます。
- iPlanet Delegated Administrator for Messaging で作成されたドメイン管理者には、インストールされたドメインのユーザに対するメッセージストア特権が自動的に付与されます。

特定のメッセージングサーバのメッセージストア管理者を作成する

必要な特権：構成管理者またはメッセージングサーバマシンの mailsrv アカウントへのアクセス

構成管理者には、インストールサーバのメッセージストア特権が自動的に付与されます。サーバ固有のメッセージストア管理者は、Console (『*iPlanet Message Server* 管理ガイド』を参照) または以下のコマンドラインにより作成できます。

```
configutil -o store.admin -v "adminlist"
```

ここで、configutil は構成オプションを変更できるようにするユーティリティです。store.admins はメッセージストア管理者パラメータ、adminlist は完全修飾 UID (デフォルトドメインの場合) または <uid>@<ドメイン> (ホストドメインの場合) の空白区切りリストです。詳細については、『*iPlanet Messaging Server* リファレンスマニュアル』を参照してください。

メールシステムトポロジ全体のメッセージストア管理者を作成する

必要な特権：トップレベル管理者またはメッセージングサーバマシンの mailsrv アカウントへのアクセス

「メールシステム トポロジ全体」とは、共通のユーザ/グループディレクトリルート下にあるすべてのメッセージングサーバのすべてのメッセージストアを意味します。デフォルトでは、トポロジ全体のメッセージストア管理特権は、グループ cn=Service Administrators、ou=groups、<組織ツリールート> のメンバーだけに付与されます。しかし、構成値 store.serviceAdminGroupDN をリ

セットし、これらのメッセージストア特権を別のグループに変更することができません。変更した場合、cn=Service Administrators、ou=groups、<組織ツリールート>のメンバーは、新規グループに追加されるまで、メッセージストア特権が無効になるので注意してください。

以下の例では、システム全体のメッセージストア管理者グループを cn=Service Administrators、ou=groups、o=isp から cn=System-wide Store Administrators、ou=groups、o=isp に変更し、管理者として Biff を追加します。

1. システム全体のストア管理者グループを作成し、メンバーを追加します。

最初に、*System-wide Store Administrators* というグループを作成し、uniqueMember 属性を使用してメンバーを追加します。

コード例 6-1 システム全体のメッセージストア管理者グループの作成

```
dn:cn=System-wide Store Administrators,ou=groups,o=isp
objectclass:groupOfUniqueNames
cn:System-wide Store Administrators
uniqueMember:uid=Biff,ou=people,o=sesta.com,o=isp
```

2. store.serviceAdminGroupDN を、システム全体のメッセージストア管理者グループの DN に設定します。

```
configutil -o store.serviceAdminGroupDN -v "cn=System-wide Store
Administrators,ou=groups,o=isp"
```

これは、システムの各サーバで行う必要があります。

3. ユーザエントリの memberof 属性を設定します。

コード例 6-2 システム全体のメッセージストア管理者のユーザエントリ例

```
dn:uid=Biff,ou=people,o=sesta.com,o=isp
objectClass:person
objectClass:organizationalPerson
objectClass:inetOrgPerson
objectClass:inetUser
objectClass:ipUser
objectClass:inetMailUser
objectClass:inetLocalMailRecipient
objectClass:nsManagedPerson
objectClass:userPresenceProfile
cn:Biff Fanning
sn:fanning
initials:BTf
givenName:Biff
mail:Biff.Fanning@sesta.com
mailAlternateAddress:bfanning@florizel.com
mailDeliveryOption:mailbox
mailHost:manatee.siroe.com
uid:biff
dataSource:ims 5.0 @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
userPassword:{SHA}aluWfd0LYY9ImsJb3h4afrI4AXk=
mailAllowedServiceAccess:+imap, imaps, pop3, smtp, http:*
inetUserStatus:active
mailUserStatus:active
mailQuota: -1
mailMsgQuota: 100
memberOf:cn=System-wide Store Administrators,ou=groups o=sesta.com,o=isp
```

特定のドメインのメッセージストア管理者を作成するには

必要な特権：ドメイン管理者、またはトップレベル管理者

ドメインメッセージストア管理者は、次のように作成します。

- iPlanet Delegated Administrator for Messaging GUI を使用して、ユーザを Delegated Administrator に変更する。
- LDAP を介してプロビジョニングを行う。

次の例では、LDAP を介して、ユーザ Biff に sesta.com のメッセージストア特権を付与します。

1. ストア管理者グループを作成し、メンバーを追加します。

組織ツリーのドメインノードに、*Store Administrators* というグループを作成します。inetMailAdministrator オブジェクトクラスを追加し、グループエントリに対して mailAdminRole 属性を storeadmin に設定します。uniqueMember 属性を使用して、メンバーを追加します。以下の LDIF データを参照してください。

ACI はインストール時に自動的に作成されます。また、このグループは、ドメインが Delegated Administrator または Console で作成されると、必ず作成されます。

コード例 6-3 ストア管理者グループの作成

```
dn:cn=Store Administrators,ou=Groups,o=sesta.com,o=isp
objectclass:groupOfUniqueNames
objectclass:inetMailAdministrator
cn:Store Administrators
mailAdminRole:storeadmin
uniqueMember:uid=Biff,ou=People,o=sesta.com,o=isp
```

- objectclass:groupOfUniqueNames
objectclass:inetMailAdministrator
groupOfUniqueNames オブジェクトクラスには、ディレクトリエントリ (つまり、ユーザおよび他のグループ) のコレクションを記述するための属性が含まれます。
inetMailAdministrator は、管理特権をこのグループに付与する属性を指定します。
 - cn:Store Administrators
メッセージストア管理者がメンバーである必要があるグループの共通名です。
 - mailAdminRole:storeadmin
このグループに付与された管理特権のタイプ
 - uniqueMember:uid=Biff,ou=People,o=sesta.com,o=isp
メンバーの DN。この例では、このグループのメンバーは 1 人だけです。
2. ユーザのエントリの memberOf 属性を、
cn=Store Administrators,ou=groups,o=sesta.com,o=isp に指定します。

コード例 6-4

ドメイン管理者のユーザエントリ例

```

dn:uid=Biff,ou=people,o=sesta.com,o=isp
objectClass:person
objectClass:organizationalPerson
objectClass:inetOrgPerson
objectClass:inetUser
objectClass:ipUser
objectClass:inetMailUser
objectClass:inetLocalMailRecipient
objectClass:nsManagedPerson
objectClass:userPresenceProfile
cn:Biff Fanning
sn:fanning
initials:BTf
givenName:Biff
mail:Biff.Fanning@sesta.com
mailAlternateAddress:bfanning@florizel.com
mailDeliveryOption:mailbox
mailHost:manatee.siroe.com
uid:biff
dataSource:ims 5.0 @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
userPassword:{SHA}aluWfd0LYY9ImsJb3h4afrI4AXk=
mailAllowedServiceAccess:+imap, imaps, pop3, smtp, http:*
inetUserStatus:active
mailUserStatus:active
mailQuota: -1
mailMsgQuota: 100
memberOf:cn=Store Administrators,ou=groups o=sesta.com,o=isp

```

- dn:uid=Biff,ou=People,o=sesta.com,o=isp
このグループのメッセージストア管理者に指名されたユーザの DN。
- memberOf:cn=Store Administrators,ou=Groups,o=sesta.com,o=isp
Biff が属するグループの DN。

トップレベル管理者の作成

タスク特権：トップレベル管理者

トップレベル管理者には、メッセージシステム全体のディレクトリおよびメッセージストア特権があります。デフォルトのトップレベル位管理者は、インストール時に作成されますが、別のトップレベル管理者は、ユーザを以下のグループに追加することで作成できます。

```
cn=Service Administrators,ou=Groups,o=<組織ツリールート>
```

そして、ユーザのエントリの `memberOf` 属性を次のように指定します。

```
cn=Service Administrators,o=groups,o=<組織ツリールート>
```

以下の例では、`Biff Fanning` をトップレベル管理者にします。インストーラにより、このエントリの適切な ACI が作成されます。ディレクトリを最初から作成する場合は、付録 A 「ルートおよびドメイン ACI の例」を参照してください。

コード例 6-5 トップレベル管理者グループ

```
dn:cn=Service Administrators,ou=Groups,o=isp
objectclass:groupOfUniqueNames
objectclass:nsManagedDept
cn:Service Administrators
nsNumUsers: 1
nsMaxUsers:Unlimited
uniqueMember:uid=Biff,ou=People,o=sesta.com,o=isp
```

コード例 6-6 トップレベル管理者のユーザエントリ例

```
dn:uid=Biff,ou=people,o=sesta.com,o=isp
objectClass:person
objectClass:organizationalPerson
objectClass:inetOrgPerson
objectClass:inetUser
objectClass:ipUser
objectClass:inetMailUser
objectClass:inetLocalMailRecipient
objectClass:nsManagedPerson
objectClass:userPresenceProfile
cn:Biff Fanning
sn:fanning
initials:BTf
givenName:Biff
mail:Biff.Fanning@sesta.com
mailAlternateAddress:bfanning@florizel.com
mailDeliveryOption:mailbox
mailHost:manatee.siroe.com
uid:biff
dataSource:ims 5.0 @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
userPassword:{SHA}aluWfd0LYY9ImsJb3h4afrI4AXk=
mailAllowedServiceAccess:+imap, imaps, pop3, http:*
inetUserStatus:active
mailUserStatus:active
```

コード例 6-6 トップレベル管理者のユーザエントリ例

```
mailQuota: -1
mailMsgQuota: 100
memberOf:cn=Service Administrators,ou=groups,o=isp
```

ドメイン管理者の作成

Delegated Administrator ユーティリティ: imadmin admin add

プロビジョニングのタスク特権: トップレベル管理者

ドメイン管理者とは、Delegated Administrator またはコマンドラインユーティリティを使用して、特定のドメインに対してユーザおよびグループを追加、削除、修正する特権があるユーザのことです。ホストドメイン管理者を作成できるのは、トップレベルの管理者だけです。

ドメイン管理者のグループの作成および ACI 規則の設定は、一度だけ行う必要があります。新規管理者を作成するには、単に、グループに管理者を追加します。次の LDIF の例では、ドメイン管理者グループを作成し、このグループのメンバーとして Biff を追加します。

1. ドメイン管理者グループを作成し、このグループにユーザを追加します。

組織ツリーのホストドメインノードに *Domain Administrators* というグループを作成し、ドメイン管理者に任命するユーザの DN をこのグループに追加します。また、オブジェクトクラス inetMailAdministrator および属性値ペア mailadminrole: storeadmin を追加します。(ACI の設定されたこのグループは、Delegated Administrator でドメインを作成すると、自動的に作成されます。) ドメイン管理者のグループの uniqueMember 属性を、新規ドメイン管理者の DN に指定します。これを以下に示します。

コード例 6-7 ドメイン管理者グループの作成

```
dn:cn=Domain Administrators,ou=groups,o=sesta.com,o=isp
objectclass:groupOfUniqueNames
objectclass:nsManagedDept
objectclass:inetMailAdministrator
mailadminrole:storeadmin
cn:Domain Administrators
uniqueMember:uid=Biff,ou=People,o=sesta.com,o=isp
```

- `objectclass:groupOfUniqueNames`
`objectClass:nsManagedDept`
`objectClass:inetMailAdministrator`

groupOfUniqueNames オブジェクトクラスには、ディレクトリエントリ (つまり、ユーザおよび他のグループ) のコレクションを記述するための属性が含まれます。
 - `cn:Domain Administrators`

ドメイン管理者がメンバーである必要があるグループの共通名です。
 - `mailadminrole:storeadmin`

メッセージストア管理者特権をこのグループのメンバーに付与します。
 - `uniqueMember:uid=Biff,ou=People,o=sesta.com,o=isp`

uniqueMember は、このリストのメンバーの識別名を指定します。この例では、このグループのメンバーは 1 人だけです。
2. ドメイン管理者 ACI 規則を検証します。
- ドメイン管理者 ACI 規則は、Delegated Administrator またはコマンドラインユーティリティ `imadmin domain create` を使用し、ホストドメインを作成したときに、自動的に作成されます。LDAP を使用してホストドメインを作成した場合は、ACI 規則を追加する必要があります。この例を付録 A 「ルートおよびドメイン ACI の例」に示します。
3. `memberOf` をユーザエントリに追加します。
- ユーザのエントリで、`memberOf` 属性を `cn=Domain Administrators,o=groups,o=sesta.com,o=isp` に指定します。

コード例 6-8 ドメイン管理者のユーザエントリ例

```
dn:uid=Biff,ou=people,o=sesta.com,o=isp
objectClass:person
objectClass:organizationalPerson
objectClass:inetOrgPerson
objectClass:inetUser
objectClass:ipUser
objectClass:inetMailUser
objectClass:inetLocalMailRecipient
objectClass:nsManagedPerson
objectClass:userPresenceProfile
cn:Biff Fanning
sn:fanning
initials:BTf
givenName:Biff
mail:Biff.Fanning@sesta.com
mailAlternateAddress:bfanning@florizel.com
```

コード例 6-8 ドメイン管理者のユーザエントリ例

```
mailDeliveryOption:mailbox
mailHost:manatee.siroe.com
uid:fanning
dataSource:ims 5.0 @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
userPassword:password
mailAllowedServiceAccess:+imap, imaps, pop3, http:*
inetUserStatus:active
mailUserStatus:active
mailQuota: -1
mailMsgQuota: 100
memberOf:cn=Domain Administrators,o=groups,o=sesta.com,o=isp
```

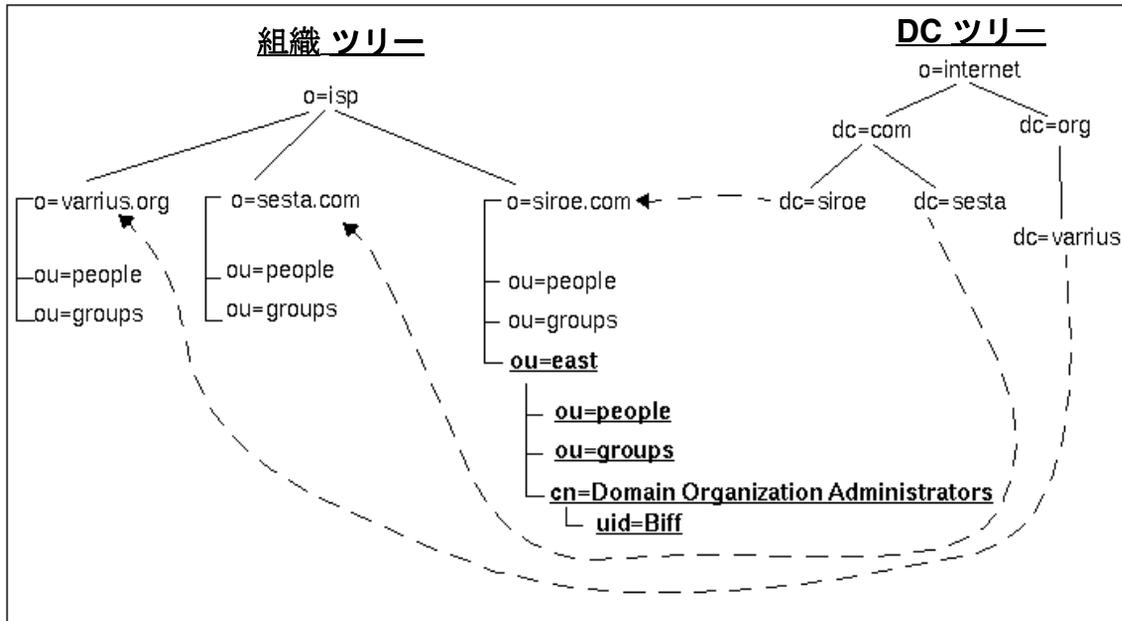
- dn:uid=Biff,ou=People,o=sesta.com,o=isp
このドメインのドメイン管理者に指名されたユーザの DN。
- memberOf:cn=Domain Administrators,o=sesta.com,o=isp
このユーザが属するグループの DN。

ドメイン組織管理者の作成

ドメイン組織管理者とは、Delegated Administrator またはコマンドラインユーティリティを使用して、特定の組織に対してユーザおよびグループを追加、削除、修正する特権がある、組織のユーザのことです。複数のドメイン組織管理者を、ホストドメインに含めることができ、ドメイン組織管理者は入れ子にすることができます。組織管理者を作成できるのは、トップレベルの管理者だけです。

組織管理者のグループの作成および ACI 規則の設定は、一度だけ行う必要があります。新規管理者を作成するには、単に、グループに管理者を追加します。次の例に、ou=east,o=siroe.com,o=isp で、組織管理者 Biff を作成する方法を示します。

図 6-1 ドメイン組織管理者の作成



ドメイン組織の作成方法については、46 ページの「ドメイン組織の作成」を参照してください。

1. 組織ツリーのドメイン組織ノードに、*Domain Organization Administrators* というグループを作成し、このグループのドメイン組織管理者の DN を追加します。

コード例 6-9 組織管理者グループの作成

```
dn:cn=Domain Organization Administrators,ou=east,o=siroe.com,o=isp
objectclass:nsManagedDept
objectclass:inetAdmin
objectclass:groupOfUniqueNames
cn:Domain Organization Administrators
uniqueMember:uid=Biff,ou=people,ou=east,o=siroe.com,o=isp
```

- o dn:cn=Organization Administrators,ou=groups,ou=east,o=siroe.com,o=isp
組織管理者のグループの名前。

- objectclass:nsManagedDept
objectclass:inetAdmin
objectclass:groupOfUniqueNames

nsManagedDept 属性は、Delegated Administrator をサポートします。
inetAdmin は、管理をサポートする属性を提供します。
groupOfUniqueNames オブジェクトクラスには、ディレクトリエントリ (つまり、ユーザおよび他のグループ) のコレクションを記述するための属性が含まれます。
- cn:Organization Administrators

組織管理者がメンバーである必要があるグループの共通名です。
- uniqueMember:uid=Biff,ou=People,o=east.siroe.com,o=isp

uniqueMember は、このリストのメンバーの識別名を指定します。この例では、このグループのメンバーは 1 人だけです。

2. ドメイン組織管理者 ACI 規則を追加します。

適切な ACI 規則をドメイン組織に追加および修正する必要があります。この例では、ou=east,o=siroe.com,o=isp です。この例を付録 A 「ルートおよびドメイン ACI の例」に示します。

3. ドメイン組織管理者のエントリの memberOf 属性を指定します。

memberOf 属性を、uid=Biff,ou=people,o=sesta.com,o=isp の cn=Domain Organization Administrators,o=east.siroe.com,o=isp に指定します。

コード例 6-10 ドメイン管理者のユーザエントリ例

```
dn:uid=Biff,ou=people,o=sesta.com,o=isp
objectClass:person
objectClass:organizationalPerson
objectClass:inetOrgPerson
objectClass:inetUser
objectClass:ipUser
objectClass:inetMailUser
objectClass:inetLocalMailRecipient
objectClass:nsManagedPerson
objectClass:userPresenceProfile
cn:Otis Fanning
sn:fanning
initials:BTf
givenName:Biff
mail:Biff.Fanning@sesta.com
mailAlternateAddress:bfanning@florizel.com
mailDeliveryOption:mailbox
mailHost:manatee.siroe.com
uid:fanning
dataSource:ims 5.0 @(#)ims50users.sh 1.5a 02/3/00
```

コード例 6-10

ドメイン管理者のユーザエントリ例

```
userPassword:{SHA}aluWfd0LYY9ImsJb3h4afrI4AXk=  
mailAllowedServiceAccess:+imap, imaps, pop3, http:*  
inetUserStatus:active  
mailUserStatus:active  
mailQuota: -1  
mailMsgQuota: 100  
memberOf:cn=Domain Organization Administrators,ou=east,o=siroe.com,o=isp
```

- dn:uid=Biff,ou=People,o=eng.siroe.com,o=isp
このグループのドメイン組織管理者に指名されたユーザの DN。
- memberOf:cn=Organization Administrators,ou=groups,ou=east,o=siroe.com,o=isp
このユーザが属するグループの DN。

ルートおよびドメイン ACI の例

この付録に示す ACI のリストは、ドメインまたはルートノードがディレクトリ情報ツリーで作成されたときにインストールされるデフォルトの ACI です。これらの ACI は、システムの要件に応じて修正できます。また、ルートおよびドメインエントリで LDAP 検索を行うことで、これらの ACI をオンラインで表示できます。ドメイン組織 ACI は、ドメイン組織が作成されたときに、LDAP を使用して追加する必要があるので注意してください。この付録は、次の節で構成されています。

- 118 ページの「組織ツリールートノード ACI」
- 121 ページの「DC ツリールートノード ACI」
- 125 ページの「ホストドメイン ACI」
- 127 ページの「ドメイン組織 ACI」

注 ドメイン、ユーザ、グループエントリ用に DC ツリーを使用している場合 (つまり、組織ツリーがない場合)、この付録で説明されている組織ツリーの ACI はすべて必要ありません。このような場合、DC ツリーの ACI で表示されている <OrgRoot> を、<DCRoot> の値に変更します。

ACI の様々な定義例

<OrgRoot> - 組織ツリーのルート。デフォルトのインストールでユーザおよびグループエントリが作成される場所です。

<DCRoot> - ドメイン構成要素ツリーのルート。ドメインエントリが作成される場所です。

<OrgNodeDN> - 組織ツリーのドメインノード。ドメインのユーザおよびグループエントリがある場所です。

<DCNodeDN> - DC ツリーのドメインノード。ドメインのユーザおよびグループエントリがある場所です。

<DomainOrgNodeDN> - ドメイン構成要素ツリーのルート。ドメインエントリが作成される場所です。

組織ツリー ルートノード ACI

以下の ACI は、トップレベル管理者、ドメイン管理者、ドメイン組織管理者、ファミリーグループ管理者、メーリングリスト所有者、エンドユーザへの必須アクセス権を付与します。必要に応じて、ツリー構造上さらに下位のドメインノードおよびドメイン組織ノードで別の ACI が設定されます。最初からネームスペースを設定する場合（つまり、ネームスペースの作成に iPlanet Message Server インストーラを使用していない場合）、組織ツリー ルートノードで ACI を設定する必要があります。

コード例 A-1 組織ツリー ルートノード ACI

```
dn:<OrgRoot>
changetype:modify
add:aci
#
#-----
# iDA User access control
#
# Allow read and search access to all attributes in all entries
#
aci:(targetattr="*") (version 3.0; acl "NDAUser access -
product=ims5.0,class=nda,num=1,version=1"; allow (read,search)
userdn="ldap:///uid=NDAUser,ou=config,<OrgRoot>");)
#
# Allow write access to nsNum* attributes of all domain entries
#
aci:(targetattr="nsNumUsers|nsNumDepts|nsNumMailLists|nsNumDomains")
(version 3.0; acl "NDAUser access - product=ims5.0, class=nda,num=2,
version=1"; allow (write) userdn="ldap:///uid=NDAUser,ou=config,
<OrgRoot>");)
```

コード例 A-1 組織ツリー ルートノード ACI

```

#
#-----
# Service Administrator access control
#
# Allow read and search access to all DCROOT nodes
#
aci:(targetattr="*") (version 3.0; acl "SA root node access -
  product=ims5.0,class=nda,num=3,version=1"; allow (all)
  groupdn="ldap:///cn=Service Administrators,ou=Groups,<OrgRoot>");
#
#-----
# Domain Administrator control.
#
# Deny write and delete access to any domain container node.
#
aci:(targetfilter="objectclass=nsManagedDomain") (version 3.0; acl
  "Domain Admin domain container access -
  product=ims5.0,class=nda,num=5,version=1"; deny (delete,write)
  userdn="ldap:///<DCRoot>??sub?(memberOf=cn=Domain Administrators*)" or
  userdn="ldap:///<OrgRoot>??sub?(memberOf=cn=Domain Administrators*");)
#
#-----
# User access control
#
# Allow read and search access to self
#
aci:(targetattr="*") (targetfilter=(objectClass=inetOrgPerson)) (version
  3.0; acl "User self search and read - product=ims5.0,class=nda,num=6,
  version=1"; allow (read,search) userdn="ldap:///self");)
#
# Allow write access to self
#
aci:(targetattr="*") (version 3.0; acl "Allow self entry modification -
  product=ims5.0,class=nda,num=7,version=1";
  allow (write) userdn = "ldap:///self");)
#
# Deny write access to self for uid, ou, owner,
# nsDAModifiableBy, nsDACapability, mail, mailAlternateAddress,
# memberOf, and nsDADomain attributes
#
aci:(targetattr="uid|ou|owner|nsDAModifiableBy|nsDACapability|
  mail|mailAlternateAddress|memberOf|nsDADomain|inetuserstatus|
  mailuserstatus|memberOfManagedGroup|mailQuota|mailMsgQuota|
  inetSubscriberAccountId|dataSource|mailhost|mailAllowedServiceAccess
  |pabURI|inetCOS") (targetfilter=(objectClass=nsManagedPerson))
  (version 3.0; acl "User self modification - product=ims5.0,class=nda,
  num=8,version=1"; deny (write) userdn = "ldap:///self" and
  userdn != "ldap:///<OrgRoot>??sub?(memberOf=cn=Domain Administrators*)"
  and userdn !=
  "ldap:///<DCRoot>??sub?(memberOf=cn=Domain Administrators*)"
  and groupdn != "ldap:///cn=Service Administrators,ou=groups,<OrgRoot>");)
#
# Deny delete access to self
#
aci:(targetfilter=(objectClass=inetOrgPerson)) (version 3.0; acl

```

コード例 A-1 組織ツリー ルートノード ACI

```

"User self deletion - product=ims5.0,class=nda,num=9,version=1";
deny (delete) userdn="ldap:///self";
#
#-----
# Mail List access control
#
# Allow designated users to create mail lists
#
aci:(targetattr="*") (targetfilter=(objectClass=inetMailGroupManagement))
(version 3.0; acl "Mail list create access - product=ims5.0,class=nda,
num=10,version=1"; allow (add)
userdn="ldap:///<OrgRoot>??sub?(nsDACAcapability=mailListCreate)");
#
# Allow maillist owner read, search, write, and delete access
# to the maillists s/he owns except for the nsMaxUsers attr
#
aci:(targetattr="*") (targetfilter=(objectClass=inetMailGroupManagement))
version 3.0; acl "Mail list owner access - product=ims5.0,class=nda,num=11,
version=1"; allow (read,search,write,delete)
groupdnattr="ldap:///<OrgRoot>?owner";)
#
#-----
# Family Group Administrator access control
#
# family group read access
#
aci:(targetattr="*") (targetfilter=(objectClass=inetManagedGroup))
(version 3.0; acl "Family Group Adm group read & search access -
product=ims5.0,class=nda,num=1,version=1"; allow (read,search)
userdn="ldap:///<OrgRoot>??sub?(memberOf=cn=Family Group
Administrators*)" and groupdnattr="ldap:///<OrgRoot>?nsDAModifiableBy";)
#
# family group write access for 'description' attribute
#
aci:(targetattr="description")
(targetfilter=(objectClass=inetManagedGroup))
(version 3.0; acl "Family Group Adm description write access -
product=ims5.0,class=nda,num=13,version=1"; allow (write)
userdn="ldap:///<OrgRoot>??sub?(memberOf=cn=Family Group
Administrators*)" and groupdnattr="ldap:///<OrgRoot>?nsDAModifiableBy";)
#
# family group write access for 'mnggrpCurrentUsers' attribute
#
aci:(targetattr="mnggrpCurrentUsers")
(targetfilter=(objectClass=inetManagedGroup)) (version 3.0; acl "Family
Group Adm description write access - product=ims5.0,class=nda,num=14,
version=1"; allow (write)
userdn="ldap:///<OrgRoot>??sub?(memberOf=cn=Family Group
Administrators*)" and groupdnattr="ldap:///<OrgRoot>?nsDAModifiableBy";)
#
# family member create,delete,modify permissions
#
aci:(targetattr="*") (targetfilter=(objectClass=nsManagedPerson))
(version 3.0;acl "Family Group Adm member access - product=ims5.0,

```

コード例 A-1 組織ツリー ルートノード ACI

```

class=nda, num=15, version=1"; allow (add, read, search, write, delete)
userdn="ldap:///<OrgRoot>??sub?(memberOf=cn=Family Group
Administrators*)" and groupdnattr="ldap:///<OrgRoot>?nsDAModifiableBy";)
#
# access to add, remove family admins of the same admin group
#
aci: (targetattr="uniquemember")
(targetfilter=(&(objectClass=nsManagedDept)
(objectClass=nsManagedDeptAdminGroup))(cn=Family Group
Administrators*)) (version 3.0; acl "Family Group Adm admin write
access - product=ims5.0, class=nda, num=16, version=1"; allow (write)
userdn="ldap:///<OrgRoot>??sub?(memberOf=cn=Family Group
Administrators*)" and groupdnattr="ldap:///<OrgRoot>?uniquemember";)
#
# access to add, remove memberof attribute
#
aci: (targetattr="memberOf") (targetfilter=(objectClass=nsManagedPerson))
(version 3.0; acl "Family Adm user access -
product=ims5.0, class=nda, num=17, version=1"; allow (write)
userdn="ldap:///<OrgRoot>??sub?(memberOf=cn=Family Group
Administrators*)" and groupdnattr="ldap:///<OrgRoot>?nsDAModifiableBy";)
#
#-----
# Domain Organization Administrator
#
# access to the Domain Organization nodes.
#
aci: (targetattr="*") (targetfilter=(objectClass=inetdomainorg)) (version
3.0; acl "Domain Organization Administrator - Dom Org node read & search
access - product=ims5.0, class=nda, num=21, version=1"; allow (read, search)
groupdnattr="ldap:///<OrgRoot>?nsDAModifiableBy";)
#
# write access for selected attribute
#
aci: (targetattr="description|domOrgMaxUsers")
(targetfilter=(objectClass=inetdomainorg)) (version 3.0; acl "Domain
Organization Administrator - Dom Org node write access -
product=ims5.0, class=nda, num=22, version=1"; allow (write)
groupdnattr="ldap:///<OrgRoot>?nsDAModifiableBy";)

```

DC ツリールートノード ACI

以下の ACI は、トップレベル管理者、ドメイン管理者、ドメイン組織管理者、ファミリーグループ管理者、メーリングリスト所有者、エンドユーザへの必須アクセス権を付与します。必要に応じて、ツリー構造上さらに下位のドメインノードおよびドメイン組織ノードで別の ACI が設定されます。最初からネームスペースを設定する場合（つまり、ネームスペースの作成に iPlanet Message Server インストーラを使用していない場合）、DC ツリーノードで ACI を設定する必要があります。

コード例 A-2

DC ツリールートノード ACI

```

dn:<DCRoot>
changetype:modify
add:aci
#-----
#
# iDA User access control
#
# Allow read and search access to all attributes in all entries
#
aci:(targetattr="*") (version 3.0; acl "NDAUser access -
  product=ims5.0,class=nda,num=1,version=1"; allow (read,search)
  userdn="ldap:///uid=NDAUser,ou=config,<OrgRoot>");)
#
# Allow write access to nsNum* attributes of all domain entries
#
aci:(targetattr="nsNumUsers|nsNumDepts|nsNumMailLists|nsNumDomains")
  (version 3.0; acl "NDAUser access - product=ims5.0,class=nda,num=2,
  version=1"; allow (write) userdn="ldap:///uid=NDAUser,
  ou=config,<OrgRoot>");)
#
#-----
# Service Administrator access control
#
# Allow read and search access to all DCROOT nodes
#
aci:(targetattr="*") (version 3.0; acl "SA root node access -
  product=ims5.0,class=nda,num=3,version =1"; allow (all)
  groupdn="ldap:///cn=Service Administrators,ou=Groups,<OrgRoot>");)
#
#-----
# Domain Administrator control.
#
# Access to dcroot to search for domain components
#
aci:(targetattr="*") (version 3.0; acl "Domain Admin dc root access -
  product=ims5.0,class=nda,num=4 ,version=1"; allow (read,search)
  userdn="ldap:///<DCRoot>??sub?(memberOf=cn=Domain Administrators*)" or
  userdn="ldap:///<OrgRoot>??sub?(memberOf=cn=Domain Administrators*");)
#
# Deny write and delete access to any domain container node.
#
aci:(targetfilter="objectclass=nsManagedDomain") (version 3.0; acl
  "Domain Admin domain container access -
  product=ims5.0,class=nda,num=5,version=1"; deny (delete,write)
  userdn="ldap:///<DCRoot>??sub?(memberOf=cn=Domain Administrators*)" or
  userdn="ldap:///<OrgRoot>??sub?(memberOf=cn=Domain Administrators*");)
#
#-----
# User access control
#
# Allow read and search access to self
#

```

コード例 A-2 DC ツリールートノード ACI

```

aci:(targetattr="*") (targetfilter=(objectClass=inetOrgPerson)) (version
3.0; aci "User self search and read - product=ims5.0,class=nda, num=6,
version=1"; allow (read,search) userdn="ldap:///self");
#
# Allow write access to self
#
aci:(targetattr = "*") (version 3.0; aci "Allow self entry modification
- product=ims5.0,class=nda,num=7,version=1"; allow (write) userdn =
"ldap:///self");
#
# Deny write access to self for uid, ou, owner,
# nsDAModifiableBy, nsDACapability, mail, mailAlternateAddress,
# memberOf, and nsDADomain attributes
#
aci:(targetattr="uid|ou|owner|nsDAModifiableBy|nsDACapability|
mail|mailAlternateAddress|memberOf|nsDADomain|inetuserstatus|
mailuserstatus|memberOfManagedGroup|mailQuota|mailMsgQuota|
inetSubscriberAccountId|dataSource|mailhost|mailAllowedServiceAccess
|pabURI|inetCOS") (targetfilter=(objectClass=nsManagedPerson))
(version 3.0; aci "User self modification - product=ims5.0,class=nda,
num=8, version=1"; deny (write) userdn = "ldap:///self" and userdn
!= "ldap:///<DCRoot>??sub?(memberOf=cn=Domain Administrators*)" and
userdn != "ldap:///<OrgRoot>??sub?(memberOf=cn=Domain Administrators*)"
and groupdn != "ldap://cn=Service Administrators,ou=groups,<OrgRoot>";)
#
# Deny delete access to self
#
aci:(targetfilter=(objectClass=inetOrgPerson)) (version 3.0; aci "User
self deletion - product=ims5.0,class=nda,num=9,version=1"; deny (delete)
userdn="ldap:///self");
#
#-----
# Mail List access control
#
# Allow designated users to create mail lists
#
aci:(targetattr="*") (targetfilter=(objectClass=inetMailGroupManagement))
(version 3.0; aci "Mail list create access - product=ims5.0,class=nda,
num=10, version=1"; allow (add)
userdn="ldap:///<DCRoot>??sub?(nsDACapability=mailListCreate)");)
#
# Allow maillist owner read, search, write, and delete access
# to the maillists s/he owns except for the nsMaxUsers attr
#
aci:(targetattr="*") (targetfilter=(objectClass=inetMailGroupManagement))
(version 3.0; aci "Mail list owner access -
product=ims5.0,class=nda,num=11,version=1"; allow (read,search,write,delete)
groupdnattr="ldap:///<DCRoot>?owner");)
#
#-----
# Family Group Administrator access control
#
# family group read access

```

コード例 A-2

DC ツリールートノード ACI

```

#
aci:(targetattr="*") (targetfilter=(objectClass=inetManagedGroup))
  (version 3.0; aci "Family Group Adm group read & search access -
  product=ims5.0 ,class=nda,num=12,version=1"; allow (read,search)
  userdn="ldap:///<DCRoot>??sub?(memberOf=cn=Family Group
  Administrators*)" and groupdnattr="ldap:///<DCRoot>?nsDAModifiableBy");
#
# family group write access for 'description' attribute
#
aci:(targetattr="description")
  (targetfilter=(objectClass=inetManagedGroup)) (version 3.0; aci "Family
  Group Adm description write access -
  product=ims5.0,class=nda,num=13,version=1"; allow (write)
  userdn="ldap:///<DCRoot>??sub?(memberOf=cn=Family Group
  Administrators*)" and groupdnattr="ldap:///<DCRoot>?nsDAModifiableBy");
#
# family group write access for 'mnggrpCurrentUsers' attribute
#
aci:(targetattr="mnggrpCurrentUsers")
  (targetfilter=(objectClass=inetManagedGroup)) (version 3.0; aci "Family
  Group Adm description write access -
  product=ims5.0,class=nda,num=14,version=1"; allow (write)
  userdn="ldap:///<DCRoot>??sub?(memberOf=cn=Family Group
  Administrators*)" and groupdnattr="ldap:///<DCRoot>?nsDAModifiableBy");
#
# family member create,delete,modify permissions
#
aci:(targetattr="*") (targetfilter=(objectClass=nsManagedPerson))
  (version 3.0;aci "Family Group Adm member access -
  product=ims5.0,class=nda,num=15,version=1"; allow
  (add,read,search,write,delete)
  userdn="ldap:///<DCRoot>??sub?(memberOf=cn=Family Group
  Administrators*)" and groupdnattr="ldap:///<DCRoot>?nsDAModifiableBy");
#
# access to add,remove family admins of the same admin group
#
aci:(targetattr="uniquemember")
  (targetfilter=(&(|(objectClass=nsManagedDept)(objectClass=nsManagedDept
  AdminGroup))(cn=Family Group Administrators*))) (version 3.0;aci "Family
  Group Adm admin write access - product=ims5.0,class=nda,num=16,
  version=1"; allow (write) userdn="ldap:///<DCRoot>??sub?(memberOf=cn=
  Family Group Administrators*)" and
  groupdnattr="ldap:///<DCRoot>?uniquemember");)
#
# access to add,remove memberof attribute
#
aci:(targetattr="memberOf") (targetfilter=(objectClass=nsManagedPerson))
  (version 3.0;aci "Family Adm user access - product=ims5.0,class=nda,
  num=17,version=1"; allow (write)
  userdn="ldap:///<DCRoot>??sub?(memberOf=cn=Family Group
  Administrators*)" and groupdnattr="ldap:///<DCRoot>?nsDAModifiableBy");
#
# Family Admin needs to read domain to get the dn
#
aci:(targetattr="objectclass||preferredmailhost||

```

コード例 A-2 DC ツリールートノード ACI

```

preferredmailmessagestore") (targetfilter=(objectClass=domain)) (version
3.0;acl "Family Adm domain access - product=ims5.0,class=nda,num=18,
version=1"; allow (read,search)
userdn="ldap:///<OrgRoot>??sub?(memberOf=cn=Family Group
Administrators*)" or userdn="ldap:///<DCRoot>??sub?(memberOf=cn=Family
Group Administrators*)"");
#
#-----
# Domain Organization Administrator
#
# Allow domain organization administrators to read the
# attributes from the dc tree.
#
aci:(targetattr="objectclass||preferredmailhost||
preferredmailmessagestore||dc") (targetfilter=(objectClass=domain))
(version 3.0;acl "Domain Organization Admin domain access -
product=ims5.0,class=nda,num=20,version=1"; allow (read,search)
userdn="ldap:///<DCRoot>??sub?(memberOf=cn=Domain Organization
Administrators*)" or userdn="ldap:///<OrgRoot>??sub?(memberOf=cn=Domain
Organization Administrators*)"");)
#
# access to the Domain Organization nodes.
#
aci:(targetattr="*") (targetfilter=(objectClass=inetdomainorg)) (version
3.0; acl "Domain Organization Administrator - Dom Org node read & search
access - product=ims5.0,class=nda,num=21,version=1"; allow (read,search)
groupdnattr="ldap:///<DCRoot>?nsDAModifiableBy";)
#
# write access for selected attribute
#
aci:(targetattr="description||domOrgMaxUsers")
(targetfilter=(objectClass=inetdomainorg)) (version 3.0; acl "Domain
Organization Administrator - Dom Org node write access -
product=ims5.0,class=nda,num=22,version=1"; allow (write)
groupdnattr="ldap:///<DCRoot>?nsDAModifiableBy";)

```

ホストドメイン ACI

以下の ACI は、ドメイン管理者、メーリングリスト所有者、エンドユーザへの必須アクセス権を付与します。以下の 6 つの ACI は、標準の二重ツリーネームスペース用で、組織ツリーの規則が 5 つ、DC ツリーの規則が 1 つです。DC ツリーが 1 つだけあるネームスペースを使用している場合、6 つの規則はすべて、ホストドメインノードで設定されます。これらの ACI は、プロビジョニングを行うすべてのドメインで設定する必要があります。

コード例 A-3

ホストドメイン ACI

```

dn:<OrgNodeDN>
changetype:modify
add:aci
#
#-----
# Domain Administrator access control
#
# allow full access to the domains user/group subtree
#
aci:(targetattr="*") (version 3.0; acl "Domain Admin Domain access -
  product=ims5.0,class=nda,num=18,version=1"; allow (all)
  groupdn="ldap:///cn=Domain Administrators,ou=Groups,<OrgNodeDN>");)
#
#-----
# End user access control
# allow users to read and search all users in the domain
#
aci:(targetattr!="userPassword")
  (targetfilter=(|(objectClass=inetOrgPerson)(objectclass=nsManagedDomain
  ))) (version 3.0; acl "User access to all users in domain -
  product=ims5.0,class=nda,num=1,version=1"; allow (read,search)
  userdn="ldap:///<OrgNodeDN>??sub?(objectclass=inetOrgPerson)");)
#
# allow users to add themselves to self subscribe mail lists
#
aci:(targetattr="uniqueMember")
  (targetfilter=(&(objectClass=nsManagedMailList)
  (|(mgmanJoinability=anyone)(mgmanJoinability=all))))
  (version 3.0; acl "User mail list self subscribe access -
  product=ims5.0,class=nda,num=20,version=1"; allow (selfwrite)
  userdn="ldap:///<OrgNodeDN>??sub?(objectclass=inetOrgPerson)");)
#
# hide group members when they are marked hidden
#
aci:(targetattr!="uniqueMember|mgrpRfc822MailMember")
  (targetfilter=(&(objectClass=inetMailGroupManagement)
  (mgmanHidden=false))) (version 3.0; acl "User mail list access when
  visible - product=ims5.0,class=nda,num=21,version=1"; allow
  (read,search)
  userdn="ldap:///<OrgNodeDN>??sub?(objectclass=inetOrgPerson)");)
#
# hide group members when they are marked hidden
#
aci:(targetattr="uniqueMember|mgrpRfc822MailMember")
  (targetfilter=(&(objectClass=inetMailGroupManagement)
  (|(mgmanMemberVisibility=anyone)(mgmanMemberVisibility=all)))) (version
  3.0; acl "User mail list member access -
  product=ims5.0,class=nda,num=22,version=1"; allow (read,search)
  userdn="ldap:///<OrgNodeDN>??sub?(objectclass=inetOrgPerson)");)

dn:<DCNodeDN>
changetype:modify
add:aci

```

コード例 A-3 ホストドメイン ACI

```
#
#-----
# Domain Administrator access to iCS attributes
#
aci:(targetattr="icsTimeZone||icsMandatorySubscribed||
icsMandatoryView||icsDefaultAccess||icsRecurrenceBound||
icsRecurrenceDate||icsAnonymousLogin||icsAnonymousAllowWrite||
icsAnonymousCalendar||icsAnonymousSet||icsAnonymousDefaultSet||
icsSessionTimeout||icsAllowRights||icsExtended||
icsExtendedDomainPrefs")(targetfilter=(objectClass=icsCalendarDomain))
(version 3.0; acl "Domain Adm calendar access - product=ims5.0,
class=nda,num=16,version=1"; allow (all) groupdn="ldap:///cn=Domain
Administrators,ou=Groups,<OrgNodeDN>");)
```

ドメイン組織 ACI

これらの ACI は、プロビジョニングを行なったすべてのドメイン組織に追加する必要があります。

コード例 A-4 ドメイン組織 ACI

```
dn:<DomainOrgNodeDN>
changetype:modify
add:aci
#
# Rights to modify, add, delete users
#
aci:(target="ldap:///uid=*,ou=people,<DomainOrgNodeDN>")
(targetattr="*")
(targetfilter=(objectclass=organizationalPerson))
(version 3.0; acl "Domain Organization Admin User add,delete,write -
product=ims5.0,class=nda,num=201,version=1";
allow (add,write,delete)
groupdn="ldap:///cn=Domain Organization
Administrators,<DomainOrgNodeDN>");)
#
# Rights to modify, add, delete mailing lists.
#
aci:(target="ldap:///cn=*,ou=groups,<DomainOrgNodeDN>")
(targetattr="*")
(targetfilter=(objectclass=inetMailGroup))
(version 3.0; acl "Domain Organization Admin User add,delete,write -
product=ims5.0,class=nda,num=202,version=1";
allow (add,write,delete)
groupdn="ldap:///cn=Domain Organization
Administrators,<DomainOrgNodeDN>");)
```

ドメイン組織 ACI

用語集

admin 管理者または管理を表します。

APOP Authenticated Post Office Protocol (認証機能付きポストオフィスプロトコル) の略語。Post Office Protocol (POP) と類似していますが、APOP では、認証にプレーンテキストのパスワードを使用するのではなく、パスワードをエンコードし、推測が困難な文字列を使用します。

AUTH SMTP コマンドの 1 つで、SMTP クライアントがサーバに対して認証方法を指定できるようにし、認証プロトコル交換を実行し、必要に応じて後続のプロトコル対話のセキュリティレイヤーをネゴシエーションする。

AutoReply ユーティリティ AutoReply 機能を有効にしているアカウントに送信されたメッセージに自動的に応答するユーティリティ。iPlanet Messaging Server のすべてのアカウントは、受信メッセージに対して自動的に応答するように構成できます。

A レコード ホスト名および関連する IP アドレスを含む DNS レコードのタイプの 1 つ。A レコードは、インターネット上でメッセージングサーバが電子メールをルーティングするために使用します。ドメイン名システム (DNS) および MX レコードも参照してください。

CA Certificate Authority (証明書発行局) の略語。デジタル証明書 (デジタル ID) を発行し、その公開鍵を対象者が利用できるようにする組織。

capability (機能) 指定の IMAP サービス内で利用可能な機能を定義する、クライアントに提供される文字列。

ciphertext 暗号化されているテキスト。cleartext の逆です。

cleartext 暗号化されていないテキスト。

CLI Command Line Interface (コマンドラインインタフェース) の略語。

cn 共通名の LDAP 別名。

CNAME レコード ドメイン名エイリアスをドメイン名にマップする DNS レコードの 1 種。

config 構成。

Configuration Directory Server 単一のサーバまたはサーバセットの構成情報を保持する Directory Server。

configutil ディレクトリサーバまたはローカル構成ファイル configdb 内に格納されている、さまざまな構成パラメータを変更するためのコマンドラインユーティリティ。

Console 多くの iPlanet コンポーネントの構成、監視、維持、障害追跡を行うことができる GUI (グラフィカルユーザインタフェース)。

cookie 特定の Web サイトを訪れたときにブラウザのメモリに自動的に入力されるテキストのみの文字列。cookie は、Web ページ作成者によってプログラムされます。ユーザは、cookie を受け入れるか、拒否することができます。cookie を受け入れると、Web ページをより速く読み込むことができます。マシンのセキュリティを損うことはありません。

counterutil カウンタオブジェクト内のすべてのカウンタを表示するためのコマンドラインユーティリティ。

cronjob UNIX のみ。構成時に cron デーモンによって自動的に実行されるタスク。
crontab ファイルを参照してください。

crontab ファイル UNIX のみ。指定時間に自動的に実行されるコマンドのリスト (1 行につき 1 つのコマンド)。

DC ツリー Domain Component (ドメイン構成要素) ツリー。DNS ネットワーク構文をミラー化するディレクトリ情報ツリー。DC ツリー内の識別名の例は、cn=billbob,dc=bridge,dc=net,o=internet のようになります。

Delegated Administrator for Messaging。ドメイン管理者が、ユーザおよびグループをホストドメインに追加または変更できるようにするインタフェースのセット (GUI および CLI)。

Delegated Administrator Console ドメイン管理者がユーザおよびグループをホストドメインに追加または変更できるようにする、Web ブラウザベースのソフトウェアコンソール。また、エンドユーザが自身のパスワードの変更、メッセージ転送規則の設定、休暇規則の設定、および配布リストの一覧表示をできるようにします。

deliver POP、IMAP、または HTTP メールクライアントがアクセス可能なメールをメッセージストアに直接配信するコマンドラインユーティリティ。

Directory Manager ディレクトリサーバデータベースの管理特権を持つユーザ。このユーザには、アクセスコントロールは適用されません (Directory Manager はディレクトリのスーパーユーザとを考えてください)。

Directory Server LDAP に基づく iPlanet ディレクトリサービス。ディレクトリサービス、**Lightweight Directory Access Protocol**、**Configuration Directory Server**、**User/Groups Directory Server** も参照してください。

Dispatcher 定義された TCP ポートに対する接続要求を処理する MTA コンポーネント。Dispatcher は、複数のマルチスレッドサーバが指定サービスの責任を共有可能にするマルチスレッド接続ディスパッチエージェントです。Dispatcher を使用すると、複数のマルチスレッド SMTP サーバプロセスを同時に実行できます。

DIT ディレクトリ情報ツリーを参照してください。

DN 識別名を参照してください。

dn 識別名の LDAP エイリアス。**識別名**も参照してください。

DNS ドメイン名システムを参照してください。

DNS スプーフィング DNS サーバが不正な情報を提供するように変更されているネットワークアタックの 1 形式。

DNS データベース ドメイン名 (ホスト名) および対応する IP アドレスのデータベース。

DNS 別名 DNS サーバが、別のホスト (特に DNS CNAME レコード) を指し示していると認識するホスト名。マシンは、常に 1 つの実名を持ちますが、エイリアスは複数持つことができます。たとえば、**www.siroe.domain** は、サーバが現在存在する **realthing.siroe.domain** という実マシンを示すエイリアスである場合があります。

DSN 配信状態の通知を参照してください。

dsservd ディレクトリ情報を保持するデータベースファイルにアクセスし、LDAP プロトコルを使用してディレクトリクライアントと通信するデーモン。

dssetup 既存の Directory Server を iPlanet Messaging Server で使用できるように準備する Directory Server 準備ツール。

EHLO コマンド サーバが拡張 SMTP コマンドをサポートしているかどうかを確認するためにサーバに照会する SMTP コマンド。RFC 1869 に定義されています。

ESP Enterprise Service Provider (エンタープライズサービスプロバイダ) の略語です。

ESMTP **Extended Simple Mail Transfer Protocol** を参照してください。

ETRN サーバで待機しているクライアントマシンへのメッセージのメールキューの処理をサーバが開始するように、クライアントが要求できるようにする SMTP コマンドの 1 つ。RFC 1985 に定義されています。

expander メッセージをアドレスのリストに配信できるようにする、電子メール配信システムの一部。mail expander は、メーリングリストの実装に使用されます。ユーザが 1 つのアドレス (たとえば、hacks@somehost.edu) にメッセージを送信すると、mail expander がリスト内のメールボックスに配信を行います。mail exploder と呼ばれることもあります。**EXPN** も参照してください。

EXPN メーリングリストを展開する SMTP コマンド。RFC 821 に定義されています。

Extended Simple Mail Transfer Protocol (ESMTP) 拡張簡易メール転送プロトコル。インターネットメッセージ転送プロトコルの 1 つ。ESMTP では、どのコマンドがリモートサイトによって実装されたかを、ESMTP サーバが認識する機能を含めた、拡張機能用のオプションのコマンドを SMTP コマンドセットに追加します。

facility (機能) Messaging Server ログファイルエントリ内における、ログエントリを生成したソフトウェアサブシステムの指定 (Network または Account など)。

FQDN **完全修飾ドメイン名**を参照してください。

GUI グラフィカルユーザインタフェースの略語。

HA **高可用性**を参照してください。

hashdir どのディレクトリが特定のユーザ用のメッセージストアを含んでいるかを判別するためのコマンドラインユーティリティ。

HTTP **HyperText Transfer Protocol** を参照してください。

iDA iPlanet Delegated Administrator for Messaging。

IDENT **Identification Protocol** を参照してください。

Identification Protocol 識別プロトコル (IDENT)。特定の TCP 接続のリモートエンドを担当するリモートプロセスの ID を判別するための手段を提供するプロトコル。RFC 1413 に定義されています。

IMAP4 Internet Message Access Protocol Version 4 を参照してください。

imsadmin ドメイン管理者、ユーザ、グループを管理するためのコマンドラインユーティリティのセット。

imsasm ユーザのメールボックスの保存および回復を処理するユーティリティ。
imsasm ユーティリティは、**imsbackup** ユーティリティおよび **imsrestore** ユーティリティを呼び出して、データストリームを作成および解釈します。

imsbackup メッセージストアをバックアップするためのコマンドラインユーティリティ。

imsimta コマンド Message Transfer Agent (MTA) のさまざまな保守、テスト、管理タスクを実行するコマンドラインユーティリティのセット。

HyperText Transfer Protocol ハイパーテキスト転送プロトコル (HTTP)。ハイパーテキストドキュメントを Web 上で転送できるようにする標準プロトコル。
iPlanet Messaging Server では、Web ベースの電子メールをサポートするために HTTP サービスを提供しています。**Messenger Express** を参照してください。

imsrestore メッセージストアを復元するためのコマンドラインユーティリティ。

imscripiter IMAP サーバに通知するためのコマンドラインユーティリティ。このユーティリティを使用して、IMAP フォルダに対するコマンドまたはコマンドのバッチ処理を実行することができます。

INBOX ユーザのメール配信のデフォルトのメールボックスに予約されている名前。**INBOX** は、大文字と小文字を区別しない唯一のフォルダ名です。たとえば、**INBOX**、**Inbox**、**inbox** は、すべてユーザのデフォルトのメールボックスとして有効な名前です。

Internet Message Access Protocol Version 4 インターネットメッセージアクセスプロトコル・バージョン 4 (IMAP4)。ユーザが、メインのメッセージ送信システムから切断してもメールを処理できるようにする標準プロトコル。**IMAP** 仕様では、これらの切断されたユーザおよびメッセージ送信システムに再接続したときに、ユーザのメッセージストアの同期を管理コントロールできるようにします。

Internet Protocol (IP) インターネットプロトコル (IP)。インターネットおよびイントラネットの基本となる基本ネットワークレイヤープロトコル。

IP **Internet Protocol** を参照してください。

iPlanet Setup すべての iPlanet サーバおよび iPlanet Console 用のインストール プログラム。

IP アドレス 198.93.93.10 などのドットで区切られた数字のセット。イントラ ネットやインターネット上のマシンの実際の場所を指定します。TCP/IP を使用してホストに割り当てられた 32 ビットのアドレスです。

ISP **Internet Service Provider** (インターネットサービスプロバイダ) の略語です。電子メール、電子カレンダー、WWW へのアクセス、Web ホスティングを含むインターネットサービスを顧客に提供する会社。

Job Controller 他の MTA コンポーネントによるさまざまな要求に基づいて、タスクをスケジュールおよび実行する MTA コンポーネント。

LDAP **Lightweight Directory Access Protocol** を参照してください。

LDAP Data Interchange Format LDAP データ変換形式 (LDIF)。Directory Server エントリをテキスト形式で表すために使用される形式。

LDAP Server LDAP ディレクトリを維持し、ディレクトリへの照会をサービスするソフトウェアサーバ。iPlanet Directory Services は、LDAP Server の実装です。

LDAP サーバフェイルオーバー LDAP サーバのバックアップ機能。1 つの LDAP サーバに障害が発生した場合、システムは別の LDAP サーバに切り替えることができます。

LDAP 検索文字列 ディレクトリ検索に使用される属性を定義する、置換可能パラメータを持つ文字列。たとえば、LDAP 検索文字列 "uid=%s" は、検索がユーザ ID 属性に基づいていることを意味します。

LDAP 参照 別の LDAP エントリへのシンボリックリンク (参照) で構成される LDAP エントリ。LDAP 参照は、LDAP ホストと識別名で構成されます。LDAP 参照は、既存の LDAP データを複製する必要がないように、このデータへの参照として使用されます。また、移動されている可能性がある特定のエンタリに依存するプログラムの互換性を維持するためにも使用されます。

LDAP フィルタ 特定の属性または属性値の存在に基づいてエンタリ セットを指定する方法の 1 つ。

LDBM LDAP Data Base Manager の略語。

LDIF **LDAP Data Interchange Format** を参照してください。

Legato Networker Legato 社によって配布されているサードパーティ製バックアップユーティリティ。

Lightweight Directory Access Protocol 軽量ディレクトリアクセスプロトコル (LDAP)。TCP/IP 上および複数プラットフォーム間で実行するように設計されているディレクトリサービスプロトコル。ユーザプロファイル、配布リスト、iPlanet サービス間の構成データを含む情報の格納、検索、配布の一元管理を許可する X.500 Directory Access Protocol (DAP) の簡略機能。iPlanet Directory Server は、LDAP プロトコルを使用しています。

mboxutil メールフォルダを管理するためのコマンドラインユーティリティ。メールボックス (フォルダ) の一覧表示、作成、削除、名前変更、移動を行います。また、制限容量情報をレポートするためにも使用されます。

MD5 RSA Data Security によるメッセージダイジェストアルゴリズム。MD5 は、高い可能性で固有であるデータの短いダイジェストを生成するために使用できます。同じメッセージダイジェスト電子メールを作成するデータ片を生成するのは非常に困難です。

Message Handling System (MHS) 接続された複数の MTA、そのユーザエージェント、メッセージストアのグループ。

Message Transfer Agent (MTA) メッセージのルーティングと配信用に特化されたプログラム。MTA は複数で機能し、メッセージを転送して指定受信者に配信します。MTA ではメッセージをローカルメッセージストアに配信するか、リモート配信のために別の MTA にルーティングするかどうかを判別します。

Messaging Multiplexor 複数のメールサーバへの接続の単一ポイントとして機能するように特化された iPlanet Messaging Server。複数のメールボックスホストにわたる大きなユーザベースの配信を簡易にします。

Messaging Server 管理者 iPlanet Messaging Server インスタンスのインストールおよび管理特権を持つ管理者。

Messenger Express ユーザがブラウザベース (HTTP) のインターフェースを使用してメールボックスにアクセスできるようにするメールクライアント。メッセージ、フォルダ、およびその他のメールボックス情報は、ブラウザウィンドウに HTML 形式で表示されます。**webmail** も参照してください。

mkbackupdir バックアップディレクトリを作成し、メッセージストア内の情報と同期させるユーティリティ。Legato Networker とともに使用されます。

MHS Message Handling System を参照してください。

MIME Multipurpose Internet Mail Extension を参照してください。

MMP Messaging Multiplexor を参照してください。

MoveUser 1つの Messaging Server から別の Messaging Server に、ユーザのメールフォルダ内のメッセージを移動するためのコマンドラインユーティリティ。

MTA Message Transfer Agent を参照してください。

MTA 構成ファイル Messaging Server に対するすべてのチャンネル定義、およびルーティング用にアドレスを書き換える方法を決定する書き換え規則を含むファイル (imta.cnf)。チャンネルおよび書き換え規則も参照してください。

MTA ディレクトリキャッシュ MTA がメッセージを処理するために必要なユーザおよびグループに関するディレクトリ サービス情報のスナップショット。ディレクトリ同期化も参照してください。

MTA ホップ 1つの MTA から別の MTA にメッセージをルーティングする動作。

MUA ユーザエージェントを参照してください。

Multiplexor Messaging Multiplexor を参照してください。

Multipurpose Internet Mail Extension 多目的インターネットメール拡張 (MIME)。マルチメディアファイルをメッセージに添付することによって、マルチメディアを電子メールメッセージに含めるために使用できるプロトコル。

MX レコード メール交換レコード。1つのホスト名の別のホスト名にマップする DNS レコードの1種。

NDN 非配信通知を参照してください。

NIS ネットワーク上のシステムおよびユーザに関する主要な情報を含む分散ネットワーク情報サービス。NIS データベースは、マスターサーバ、およびすべての複製サーバまたはスレーブサーバ上に格納されます。

NIS+ ネットワーク上のシステムおよびユーザに関する階層情報を含む分散ネットワーク情報サービス。NIS+ データベースは、マスターサーバおよびすべての複製サーバ上に格納されます。

NMS Netscape Messaging Server の略語。

NOTARY メッセージ NOTARY 仕様 RFC 1892 に準拠する非配信通知 (NDN) および配信状況通知 (DSN)。

OSI ツリー Open Systems Interconnect ネットワーク構文をミラー化するディレクトリ情報ツリー。OSI ツリー内の識別名は、cn=billt,o=bridge,c=us のようになります。

POP3 Post Office Protocol Version 3 を参照してください。

Post Office Protocol Version 3 ポストオフィスプロトコル・バージョン 3 (POP3)。メッセージ転送エージェントが、ユーザのメールフォルダにアクセスすることを必要としない、標準配信方法を提供するプロトコル。アクセスを必要としないことは、メールクライアントおよびメッセージ転送エージェントが異なるコンピュータ上にあることが多いネットワーク接続された環境では利点となります。

RC2 RSA Data Security による可変キーサイズ ブロック符号化方式。

RC4 RSA Data Security によるストリーム符号化方式。RC2 よりも高速です。

readership 共有メールフォルダ上の読者情報を収集するためのコマンドラインユーティリティ。

reconstruct メールフォルダを再構築するためのコマンドラインユーティリティ。

RFC コメントの要求 (Request For Comments)。1969 年に始まったドキュメントシリーズは、プロトコルおよび関連実験のインターネットスイートを説明しています。RFC で、インターネット標準について説明しているのはわずかですが、すべてのインターネット標準は、RFC として公開されています。
<http://www.imc.org/rfc.html> を参照してください。

SASL Simple Authentication and Security Layer を参照してください。

SCM Service Control Manager を参照してください。

Secure Sockets Layer (SSL) セキュアソケットレイヤ。2つのパーティ (クライアントとサーバ) 間で安全な接続を確立するソフトウェアライブラリ。

sendmail UNIX マシンで一般的に使用される MTA。ほとんどのアプリケーションで、iPlanet Messaging Server は sendmail の代わりとして使用できます。

Service Control Manager サービスを管理するための Windows NT 管理プログラム。

Sieve メールをフィルタリングするための言語。

Simple Authentication and Security Layer (SASL) 簡易認証およびセキュリティレイヤ。POP、IMAP または SMTP クライアントが、自身をサーバに識別させるためのメカニズムをコントロールする手段。iPlanet Messaging Server での SMTP SASL のサポートは、RFC 2554 (ESMTP AUTH) に準拠しています。SASL は、RFC 2222 に定義されています。

Simple Mail Transfer Protocol (SMTP) 簡易メール転送プロトコル。インターネット上で最も一般的に使用されている電子メールプロトコルで、iPlanet Messaging Server でサポートされています。RFC 821 に定義され、RFC 822 に関連するメッセージ形式の説明があります。

SIMS Sun Internet Mail Server の略語。

SIZE クライアントが特定のメッセージのサイズをサーバに宣言できるようにする SMTP 拡張機能。サーバは、宣言されたメッセージサイズに基づいて、メッセージを受信できないことをクライアントに示すことができ、サーバは、受信可能な最大メッセージサイズをクライアントに宣言できます。RFC 1870 に定義されています。

SMTP **Simple Mail Transfer Protocol** を参照してください。

SMTP AUTH **AUTH** を参照してください。

sn 苗字の別名ディレクトリ属性。

SSL **Secure Sockets Layer** を参照してください。

SSR Server Side Rules の略語。サーバ側規則を参照してください。

stored メッセージストア上で、日々の保守タスクを実行するためのコマンドラインユーティリティ。ディスク上に格納されているメッセージを削除および消します。

TCP **Transmission Control Protocol** を参照してください。

TCP/IP **Transmission Control Protocol/Internet Protocol** を参照してください。

TLS **Transport Layer Security** を参照してください。

Transmission Control Protocol (TCP) トランスミッションコントロールプロトコル。2つのホスト間に、信頼できる接続型のストリームサービスを提供するインターネットプロトコル群の基本転送プロトコル。

Transmission Control Protocol/Internet Protocol (TCP/IP) トランスミッションコントロールプロトコル/インターネットプロトコル。インターネットプロトコルスイートで使用されるネットワークプロトコルコレクションの名前。この名前は、転送レイヤープロトコルの TCP (Transmission Control Protocol) およびネットワークレイヤープロトコルの IP (Internet Protocol) という 2 つのプロトコル群のプライマリネットワークプロトコルを表しています。

Transport Layer Security (TLS) トランスポートレイヤセキュリティ。SSL の標準形式。Secure Sockets Layer も参照してください。

UA ユーザエージェントを参照してください。

UBE 不特定多数宛てメールを参照してください。

UID (1) ユーザ識別情報。システムに対してユーザを識別する固有の文字列。ユーザ ID とも呼ばれます。(2) ユーザ ID (ログイン名) の別名ディレクトリ属性。

User/Groups Directory Server 組織内のユーザおよびグループに関する情報を保持するディレクトリサーバ。

UUCP UNIX to UNIX Copy Program の略語。UNIX システム間の通信に使用されるプロトコル。

/var/mail 新しいメールメッセージが順番に単一のフラットテキストファイルで格納される Berkeley 方式の受信トレイを参照するために使用される名前。

Veritas Cluster Server iPlanet Messaging Server が統合可能な Veritas Software の高可用性クラスタ化ソフトウェア。

VRFY ユーザ名を確認するための SMTP コマンド。RFC 821 に定義されています。

Web メール ブラウザベースの電子メールサービスを表す一般用語。サーバ上で多くの処理を行う thin クライアントと呼ばれるブラウザベースのクライアントは、常にサーバ上に格納されているメールにアクセスします。Messenger Express も参照してください。

X.400 メッセージ処理システムの基準。

アカウント 特定のユーザまたはユーザグループを定義する情報。この情報には、ユーザ名またはグループ名、有効な電子メールアドレスまたは住所、および電子メールの配信方法と配信先が含まれます。

アクセスコントロール サーバまたはサーバ上のフォルダやファイルへのアクセスを制御する方法。

アクセスコントロール規則 特定のディレクトリエントリまたは属性に対してユーザのアクセス権を指定する規則。

アクセスコントロールリスト (ACL) ディレクトリに対してユーザやグループのアクセス権を定義したデータ。

アクセスドメイン 指定したドメイン内からの特定の Messaging Server 操作へのアクセスを制限します。たとえば、アクセスドメインは、あるアカウントへのメールをどこへ集めるかを制限するために使用できます。

アドレス メッセージの送信先と方法を決定する電子メールメッセージ内の情報。アドレスは、メッセージヘッダとメッセージエンベロープの両方に表示されます。エンベロープアドレスは、メッセージのルーティングおよび配布方法を決定し、ヘッダアドレスは表示専用です。

アドレス処理 MTA によって実行されるアクション。宛先指定に発生するエラーの検出、必要に応じたアドレスの書き換え、アドレスと受信者の一致を行います。

アドレストークン 書き換え規則パターン of アドレス要素。

宛て先指定プロトコル 電子メールの送信を可能にする宛て先指定規則。RFC 822 は、インターネット上で最も広く使用されているプロトコルで、iPlanet Messaging Server でサポートされています。その他のプロトコルには、X.400 および UUCP (UNIX to UNIX Copy Protocol) があります。

暗号化 コードキーを持つ指定受信者以外の人物に暗号解読されないように情報を識別するプロセス。

安全なファイルシステム システムがクラッシュした場合に、データをクラッシュ発生前の状態にロールバックし、すべてのデータを復元できるようにログ記録を実行するファイルシステム。安全なファイルシステムの例としては、Veritas File System (VxFS) があります。

一時的な失敗 メッセージ処理中に発生するエラー状態。リモート MTA は、配信時にメッセージを処理することができませんが、後から処理が可能になる場合があります。ローカル MTA は、メッセージをキューに戻して後で再転送をスケジュールします。

インスタンス 指定ホスト上のサーバまたはその他のソフトウェアエンティティの、独立した実行可能な構成。バイナリファイルの単一のインストールセットを使用すると、互いに独立して実行およびアクセス可能な iPlanet サーバの複数のインスタンスを作成できます。

インスタンスディレクトリ サーバの特定のインスタンスを定義するファイルを含むディレクトリ。Messaging Server の場合は、サーバルート *ServerRoot/msg-InstanceName/* のサブディレクトリになります。*InstanceName* は、インストール時に指定したサーバの名前です。**インストールディレクトリ**、**サーバルート**と比較してください。

インストールディレクトリ サーバのバイナリ (実行可能) ファイルがインストールされるディレクトリ。Messaging Server の場合は、サーバルート *ServerRoot/bin/msg/* のサブディレクトリになります。**インスタンスディレクトリ**、**サーバルート**と比較してください。

インターネット TCP/IP プロトコルを使用するネットワークの世界的なネットワークの名前。

インターネットプロトコルアドレス IP アドレスを参照してください。

イントラネット 会社または組織内の TCP/IP ネットワークの 1 つのネットワーク。イントラネットを使用すると、企業は、WWW に使用されているものと同じ種類のサーバおよびクライアントソフトウェアを、企業 LAN 間で配布する内部アプリケーションに採用できます。インターネットと通信するイントラネット上の機密情報は、通常はファイアウォールで保護されています。**ファイアウォール**および**エクストラネット**も参照してください。

永続的な失敗 メッセージ処理中に発生するエラー状態。これが発生すると、メッセージストアは電子メールメッセージのコピーを削除します。MTA はメッセージを送信者に戻し、メッセージのコピーを削除します。

エイリアス 電子メールアドレスの代替名。

エイリアスファイル ディレクトリ内に設定されていないエイリアス (別名) を設定するために使用されるファイル。ポストマスターエイリアスなど。

エクストラネット 顧客およびサプライヤがアクセス可能な、会社のイントラネットの一部。**イントラネット**も参照してください。

エラーハンドラ エラーを処理するプログラム。Messaging Server では、エラーメッセージを発行し、ポストマスターがエラーアクションフォームに記入した後にフォームを処理します。

エラーハンドラアクションフォーム 受信したメッセージのうち、Messaging Server が処理できないメッセージに付随するフォーム。ポストマスターアカウントに送信されます。ポストマスターはフォームに記入して、サーバにメッセージを処理する方法を指示します。

エラーメッセージ エラーまたはその他の状況をレポートするメッセージ。iPlanet Messaging Server は、いくつかの状況でメッセージを生成します。特に、処理できない電子メールメッセージを受け取ったときに生成します。通知エラーと呼ばれるその他のメッセージは、情報を通知することだけを目的としています。

エンタープライズネットワーク 地理的に分散している領域上で相互に接続されているネットワークの集合で構成されるネットワーク。エンタープライズネットワークは、広く分散している会社のニーズにこたえ、会社のミッションクリティカルなアプリケーションで使用されます。

エンベロープ 電子メールメッセージの送信者および受信者に関する情報の転送用コンテナ。情報は、メッセージヘッダの一部ではありません。エンベロープは、さまざまな電子メールプログラムで、メッセージがある場所からある場所へ移動されるときに使用されます。ユーザには、メッセージのヘッダと本文のみが表示されます。

エンベロープフィールド メッセージエンベロープ内の情報の名前付き項目。RCPT TO など。

オブジェクトクラス エントリが説明するオブジェクトの種類および、そこに含まれる属性のセットを指定するテンプレート。たとえば、iPlanet Directory Server では commonname、mail (電子メールアドレス)、mailHost、および mailQuota などの属性を持つ emailPerson オブジェクトクラスを指定します。

オフライン状態 メールクライアントが、メッセージをサーバシステムから表示および応答可能なクライアントシステムにダウンロードする状態。メッセージは、サーバから削除される場合と削除されない場合があります。

オンライン状態 メッセージがサーバ上に残り、メールクライアントによってリモートで応答される状態。

完全修飾ドメイン名 Fully-Qualified Domain Name (FQDN)。特定のインターネットホストを識別する固有の名前。ドメイン名も参照してください。

書き換え規則 ドメイン書き換え規則とも呼ばれます。MTA が配信するメッセージを正しいホストにルーティングするために使用するツール。書き換え規則は、次の機能を実行できます。(1) ホスト/ドメイン仕様を受信メッセージのアドレスから抽出する、(2) ホスト/ドメイン仕様を書き換え規則パターンと一致させる、(3) ホスト/ドメイン仕様をドメインテンプレートに基づいて書き換える、(4) どのチャンネルキューにメッセージを配置するかを決定する。

仮想ドメイン (1) ISP ホストドメイン。ホストドメインも参照してください。(2) LDAP 検索およびメールボックスサーバへのログイン用に Messaging Multiplexor によってクライアントのユーザ ID に付加されたドメイン名。

管理コンソール コンソールを参照してください。

管理サーバ管理者 Directory Server 接続がない場合でも、サーバを開始または停止する管理特権を持つユーザ。管理サーバ管理者は、ローカルサーバグループ内のすべてのサーバに対する制限付きサーバタスク (一般的に Restart Server および Stop Server のみ) を持ちます。管理サーバがインストールされるときに、この管理者のエントリがローカルに自動的に作成されます (この管理者はユーザディレクトリ内のユーザではありません)。

管理者 定義された管理特権セットを持つユーザ。構成管理者、Directory Manager、管理サーバ管理者、サーバ管理者、メッセージストア管理者、上位レベル管理者、ドメイン管理者、組織管理者、ファミリグループ管理者、メーリングリスト所有者も参照してください。

管理対象オブジェクト 構成可能な属性の集合。たとえば、ディレクトリサービス用の属性の集合。

管理特権 ユーザの管理役割を定義する権限のセット。

キーデータベース サーバの証明書用の一対のキーを含むファイル。キーファイルとも呼ばれます。

キュー メッセージキューを参照してください。

共有フォルダ 複数の人が読み取り可能なフォルダ。共有フォルダには、フォルダへの読み取りアクセスを指定でき、共有フォルダからメッセージを削除できる所有者がいます。共有フォルダは、受信メッセージを編集、ブロック、転送するモデレータを配置することもできます。共有できるのは IMAP フォルダのみです。個人用フォルダと比較してください。

許可フィルタ POP、IMAP、HTTP のいずれか、またはこれら複数のサービスへのアクセスを許可されるクライアントを識別する Messaging Server アクセスコントロール規則。 **拒否フィルタ**と比較してください。

拒否フィルタ POP、IMAP、HTTP のいずれか、またはこれら複数のサービスへのアクセスを拒否されるクライアントを識別する Messaging Server アクセスコントロール規則。 **許可フィルタ**と比較してください。

クライアント サーバからサービスまたは情報を要求するソフトウェアエンティティ。

クライアント - サーバモデル ネットワーク接続されたコンピュータが、ほかのクライアントコンピュータに特定のサービスを提供するコンピュータ処理モデル。たとえば、DNS のネームサーバ/ネームリゾルバパラダイム、および NFS やディスクレスホストなどのファイルサーバ/ファイルクライアントのような関係です。

グリーティングフォーム アカウントが作成されたときにユーザに送信されるメッセージ。このフォームは、新しいアカウントの確認とその内容の検証として機能します。

グループ 識別名で構成された LDAP メールエントリのグループ。通常は配布リストとして使用されますが、特定の管理特権をグループのメンバーに付与するときにも使用されます。 **動的グループ**、 **静的グループ**も参照してください。

グループフォルダ 共有フォルダおよびグループフォルダ用のフォルダを含みます。 **共有フォルダ**を参照してください。

ゲートウェイ ゲートウェイおよびアプリケーションゲートウェイという用語は、1つのネイティブフォーマットから別のフォーマットに変換を行うシステムを指します。たとえば、X.400 と RFC 822 間の電子メールゲートウェイや、2つ以上の電子メールシステム(特に、2つの異なるネットワーク上の類似性のないメールシステム)を接続し、その間でメッセージを転送するマシンなどがあります。マッピングおよび変換は複雑な場合があり、一般的には、格納転送スキーマが必要になります。これによって、メッセージが適切に変換されてから次のシステムに転送される前に、1つのシステムから完全に受信されます。

検索ベース ベース DN を参照してください。

高可用性 サービス遮断の検知を有効にし、システムの照会またはプロセスの失敗時に回復メカニズムを提供します。また、一次システムに障害が発生した場合に、バックアップシステムがサービスを受け持つようにすることができます。

構成管理者 iPlanet トポロジ全体のサーバおよび構成ディレクトリデータの管理特権を持つユーザ。構成管理者は、iPlanet トポロジ内のすべてのリソースへの無制限アクセスを持ちます。ほかの管理者にサーバアクセス権を割り当てることができる唯一の管理者です。構成管理者は、管理者グループおよびそのメンバーが配置されるまで管理構成を管理します。

構成ファイル iPlanet Messaging システムの特定のコンポーネントの構成パラメータを含むファイル。

個人用フォルダ 所有者のみが読み取り可能なフォルダ。**共有フォルダ**も参照してください。

コメント文字 行の最初に配置することで、その行をコメント(プログラムとして実行されない文字列)に変換する文字。

サーバインスタンス 特定のサーバインストールを表すディレクトリ、プログラム、およびユーティリティ。

サーバ側規則 (SSR) メールサーバ側フィルタリングを有効にする規則のセット。Sieve メールフィルタリング言語に基づいています。

サーバ管理者 サーバ管理タスクを実行するユーザ。サーバ管理者は、タスク ACI に依存して、特定のサーバのタスクに対する制限付きアクセス権を提供します。構成管理者は、ユーザにサーバへのアクセス権を割り当てる必要があります。ユーザがサーバへのアクセス権を付与されると、そのユーザはサーバ管理者になり、サーバへのアクセス権をほかのユーザに付与することができます。

サーバルート 特定のホスト上の特定の管理サーバに関連付けられている、すべての iPlanet サーバがインストールされるディレクトリ。一般的に *ServerRoot* と示します。**インストールディレクトリ**、**インスタンスディレクトリ**と比較してください。

サービス (1) サーバによって提供される機能。たとえば、iPlanet Messaging Server では、SMTP、POP、IMAP、HTTP サービスが提供されます。(2) ユーザインタフェースを持たない Windows NT でのバックグラウンドプロセス。iPlanet は、Windows NT プラットフォーム上ではサービスとして実行します。**デーモン**と同等です。

サービス拒否攻撃 個人が多量のメッセージで故意または偶然にメールサーバをあふれさせる状態。サーバのスループットが大きく影響を受けたり、サーバ自身が過負荷になって機能しなくなる可能性があります。

サブドメイン ドメインの一部。たとえば、corp.siroe.com というドメイン名では、corp がドメイン siroe.com のサブドメインになります。**ホスト名**および**完全修飾ドメイン名**も参照してください。

サブネット ホスト ID のブロックを識別する IP アドレスの一部。

識別名 ディレクトリ情報ツリー内で、エントリの固有の場所を指定する属性および値のカンマ区切りシーケンス。DN と省略されることがあります。

自動応答オプションファイル 自動応答オプションの設定に使用されるファイル。休暇通知など。

従属参照 ディレクトリサーバによって保持されている名前付きコンテキストの子である名前付きコンテキスト。**知識情報**も参照してください。

証明書データベース サーバのデジタル証明書を含むファイル。証明書ファイルとも呼ばれます。

証明書発行局。 CA を参照してください。

証明書ベースの認証 クライアントによって提供されたデジタル証明書によるユーザの識別。**パスワード認証**と比較してください。

証明書名 証明書および所有者を識別する名前。

集約 小さなメッセージまたはフラグメントに分割された大きなメッセージを再構築できるようにする Multipurpose Internet Mail Extensions (MIME) 機能。各フラグメント内に表示される Message Partial Content-Type ヘッダフィールドには、分割されたメッセージを1つのメッセージに再構築する情報が含まれます。**分割**も参照してください。

上位参照 ディレクトリ情報ツリー (DIT) 内の、ディレクトリサーバの名前付きコンテキストの上位にある名前付きコンテキストを保持するディレクトリサーバを示します。

照会 ディレクトリサーバが、情報要求を送信したクライアントにその要求を戻すプロセス。その際、クライアントが要求に関して通知する必要がある Directory Service Agent (DSA) に関する情報も一緒に戻します。**知識情報**も参照してください。

シングルサインオン ユーザを一度認証することで、複数のサービス (メール、ディレクトリ、ファイルサービスなど) にアクセスできるようにする機能。

スキーマ 構造および構文を含む、iPlanet Directory Server にエントリとして格納できる情報の種類の定義。スキーマに一致しない情報がディレクトリ内に格納されると、そのディレクトリにアクセスしようとするクライアントに適切な結果が表示されない場合があります。

スプーフィング ネットワークアタックの1形式で、サーバにアクセスまたはメッセージを送信しようとしているクライアントに、不正なホスト名を使用させること。

スマートホスト ほかのメールサーバが受信者を認識できない場合に、メッセージを転送するドメイン内のメールサーバ。

スレーブチャンネルプログラム リモートシステムによって開始された転送を受け入れるチャンネルプログラム。**マスターチャンネルプログラム**も参照してください。

スレッド プロセス内のライトウェイト実行インスタンス。

正規表現 パターン マッチングの目的で、文字の範囲またはクラスを表すために特殊文字を使用したテキスト文字列。

静的グループ 各グループメンバーを列挙することによって静的に定義されるメールグループ。**動的グループ**も参照してください。

セキュリティモジュールデータベース SSL 符号化方式用のハードウェアアクセラレータを説明する情報を含むファイル。secmod とも呼ばれます。

セッション クライアントサーバ接続のインスタンス。

切断状態 メールクライアントがサーバに接続し、選択したメッセージのキャッシュコピーを行い、サーバから切断します。

相対識別名 識別名の属性および値シーケンスにおける最終属性およびその値。**識別名**も参照してください。

組織管理者 Delegated Administrator for Messaging GUI または CLI を使用して、組織またはサブ組織内のメールユーザおよびメーリングリストを作成、変更、削除する管理特権を持つユーザ。

待機ポート サーバがクライアントおよびほかのサーバと通信するために使用するポート。

代替アドレス アカウントの二次アドレス。一般的に一次アドレスのバリエーションです。単一のアカウントに複数のアドレスを持つことが便利な場合があります。

代表管理者サーバ ホストドメインによるディレクトリへのアクセスコントロールを処理するデーモンプログラム。

単一フィールド置換文字列 書き換え規則で、ホスト/ドメインアドレスの指定したアドレス トークンを動的に書き換えるドメイン テンプレートの一部。**ドメイン テンプレート**も参照してください。

知識情報 ディレクトリサービスインフラストラクチャ情報の一部。ディレクトリサーバでは知識情報を使用して、ほかのサーバに情報に対する要求を渡します。

チャンネル メッセージを処理する基本 MTA コンポーネント。チャンネルは、別のコンピュータシステムまたはシステムグループとの接続を表します。各チャンネルは、1つまたは複数のチャンネルプログラム、およびチャンネルに関連付けられている1つまたは複数のシステムに送信するよう指定されたメッセージを格納する送信メッセージキューで構成されます。**チャンネルブロック**、**チャンネルホストテーブル**、**チャンネルプログラム**も参照してください。

チャンネルプログラム 次の機能を実行するチャンネルの一部。(1) メッセージをリモートシステムに送信して、送信後にメッセージをキューから削除する。(2) リモートシステムからメッセージを受信して適切なチャンネルキューに配置する。**マスターチャンネルプログラム**、**スレーブチャンネルプログラム**も参照してください。

チャンネルブロック 単一のチャンネル定義。チャンネルホストテーブルも参照してください。

チャンネルホストテーブル チャンネル定義のセット。

通知メッセージ Messaging Server によってポストマスターアカウントに送信されるメッセージ。通知をすることを目的とし、ポストマスターからのアクションは要求しません。**エラー メッセージ**と比較してください。

次のホップ リスト メール経路が、メッセージの転送先を判別するために使用する近接システムのリスト。次のホップ リスト内のシステムの順序は、メール経路がシステムにメッセージを転送する順序を決定します。

ディレクトリエントリ 識別名で識別されるディレクトリ属性と値のセット。各エントリには、エントリが説明するオブジェクトの種類を指定し、そこに含まれる属性のセットを定義するオブジェクトクラス属性が含まれます。

ディレクトリ検索 指定したユーザやリソースに関する情報について、ユーザやリソースの名前またはその他の特性に基づいてディレクトリを検索するプロセス。

ディレクトリコンテキスト メッセージストアアクセスに対するユーザおよびパスワードの認証に使用されるエントリの、検索が開始されるディレクトリツリー情報内のポイント。**ベース DN** も参照してください。

ディレクトリサービス 組織内の人材およびリソースに関する情報の論理的に集中化されたりポジトリ。**Lightweight Directory Access Protocol** も参照してください。

ディレクトリ情報ツリー ディレクトリエントリが構成されるツリー状の階層構造。DIT とも呼ばれます。DIT は、DNS (DC ツリー) または Open Systems Interconnect ネットワーク (OSI ツリー) に沿って構成できます。

ディレクトリスキーマ ディレクトリに格納可能なデータを定義する規則のセット。

ディレクトリ同期化 MTA ディレクトリキャッシュをディレクトリサービスに格納されている現在のディレクトリ情報に更新する (同期化する) プロセス。**MTA ディレクトリキャッシュ** も参照してください。

データストア ディレクトリ情報を含むストア。一般的にディレクトリ情報ツリー全体を含みます。

デーモン 必要に応じてバックグラウンドで端末から独立して機能を実行する UNIX プログラム。デーモンプログラムの一般的な例は、メールハンドラ、ライセンスサーバ、プリントデーモンです。Windows NT マシンでは、このようなプログラムはサービスと呼ばれます。**サービス** も参照してください。

展開 この用語は、配布リストの MTA 処理に適用されます。配布リストに宛て先指定されたメッセージを、各配布リストのメンバー数分のコピーに変換します。

転送プロトコル MTA 間でメッセージを転送する手段を提供します。たとえば、SMTP および X.400 など。

統一メッセージ送信 電子メール、ボイスメール、ファックス、およびその他の通信形式に単一のメッセージストアを使用する概念。iPlanet Messaging Server は、完全な統一メッセージ送信ソリューションの基礎を提供します。

同期化 (1) マスターディレクトリサーバによる複製ディレクトリサーバへのデータの更新。(2) MTA ディレクトリ キャッシュの更新。

動的グループ LDAP 検索 URL で定義されるメールグループ。ユーザは、LDAP 属性をディレクトリエントリに設定することによってグループに参加します。

トップレベル管理者 Delegated Administrator for Messaging GUI または CLI を使用して、Messaging Server ネームスペース全体のメールユーザ、メーリングリスト、ファミリアカウントおよびドメインを作成、変更、削除する管理特権を持つユーザ。デフォルトでは、このユーザはトポロジ内のすべてのメッセージ送信サーバに対するメッセージストア管理者として機能できます。

ドメイン 1) ホスト名が共通の接尾辞 (ドメイン) 名を共有するコンピュータのグループ。構文上、インターネットドメイン名は、ピリオド (点) で区切られた名前のシーケンス (ラベル) で構成されます。たとえば、corp.mktng.siroe.com のようになります。2) 管理コントロールの領域。

ドメイン書き換え規則 **書き換え規則**を参照してください。

ドメイン管理者 Delegated Administrator for Messaging GUI または CLI を使用して、ホストドメイン内のメールユーザ、メーリングリスト、ファミリアカウントを作成、変更、削除する管理特権を持つユーザ。デフォルトでは、このユーザはトポロジ内のすべてのメッセージ送信サーバに対するメッセージストア管理者として機能できます。

ドメイン組織 組織ツリー内のホストドメインの下のサブドメイン。ドメイン組織は、ユーザおよびグループエントリを部門ラインに沿って構成する会社にとって便利です。

ドメイン制限値 電子メールメッセージ用にドメインに割り当てられる容量。システム管理者が設定します。

ドメインテンプレート アドレスのホスト / ドメイン部分を書き換える方法を定義する書き換え規則の一部。完全静的ホスト / ドメインアドレスまたは単一のフィールド代替文字列、あるいはその両方を含めることができます。

ドメイン部分 @ 記号の右側にある電子メールアドレスの一部。たとえば、siroe.com は、電子メールアドレス dan@siroe.com のドメイン部分です。

ドメイン別名 別のドメインを示すドメインエントリ。別名を使用することにより、ホストドメインが複数のドメイン名を持つことができます。

ドメインホスティング 共有メッセージングサーバ上の 1 つまたは複数のドメインをホストする機能。たとえば、ドメイン siroe.com および sesta.org は、両方とも siroe.net メールサーバ上でホストされます。ユーザは、ホストドメインでメールを送受信します。メールサーバの名前は電子メールアドレスには表示されません。

ドメイン名 (1) 電子メールアドレスで使用されるホスト名。(2) 管理組織を定義する固有名。ドメインには、ほかのドメインを含むことができます。ドメイン名は、右から左に解釈されます。たとえば、**siroe.com** は、**Siroe Company** のドメイン名であり、また上位レベル **com** ドメインのサブドメインになります。**siroe.com** ドメインは、**corp.siroe.com** などのサブドメインにさらに分割できます。**ホスト名**および**完全修飾ドメイン名**も参照してください。

ドメイン名システム Domain Name System (DNS)。コンピュータが、ネットワークまたはインターネット上のほかのコンピュータをドメイン名で見つけることができるようにする分散名前解決ソフトウェア。システムは、標準 IP アドレスにホスト名を関連付けます (**www.siroe.com** など)。マシンは通常、この情報を DNS サーバから取得します。DNS サーバは、ホスト名をインターネットアドレスに変換する分散、複製、データ照会サービスを提供します。**A レコード**、**MX レコード**、**CNAME レコード**も参照してください。

名前解決 IP アドレスを対応する名前にマッピングするプロセス。**DNS** も参照してください。

認証 (1) iPlanet Messaging Server に対してクライアントユーザの識別情報を証明するプロセス。(2) クライアントまたは別のサーバに対して iPlanet Messaging Server の識別情報を証明するプロセス。

認証証明書 相手のパーティを確認および認証するためにサーバからクライアントまたはクライアントからサーバへ送信されるデジタルファイル。証明書は、その所有者 (クライアントまたはサーバ) の認証を保証します。証明書は転送不可能です。

ネームスペース LDAP ディレクトリのツリー構造。**ディレクトリ情報ツリー**を参照してください。

ノード DIT 内のドメインエントリ。

パーティション メッセージストアパーティションを参照してください。

配信 メッセージ配信を参照してください。

配信状態の通知 受信者に配信中のメッセージに関する状態情報を通知するメッセージ。たとえば、配信がネットワーク停止により遅延していることを示すメッセージなど。

配布リスト 1つの電子メールアドレスを指定することによってメッセージを送信できる電子メールアドレス (ユーザ) のリスト。メーリングリストまたはグループとも呼ばれます。**展開**、**メンバ**、**モデレータ**、**別名**も参照してください。

配布リスト所有者 配布リストに責任を持つユーザ。所有者は、配布リストメンバの追加または削除ができます。**配布リスト**、**展開**、**メンバー**、**モデレータ**も参照してください。

バインド DN 操作を実行するときに Directory Server に対して認証するために使用される識別名。

パスワード認証 ユーザ名とパスワードを使用したユーザの識別。証明書ベースの認証と比較してください。

パターン 許可フィルタや拒否フィルタなどで、一致目的で使用される文字列式。

バックアップ メッセージストアからバックアップ装置にフォルダの内容をバックアップするプロセス。**復元**も参照してください。

バックエンドサーバ 電子メールメッセージを格納および取り出す機能のみを持つ電子メールサーバ。メッセージストアサーバとも呼ばれます。

バックボーン 分散システムの一次接続性メカニズム。バックボーン上の中間システムに接続可能なすべてのシステムは、相互に接続されています。コスト、パフォーマンスまたはセキュリティの理由から、システムでバックボーンをバイパスするように設定することが妨げられることもできます。

バナー クライアントが初めて接続したときに IMAP などのサービスによって表示されるテキスト文字列。

バニティドメイン 特定のサーバまたはホストドメインではなく個別のユーザに関連付けられているドメイン名。**MailAlternateAddress** 属性を使用して指定されます。ドメイン名に LDAP エントリを持ちません。バニティドメインは、独自のホストドメインをサポートするオーバーヘッドを管理することなしに、カスタマイズドメイン名を希望する個人または小規模な組織で役立ちます。カスタムドメインとも呼ばれます。

ハブ システムの単一接続ポイントとして機能するホスト。たとえば、2つのネットワークがファイヤウォールで分離されている場合、ファイヤウォールコンピュータがメールハブとして機能します。

パブリックキー暗号化 公開コンポーネントと非公開コンポーネントで構成される、2つの部分のキー(コード)を使用する暗号方式。メッセージを暗号化するには、受信者のパブリックキーを使用します。メッセージの暗号を解除するには、受信者は自身だけが知っている非パブリックキーを使用します。

非配信通知 メッセージ転送中に、MTA がアドレスパターンと書き換え規則間に一致するものを見つけられない場合、MTA では非配信レポートをオリジナルのメッセージと一緒に送信者に戻します。

ファイアウォール ネットワーク構成の 1 つ。通常はハードウェアおよびソフトウェアの両方で、組織内のネットワーク接続されたコンピュータと組織外のコンピュータ間のバリアを構成します。ファイアウォールは、一般的に、物理的な建物または組織サイト内にある、ネットワークの電子メール、ディスカッショングループ、データファイルなどの情報を保護するために使用されます。

ファミリーグループ管理者 ファミリーグループのファミリーメンバを追加または削除する管理特権を持つユーザ。このユーザは、グループのほかのメンバーにファミリーグループ管理アクセス権を付与できます。

フェイルオーバー 1 つのシステムから別のシステムへのコンピュータサービスの自動転送。冗長バックアップを提供するための機能です。

フォルダ メッセージの名前付きコレクション。フォルダには、ほかのフォルダを含めることができます。メールボックスとも呼ばれます。**個人用フォルダ**、**共有フォルダ**、**INBOX** も参照してください。

復元 バックアップ装置からメッセージストアにフォルダの内容を復元するプロセス。**バックアップ**も参照してください。

複製ディレクトリサーバ データのすべてまたは一部のコピーを受信するディレクトリ。

輻輳しきい値 システム管理者が設定できるディスク容量制限。システムリソースが不足したときに、データベースが過負荷になるのを防ぐために、新しい操作を制限します。

符号化方式 暗号化に使用されるアルゴリズム。

不特定多数宛てメール Unsolicited Bulk Email (UBE)。一般的に宣伝目的などに使用される、電子メール。大量の配布者から一方的に送信される。

プレーンテキスト データの転送メソッドを表します。定義はコンテキストによって異なります。たとえば、SSL プレーンテキストパスワードは、暗号化され、cleartext としては送信されません。SASL では、プレーンテキストパスワードはハッシュされ、パスワードのハッシュのみがテキストとして送信されます。SSL および SASL も参照してください。

プレーンテキスト認証 パスワード認証を参照してください。

プロキシ 1つのシステムが、プロトコル要求に応答して別のシステムに"向かう"メカニズム。プロキシシステムは、ネットワーク管理において、モデムなどの簡単なデバイスで完全なプロトコルスタックを実装するのを避けるために使用されます。

プロセス オペレーティングシステムによって設定される、独立して完全に機能する実行環境。アプリケーションの各インスタンスは、一般的に別のプロセスで実行します。**スレッド**と比較してください。

プロトコル 交換されるメッセージおよび情報を交換するために2つ以上のシステムで従うべき規則の正式な説明。

プロビジョニング iPlanet Directory Server 内のエントリを追加、変更、削除するプロセス。これらのエントリには、ユーザおよびグループとドメイン情報が含まれます。

分割 大きなメッセージを小さなメッセージに分割できるようにする Multipurpose Internet Mail Extensions (MIME) の機能。**集約**も参照してください。

ベース DN 検索が行われるディレクトリ内の識別名エントリ。検索ベースとも呼ばれます。たとえば、ou=people、o=siroe.com など。

ヘッダ メッセージの本文の前に付く、電子メールメッセージの一部。ヘッダは、フィールド名の後にコロンが付き、その後に値が表示されます。ヘッダには、メッセージを識別する電子メールプログラム、およびユーザに役立つ情報が含まれます。たとえば、配信情報、内容の概要、トレース、MIME 情報が含まれます。これらは、メッセージの受信者、送信者、送信日時、内容を示します。ヘッダは、電子メールプログラムが読み取れるように RFC 822 に従って記述されている必要があります。

ヘッダフィールド メッセージヘッダの情報の名前付き項目。From: や To: など。「ヘッダ行」と呼ばれることもあります。

別名の参照解除 バインドまたは検索操作において、ディレクトリサービスが識別名の別名をエントリの実際の識別名に変換するよう指定します。

ポート番号 ホストマシン上の個々の TCP/IP アプリケーションを指定する番号。転送されたデータの宛先を提供します。

ホスト 1つまたは複数のサーバが常駐するマシン。

ホストドメイン ISPによってアウトソーシングされる電子メールドメイン。つまり、ISPでは、組織の電子メールサービスを運用および維持することによって組織に電子メールドメインホスティングを提供します。ホストドメインは、ほかのホストドメインと同じ Messaging Server ホストを共有します。初期の LDAP ベースの電子メールシステムでは、ドメインは1つまたは複数の電子メールサーバホストによってサポートされていました。Messaging Server を使用すると、多くのドメインを単一のサーバでホストできます。各ホストドメインに対して、ドメインのユーザおよびグループコンテナを示す1つの LDAP エントリがあります。ホストドメインは、仮想ホストドメインまたは仮想ドメインとも呼ばれます。

ホスト名 ドメイン内の特定のマシンの名前。ホスト名は、IP ホスト名です。これは、「短い形式」のホスト名（たとえば、mail）または完全修飾ホスト名のどちらかになります。完全修飾ホスト名は、ホスト名とドメイン名の2つの部分で構成されます。たとえば、mail.siroe.com は、ドメイン siroe.com のマシン mail です。ホスト名は、ドメイン内で固有でなければなりません。組織は、マシンが異なるサブドメイン内にある限り、mail という名前の複数のマシンを持つことができます。たとえば、mail.corp.siroe.com および mail.field.siroe.com などです。ホスト名は、常に特定の IP アドレスにマップされます。**ドメイン名**、**完全修飾ドメイン名**、**IP アドレス** も参照してください。

ホスト名を隠す 特定の内部ホスト名を含まない、ドメインベースの電子メールアドレスを持つことです。

ポストマスター アカウント Messaging Server からのシステム生成メッセージを受信する電子メールグループおよび電子メールアドレスの別称。ポストマスターアカウントは、有効な1つまたは複数のメールボックスを指定する必要があります。

本文 電子メールメッセージの一部。ヘッダおよびエンベロープは標準形式に従う必要がありますが、メッセージの本文は、送信者が決定します。本文には、テキスト、グラフィック、マルチメディアを含めることができます。構造化された本文は、MIME 基準に従います。

ホップ 2つのコンピュータ間の転送。

無効なユーザ メッセージ処理中に発生するエラー状態。これが発生すると、メッセージストアはMTAに通信を送信し、メッセージストアはメッセージのコピーを削除します。MTAはメッセージを送信者に戻し、メッセージのコピーを削除します。

マスターディレクトリサーバ 複製されるデータを含むディレクトリサーバ。

マスターチャネルプログラム 一般的にリモートシステムへの転送を開始するチャネルプログラム。**スレーブチャネルプログラム**も参照してください。

命名コンテキスト DNによって識別されるディレクトリ情報ツリーの特定のサブツリー。iPlanet Directory Serverでは、特定の種類のディレクトリ情報が命名コンテキスト内に格納されます。たとえば、Siroe Corporationのボストンオフィスにいるマーケティング従業員のすべてのエントリを格納する命名コンテキストは、次のようになります。ou=mktg, ou=Boston, o=Siroe, c=US。

命名属性 ディレクトリ情報ツリー識別名内の最後の属性。**相対識別名**も参照してください。

メール交換レコード **MXレコード**を参照してください。

メールクライアント ユーザが電子メールを送受信するのを支援するプログラム。ユーザが最もよく使用する、多様なネットワークおよびメールプログラムの一部です。メールクライアントでは配信用のメッセージを作成および送信し、新しい受信メールをチェックし、受信メールを受け入れて構成します。

メールボックス メッセージが格納および表示される場所。**フォルダ**を参照してください。

メールリレー MUAまたはMTAからのメールを受け入れ、メール受信者のメッセージストアまたは別のルータにリレーするメールサーバ。

メールルータ **メールリレー**を参照してください。

メーリングリスト 1つのメーリングリストアドレスによって1つのメッセージを送信するための電子メールアドレスのリスト。グループとも呼ばれます。

メーリングリスト所有者 メーリングリストのメンバーを追加または削除する管理特権を持つユーザ。

メッセージ 電子メールの基本ユニット。メッセージは、ヘッダと本文で構成され、多くは、送信者から受信者に転送される間はエンベロープに収められています。

メッセージアクセスサービス Messaging Serverメッセージストアへのクライアントアクセスをサポートするプロトコルサーバ、ソフトウェアドライバ、ライブラリ。

メッセージキュー クライアントおよびその他のメールサーバから受信したメッセージが、配信(即時または延期)用にキューに入れられているディレクトリ。

メッセージ削除 メッセージに削除マークを付ける動作。削除されたメッセージは、ユーザによる別のアクションによって消去またはパージされるまでメッセージストアから削除されません。**メッセージのパージ**、**メッセージの消去**も参照してください。

メッセージ制限値 特定のフォルダが消費できるディスク容量を定義する制限。

メッセージストア Messaging Server インスタンスにローカルに配信されたすべてのメッセージのデータベース。メッセージは、単一の物理ディスクまたは複数の物理ディスク上に格納できます。

メッセージストア管理者 Messaging Server インストール用のメッセージストアの管理特権を持つユーザ。このユーザは、メールボックスを表示および監視でき、ストアへのアクセスコントロールを指定できます。プロキシ認証権限を使用して、ストアを管理する特定のユーティリティを実行できます。

メッセージストアパーティション 単一の物理ファイルシステムパーティション上に常駐するメッセージストアまたはメッセージストアのサブセット。

メッセージ転送 特定のアカウントに配信されたメッセージを、MTA がアカウントの属性で指定された 1 つまたは複数の新しい宛先に送信するときに発生する動作。転送は、ユーザが設定することができます。**メッセージ配信**、**メッセージルーティング**も参照してください。

メッセージの消去 メッセージに削除マークを付けて、その後に INBOX から永久に削除する動作。**メッセージの削除**、**メッセージのパージ**も参照してください。

メッセージのパージ 削除マークが付いたメッセージを永久に削除し、ユーザおよびグループフォルダ内で参照されないようにし、領域をメッセージストア ファイルシステムに戻すプロセス。**メッセージの削除**、**メッセージの消去**も参照してください。

メッセージ配信 MTA がローカル受信者 (メールフォルダまたはプログラム) にメッセージを配信したときに発生する動作。

メッセージ発行 クライアント User Agent (UA) は、メールサーバにメッセージを転送して、配信を要求します。

メッセージルーティング 最初の MTA が、受信者がローカルアカウントではなく他の場所に存在すると判断したときに、1 つの MTA から別の MTA にメッセージを転送する動作。ルーティングは通常、ネットワーク管理者によってのみ構成されます。**メッセージ転送**も参照してください。

メンバー 配布リストに宛て先指定された電子メールのコピーを受け取るユーザまたはグループ。**配布リスト**、**展開**、**モデレータ**、**所有者**も参照してください。

モデレータ 配布リストに宛先指定されたすべての電子メールを最初に受信するユーザで、(A)メッセージを配布リストに転送する、(B)メッセージを編集して配布リストに転送する、(C)メッセージを配布リストに転送しないことを決定します。**配布リスト**、**展開**、**メンバ**も参照してください。

ユーザアカウント サーバにアクセスするアカウント。ディレクトリサーバ上のエントリとして保持されます。

ユーザエージェント (UA) ユーザがメールメッセージを作成、送信、受信できるようにするクライアントコンポーネント。Netscape Communicator など。

ユーザエントリまたはユーザプロフィール 各ユーザに関する必須および任意の情報を説明するフィールド。たとえば、識別名、氏名、役職、電話番号、携帯端末番号、ログイン名、パスワード、ホームディレクトリなどが含まれます。

ユーザ制限値 電子メールメッセージ用にユーザに割り当てられる容量。システム管理者によって構成されます。

ユーザフォルダ ユーザの電子メールのメールボックス。

レベル ログに記録する情報内容の指定。ログファイルに記録されるイベントの種類に関連番号を意味します。たとえば、Emergency レベルでは、わずかなイベントしかログに記録されませんが、Informational レベルでは、多くのイベントがログに記録されます。

リバース DNS 検索 数値 IP アドレスを同等の完全修飾ドメイン名に解釈するために DNS を照会するプロセス。

リレー 1つのメッセージ送信サーバから別のメッセージ送信サーバにメッセージを渡すプロセス。

ルータ ネットワークトラフィックが、複数のパスのどれをたどるかを決定するシステム。ルーティングプロトコルを使用してネットワークに関する情報を取得し、アルゴリズムを使用して「ルーティングマトリックス」として知られる複数の条件に基づいて最適なルートを選択します。OSI 用語では、ルータは、ネットワークレイヤー中間システムです。**ゲートウェイ**も参照してください。

ルーティング メッセージルーティングを参照してください。

ルートエントリ ディレクトリ情報ツリー (DIT) 階層の最初のエントリ。

ルックアップ 検索と同じです。データのソートに指定パラメータを使用します。

ローカル部分 受信者を識別する電子メールアドレスの一部。**ドメイン部分**も参照してください。

ログ期限 有効期間が過ぎたログファイルは、ログディレクトリから削除されます。

ログディレクトリ すべてのサービスのログファイルが保持されるディレクトリ。

ログローテーション ログファイルを最新にするための新しいログファイルの作成。すべての後続のログ記録イベントは、新しいファイルに書き込まれます。以前のログファイルにはそれ以上書き込まれませんが、ログディレクトリ内に残ります。

ワイルドカード 1つまたは複数のほかの文字または文字範囲を表すことができる検索文字列における特殊文字。

ワークグループ サーバが、ローカルオフィスやワークグループ内で、独自のルーティングおよび配信を実行するローカルワークグループ環境。部門間メールは、バックボーンサーバにルーティングされます。**バックボーン**も参照してください。

索引

記号

/var/mail 73

A

ACI

アーキテクチャ 24

ドメイン 34

C

cn 65

cn 36

Console マニュアル 104

D

dataSource 66, 86

dc 40

DC ツリー 18

トップレベルドメインエントリの作成 38

ホストドメインエントリの作成 39

ルートドメインエントリの作成 36

DC ツリーの作成 35

description 40

Directory Manager 102

DIT、iPlanet Messaging Server へのマッピング 21

dn 36

domain 40

E

EXPN コマンド 98

G

givenName 66

groupOfUniqueNames 85

I

icsCalendarDomain 40

inetDomain 40, 41

inetDomain 属性 41

inetDomainBaseDN 18, 41

inetDomainStatus 41

inetLocalMailRecipient 48, 65, 85

inetMailGroup 85

inetMailGroupManagement 85
inetMailGroupStatus 86
inetMailUser 65
inetManagedGroup 58
inetOrgPerson 65
inetUser 65
inetUserStatus 66
initials 65
ipUser 65

L

ldap:/// 87

M

mail 66
MailAlternateAddress 48
mailAlternateAddress 67, 86
mailClientAttachmentQuota 42, 53
mailDeliveryURL
 属性の形式 87
mailDomain 41
mailDomainAllowedServiceAccess 41
mailDomainDiskQuota 41
mailDomainMsgQuota 41
mailDomainStatus 41, 54
mailHost 67, 86
mailMsgQuota 67
mailProgramDeliveryInfo 73
mailQuota 67
mailRoutingHosts 41, 52
mailRoutingSmartHost 51
mailUserStatus 67
memberOfManagedGroup 58
mgmanJoinability 99

mgrpAllowedBroadcaster 90
mgrpAllowedDomain 90
mgrpDisallowedBroadcaster 90
mgrpDisallowedDomain 90
mgrpRequestsTo 97
mgrpRFC822MailMember 89
mnggrpbillableuser 58
mnggrpcurrentusers 58
mnggrpmailquota 58
mnggrpmaxusers 59
mnggrpstatus 58
msgVanityDomain 48
msgVanityDomainUser 48

N

Netscape Console マニュアル 104
nsdamodifiableby 59
nsManagedDept 58
nsManagedDomain 40, 44
nsManagedMailList 85
nsManagedPerson 65, 67
nsMaxMailLists 45
nsMaxUsers 45, 86
nsNumMailLists 44
nsNumUsers 45, 86

O

o 36
objectClass
 domain 40
 inetDomain 40
 mailDomain 40
objectClass ドメイン属性
 dc 40

description 40
organizationalPerson 65
organizationalUnit 46
organizationName 40
ou 36
 People 46
owner 88

P

person 65
preferredMailHost 41

S

SIEVE 規則 74
sn 36, 65

U

uid 66
uniqueMember 85
uniqueMember 89
userPassword 66
userPresenceProfile 65, 67

お

オブジェクトクラス的设计 23

か

管理者
 構成管理者、作成 104
 サーバのメッセージストア管理者 105
 作成 101
 特定のドメインのメッセージストア 107
 トップレベル 109
 トップレベル管理者、作成 109
 ドメイン 111
 ドメイン組織管理者 113
 ドメインユーティリティ imadmin_domain_create
 112
 ファミリグループ 60
 メッセージストア 104
 メッセージストア管理者、作成 104
 メッセージストア管理者、トポロジ 105
管理対象グループアカウント、参照
 ファミリアアカウント

き

行のラッピング 88

く

グループ
 メールの制限 90
グループ、参照
 メーリングリスト

こ

構成管理者 102

な

- サービス管理者 109
- サービス専用オブジェクト クラス 23
- サービスのクラス 26
- サービスのクラス , 設定 27
- サービスのクラス , 例 28
- 作成
 - ホストドメイン 39, 44
 - ルートエントリ 36

し

- システム管理者 101
- 所有者 88
- 省略形
 - 属性 36

す

- スキーマ 23
- すべての受信ドメインアドレス 80
- スマートルーティングホスト 51

せ

- 請求先ユーザ 57

そ

- 属性
 - ホストドメイン 44
- 属性エイリアス 36
- 属性の省略形 36
- 組織 44

- 組織管理者 113
- 組織ツリー 18, 42
 - ホストドメインエントリ 44
 - ルートエントリ 43

た

- 対象読者 13

つ

- 追加行 88

て

- ディレクトリ ツリー
 - ネームスペースも参照 18
- データ モデル 23
- 添付の制限 53

と

- 動的メーリングリスト 99
- トップオブジェクトクラス 37
- トップレベル管理者 103
- ドメイン
 - ACI 34
 - 作成 33
 - 状態 54
 - 「ようこそ」メッセージ 52
- ドメインエイリアスの作成 50
- ドメイン管理者 103
- ドメイン管理者グループ 111
- ドメイン組織

削除 47
作成 46
ドメイン組織管理者 103, 113
ドメインタスク 50

ね

ネームスペース 18
2つの DIT が必要な理由 20
既存の DIT のマッピング 21
サブドメイン用の識別ネームスペース 22
データのパーティショニングとアクセス制御 21
二重ツリー機構 18

は

パスワード 69
バニティドメイン 48

ひ

表記規則 15

ふ

ファミリーアカウント 57
作成 57
追加、メンバーの 58
ファミリーグループ管理者 60
ファミリーグループ
作成、管理者の 60
請求先ユーザ 57
ファミリーグループ管理者 103
プログラム 73

プロビジョニングの定義 17

ほ

ホストドメイン
作成 39, 44
属性 44
ホストドメインコンテナ 45

む

制限、添付の 53

め

メーリングリスト 83, 88
アクティブ化 / 非アクティブ化 94
作成 84
参加可能 99
状態 94
属性値の形式 87
着信メールのフィルタリング 90
動的 99
メッセージの保存 96
メンバーの可視性 98
メンバーの追加 88
モデレータ 94
メール 86
メール リスト所有者 103
メーリングリスト
メールフィルタリング用の優先規則 90
メッセージストア管理者 102
作成 107
メッセージング サーバ管理者、「管理者」を参照

も

- モデレータ 94
 - 属性の形式 87

ゆ

- ユーザ
 - アクティブ化 / 非アクティブ化 68
 - 状態 68
 - 代替電子メールアドレス 80
 - 転送メール 78
 - パスワード 69
 - 不在メッセージ 70
 - メールサーバ 81
 - メールサービス 72
 - メール配信オプション 73
 - メッセージ使用制限 77
 - メッセージフィルタ 74
- ユーザエントリ
 - 作成 63, 64

よ

- 「ようこそ」メッセージ 52

る

- ルーティングホスト 52
- ルートエントリ
 - 作成 36